

ごみ有料化及び戸別収集に
関するアンケート調査
(無作為抽出アンケート)
報告書

令和5年11月

茅ヶ崎市

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	2
5. 地域区分	2
6. 報告書の見方	3

II 市民調査結果

1. 回答者の属性

(1) 年齢	4
(2) 同居人数	4
(3) 居住地域	4
(4) 住居形態	5
(5) 居住年数	5

2. 「ごみ有料化」について

(1) ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化	6
(2) ごみ有料化実施前と比べた出すごみの量の変化	9
(3) 家庭でのごみ減量に関する取り組み	12
(4) 家庭でのごみの出し方	15
(5) 指定ごみ袋についての考え	27
(6) 指定ごみ袋の希望のサイズ	30

3. 「戸別収集」について

(1) 戸別収集についての考え	33
(2) 戸別収集を実施して欲しい理由	36
(3) 現在のステーション収集方式のままがよい理由	39
(4) 戸別収集の進め方	42
(5) 戸別収集を実施すべき品目	45
(6) 戸別収集を実施すべき品目についての考え	48

目 次

Ⅲ 事業者調査結果

1. 回答者の属性

(1) 業種	50
(2) 従業員規模	50
(3) 所在地域	50
(4) 建物形態	51
(5) 事業年数	51

2. 「事業系ごみ」の処理方法について

(1) 事業系一般廃棄物の処理方法	52
(2) 集積場所の使用条件の認知状況	55
(3) 家庭ごみの分類でいう「燃やせないごみ」等が産業廃棄物となることの認知状況	58

3. 「ごみ有料化」について

(1) ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化	61
(2) ごみ有料化実施前と比べた出すごみの量の変化	64
(3) 店舗等でのごみ減量に関する取り組み	67
(4) 店舗等でのごみの出し方	70
(5) 指定ごみ袋についての考え	88
(6) 指定ごみ袋の希望のサイズ	91

4. 「戸別収集」について

(1) 戸別収集についての考え	94
(2) 戸別収集を実施して欲しい理由	97
(3) 現在のステーション収集方式のままが良い理由	100
(4) 戸別収集の進め方	103

Ⅳ 調査票	106
-------	-----

I 調査概要

1. 調査の目的

「ごみ有料化」の検証と今後の同事業の参考にするとともに、「戸別収集」に対するニーズを把握することを目的とする。

2. 調査の設計

市民調査

- (1) 調査地域 茅ヶ崎市全域
- (2) 調査対象 茅ヶ崎市内に居住する満18歳以上の男女
- (3) 母集団 209,213人
- (4) 標本数 3,000人
- (5) 抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- (6) 調査方法 調査票を送付、郵送回答またはインターネットによる回答
- (7) 調査期間 令和5年5月16日～5月31日

事業者調査

- (1) 調査地域 茅ヶ崎市全域
- (2) 調査対象 茅ヶ崎市内に事業所を構える従業員が10人以下の事業者
- (3) 母集団 3,207者
- (4) 標本数 1,000者
- (5) 抽出方法 法人市民税課税台帳による無作為抽出
- (6) 調査方法 調査票を送付、郵送回答またはインターネットによる回答
- (7) 調査期間 令和5年5月16日～5月31日

3. 調査の内容

市民調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 「ごみ有料化」について
- (3) 「戸別収集」について

事業者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) 「事業系ごみ」の処理方法について
- (3) 「ごみ有料化」について
- (4) 「戸別収集」について

4. 回収結果

市民調査

- (1) 標本数 3,000件
- (2) 有効回収数 1,942件 (郵送回答1,592件、インターネット回答350件)
- (3) 有効回収率 64.7%

事業者調査

- (1) 標本数 1,000件
- (2) 有効回収数 360件 (郵送回答326件、インターネット回答34件)
- (3) 有効回収率 36.0%

5. 地域区分



地域名	町丁・字名
1. 南東部地域	旭が丘、幸町、汐見台、白浜町、出口町、常盤町、浜須賀、浜竹1～4丁目、東海岸北1～5丁目、東海岸南1～6丁目、菱沼海岸、ひばりが丘、富士見町、平和町、松が丘1・2丁目、松浪1・2丁目、美住町、緑が浜、若松町
2. 南西部地域	共恵1・2丁目、中海岸1～4丁目、中島、南湖2～7丁目、松尾、浜見平、柳島、柳島1・2丁目、柳島海岸
3. 西部地域	今宿、円蔵、下町屋、下町屋1～3丁目、十間坂1～3丁目、新栄町、茅ヶ崎1～3丁目、南湖1丁目、西久保、萩園、浜之郷、平太夫新田、元町、矢畑
4. 東部地域	赤松町、円蔵1・2丁目、小桜町、小和田、小和田1～3丁目、松林1～3丁目、代官町、高田、高田1～5丁目、茅ヶ崎、鶴が台、菱沼、菱沼1～3丁目、本宿町、本村1～5丁目、室田、室田1～3丁目
5. 北部地域	赤羽根、甘沼、香川、香川1～7丁目、下寺尾、芹沢、堤、行谷、松風台、みずき1～4丁目

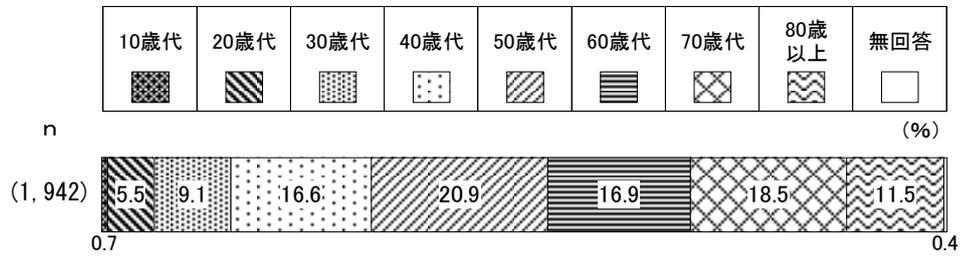
6. 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100.0%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100.0%を上回ることがある。
- (4) クロス集計では、分析軸の「無回答」を掲載していないため、分析軸における各項目のnの合計値と全体の数値とが合わない場合がある。
- (5) クロス集計時に、nが小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。また、nが20に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない。

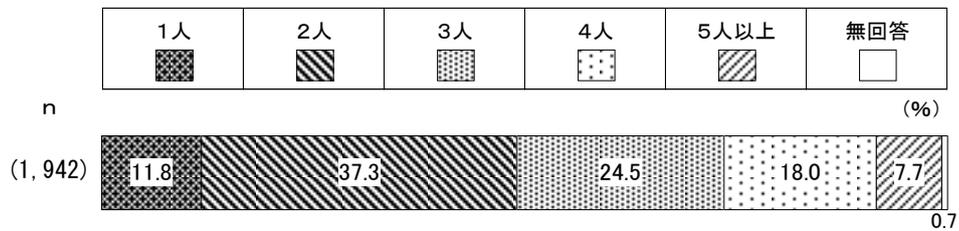
II 市民調査結果

1. 回答者の属性

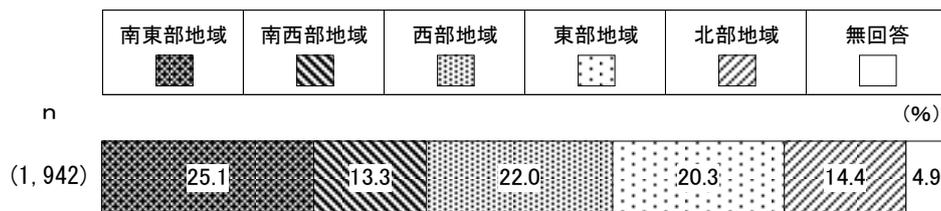
(1) 年齢



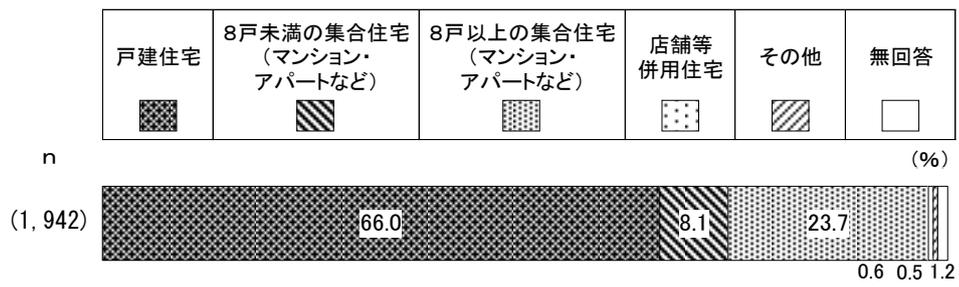
(2) 同居人数



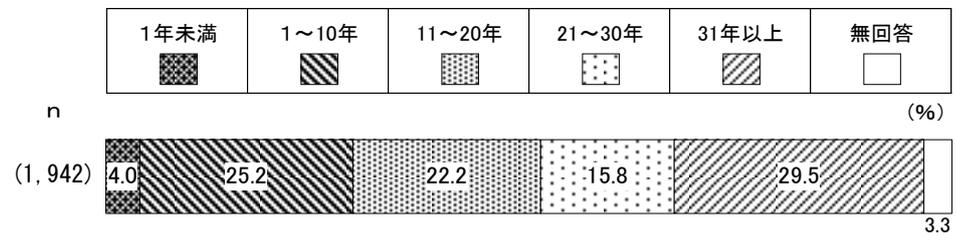
(3) 居住地域



(4) 住居形態



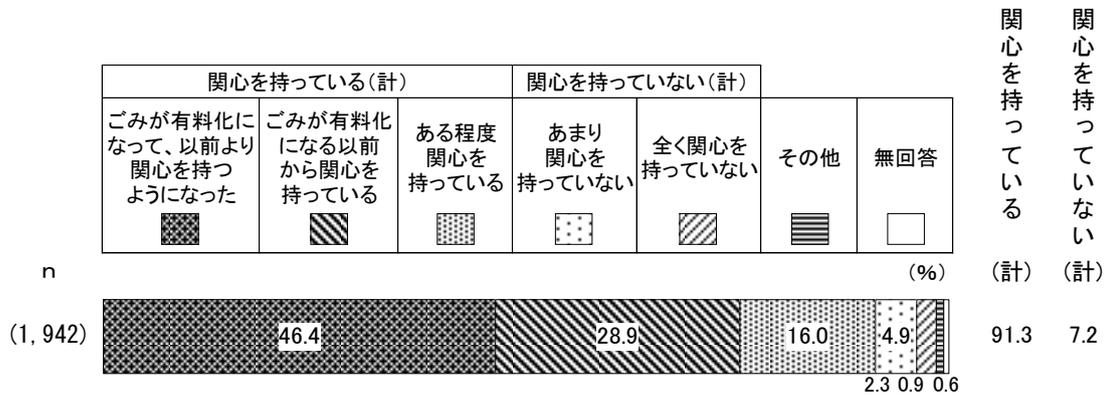
(5) 居住年数



2. 「ごみ有料化」について

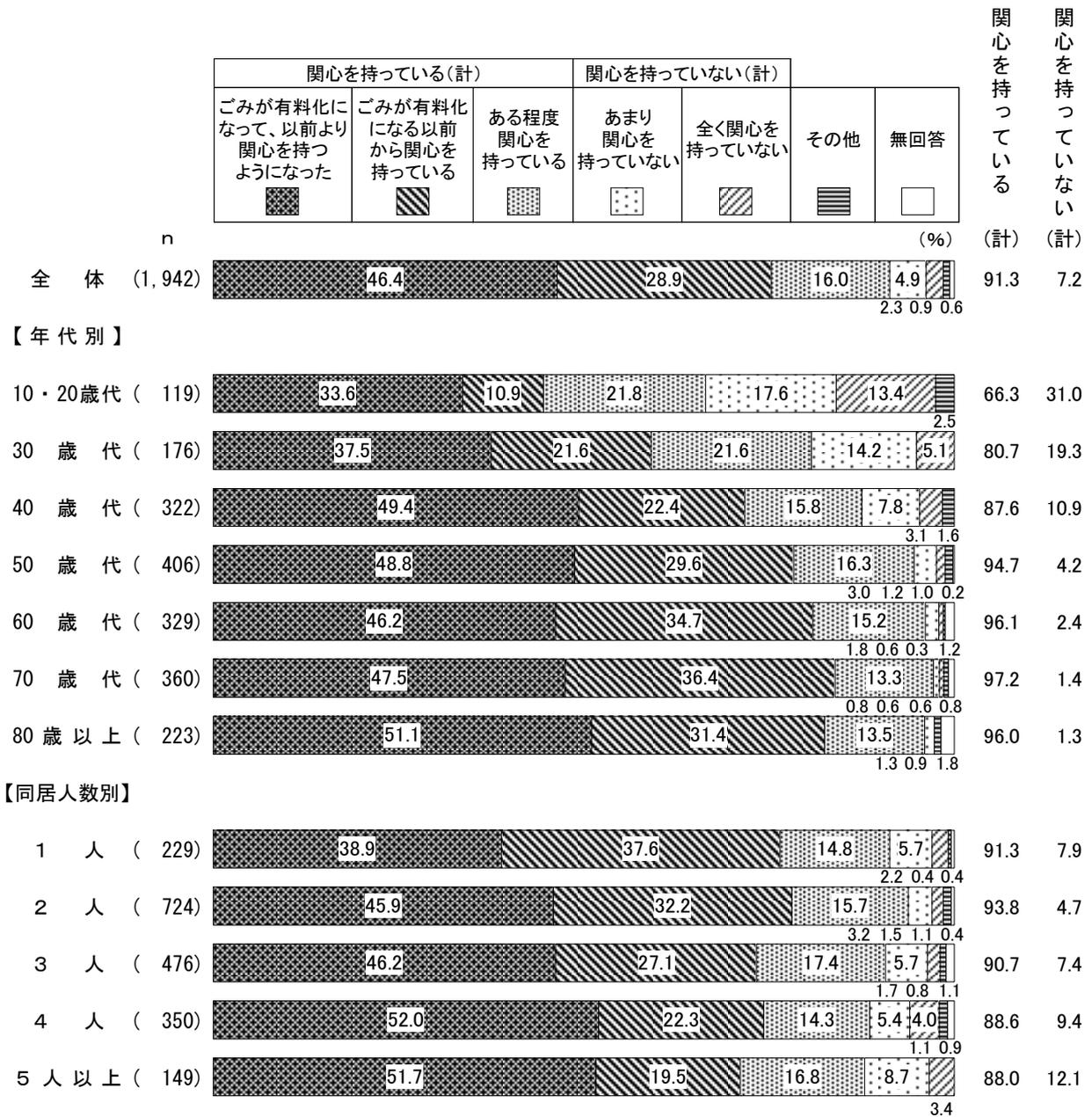
(1) ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化

問5 更なるごみ減量化を進めるために、令和4年4月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、ごみ減量化に対する意識は変わりましたか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化について聞いたところ、「ごみが有料化になって、以前より関心を持つようになった」が46.4%で最も高く、これに「ごみが有料化になる以前から関心を持っている」(28.9%)と「ある程度関心を持っている」(16.0%)を合わせた『関心を持っている(計)』は91.3%となっている。一方、「あまり関心を持っていない」(4.9%)と「全く関心を持っていない」(2.3%)を合わせた『関心を持っていない(計)』は7.2%となっている。また、「その他」の意見として「意識の変化はない」などがあつた。

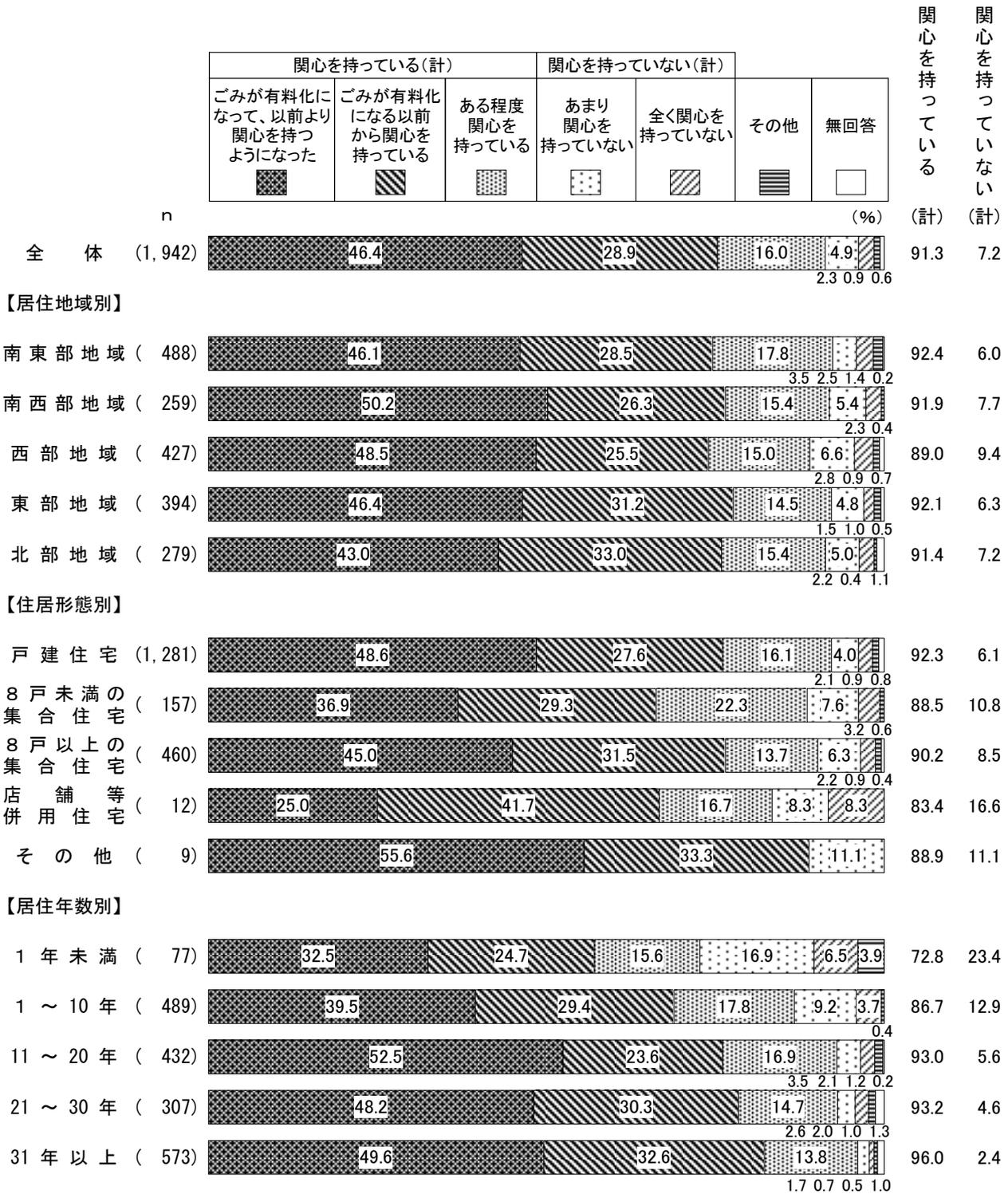
【年代別、同居人数別】



年代別でみると、『関心を持っている(計)』はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、70歳代で97.2%となっている。

同居人数別でみると、『関心を持っている(計)』は2人で93.8%と高くなっている。

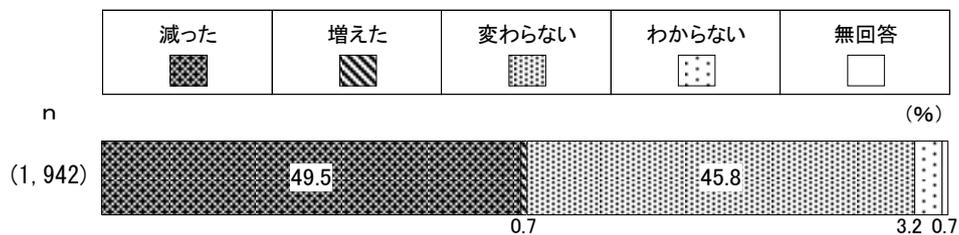
【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



居住地域別で見ると、『関心を持っている(計)』は南東部地域で92.4%と高くなっている。
 住居形態別で見ると、『関心を持っている(計)』は戸建住宅で92.3%と高くなっている。
 居住年数別で見ると、『関心を持っている(計)』は居住年数が長くなるほど割合が高く、31年以上で96.0%となっている。

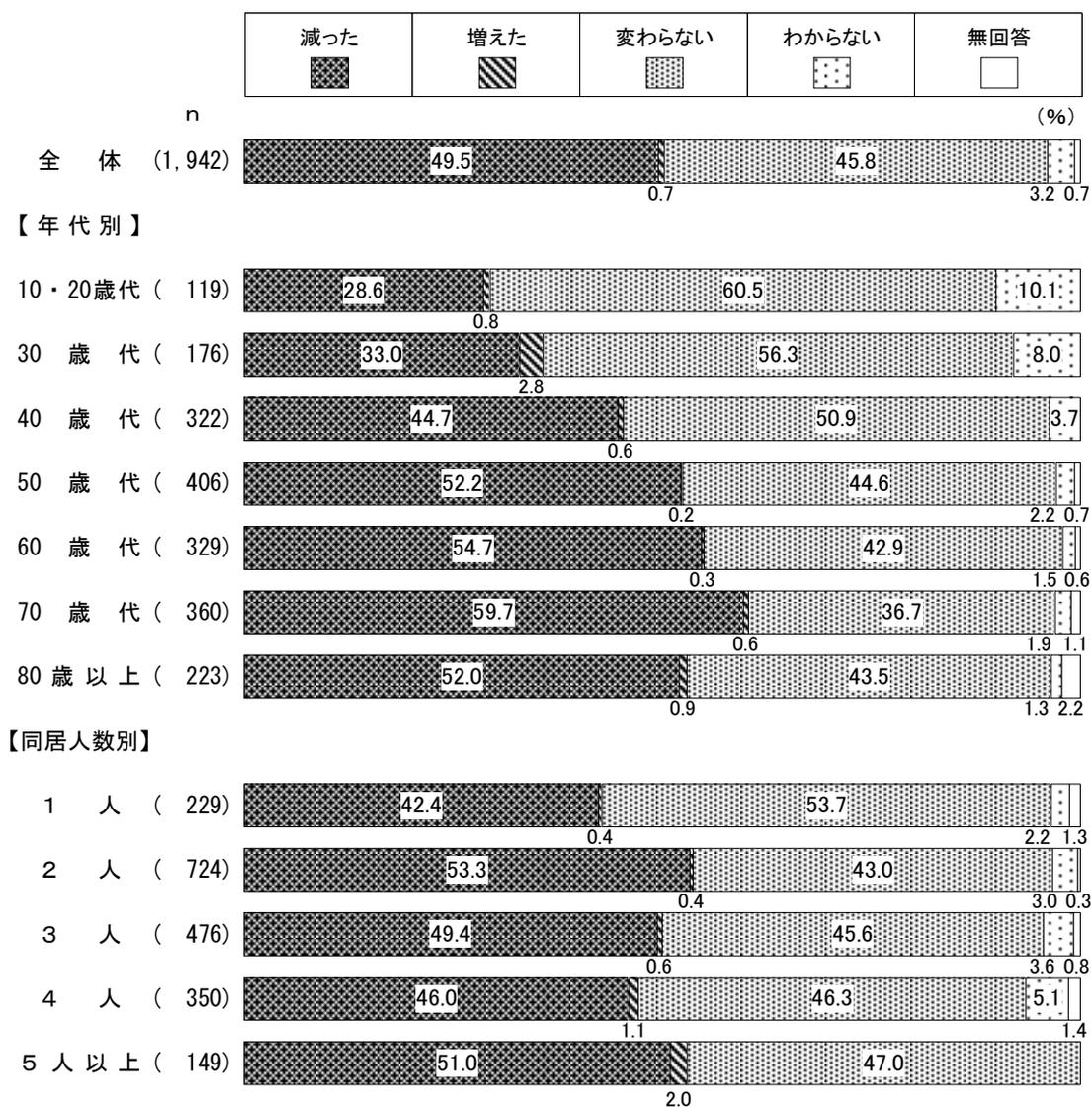
(2) ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量の変化

問6 令和4年4月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、出すごみの量はどのように変わりましたか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量の変化を聞いたところ、「減った」が49.5%、「増えた」は0.7%となっている。また、「変わらない」は45.8%となっている。

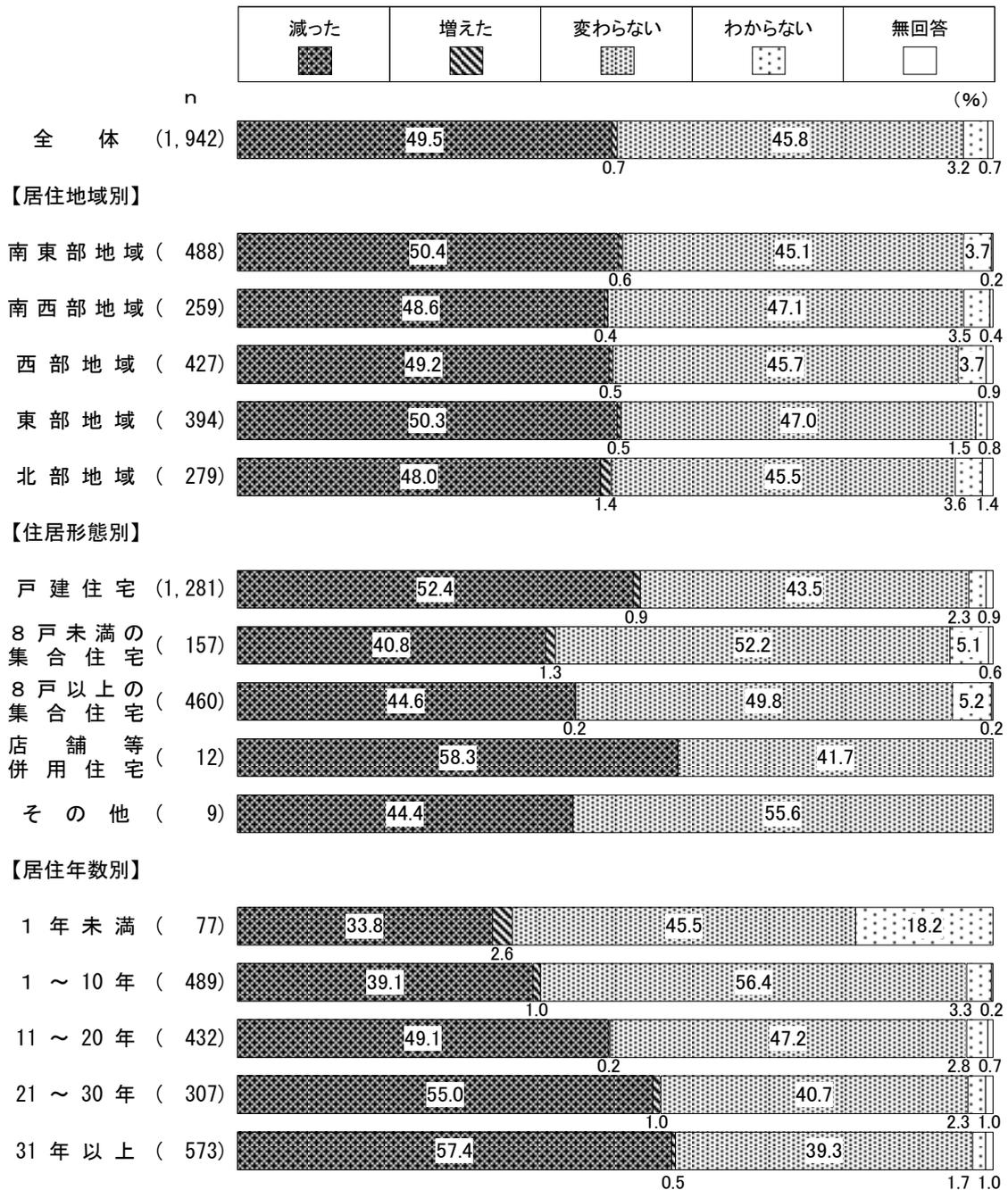
【年代別、同居人数別】



年代別で見ると、「減った」はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、70歳代で59.7%となっている。

同居人数別で見ると、「減った」は2人で53.3%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



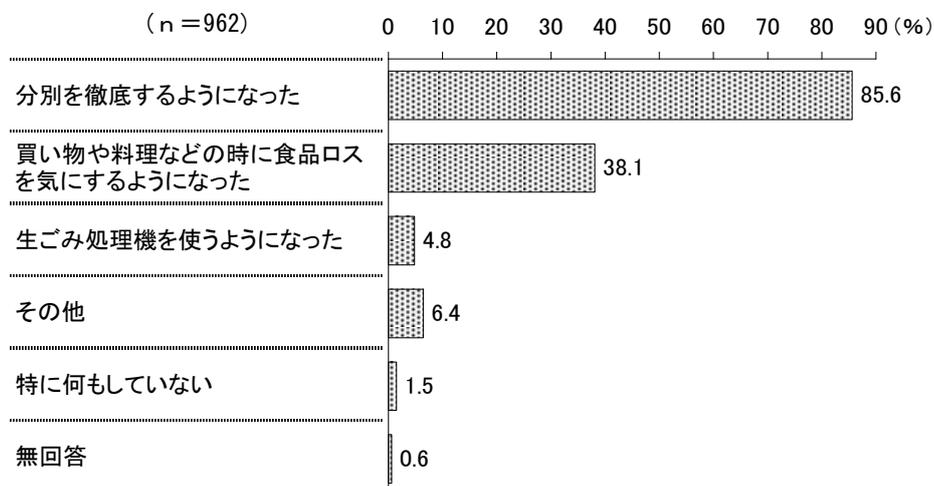
居住地域別で見ると、「減った」は南東部地域で50.4%と高くなっている。

住居形態別で見ると、「減った」は戸建住宅で52.4%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「減った」は居住年数が長くなるほど割合が高く、31年以上で57.4%となっている。

(3) 家庭でのごみ減量に関する取り組み

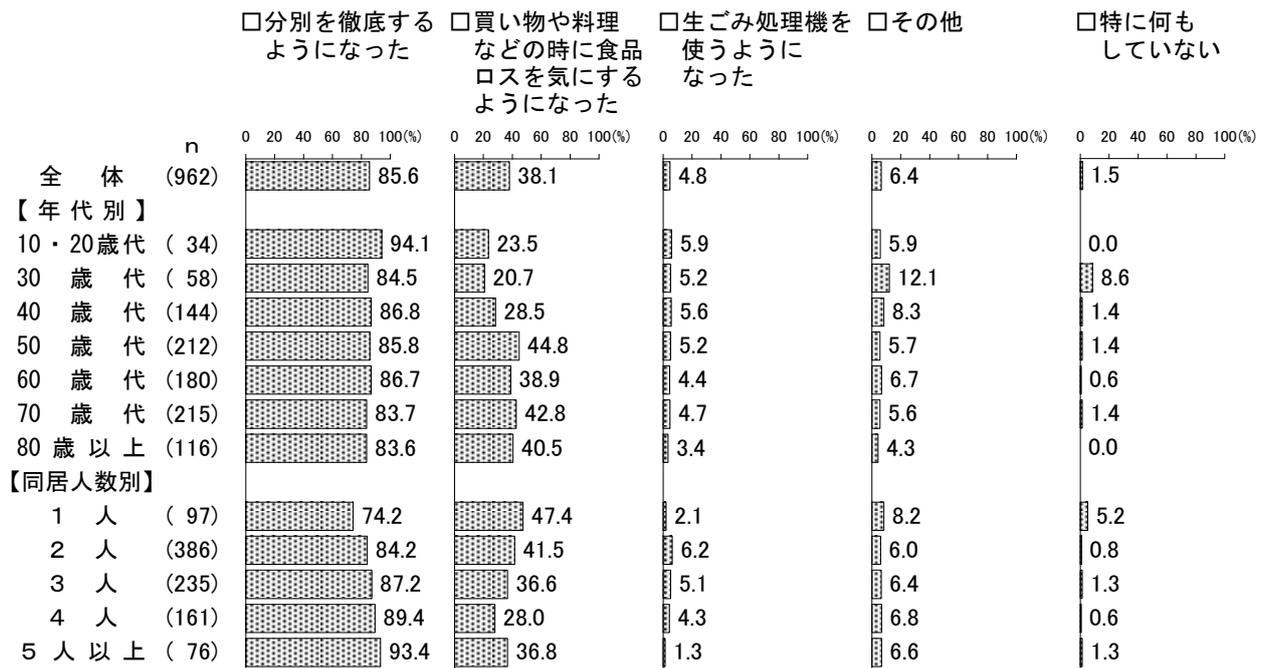
問7 問6で「減った」を選んだ方のみ、ご家庭、または、貴店舗等での取り組みをお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量が「減った」と回答した方に、家庭でのごみ減量に関する取り組みを聞いたところ、「分別を徹底するようになった」が85.6%で最も高く、次いで「買い物や料理などの時に食品ロスを気にするようになった」(38.1%)、「生ごみ処理機を使うようになった」(4.8%)となっている。一方、「特に何もしていない」は1.5%となっている。

また、「その他」の意見として「コンポストを利用し、生ごみを堆肥化するようになった」、「使い捨て製品を買わないようになった」、「古紙の分別を徹底するようになった」などがあつた。

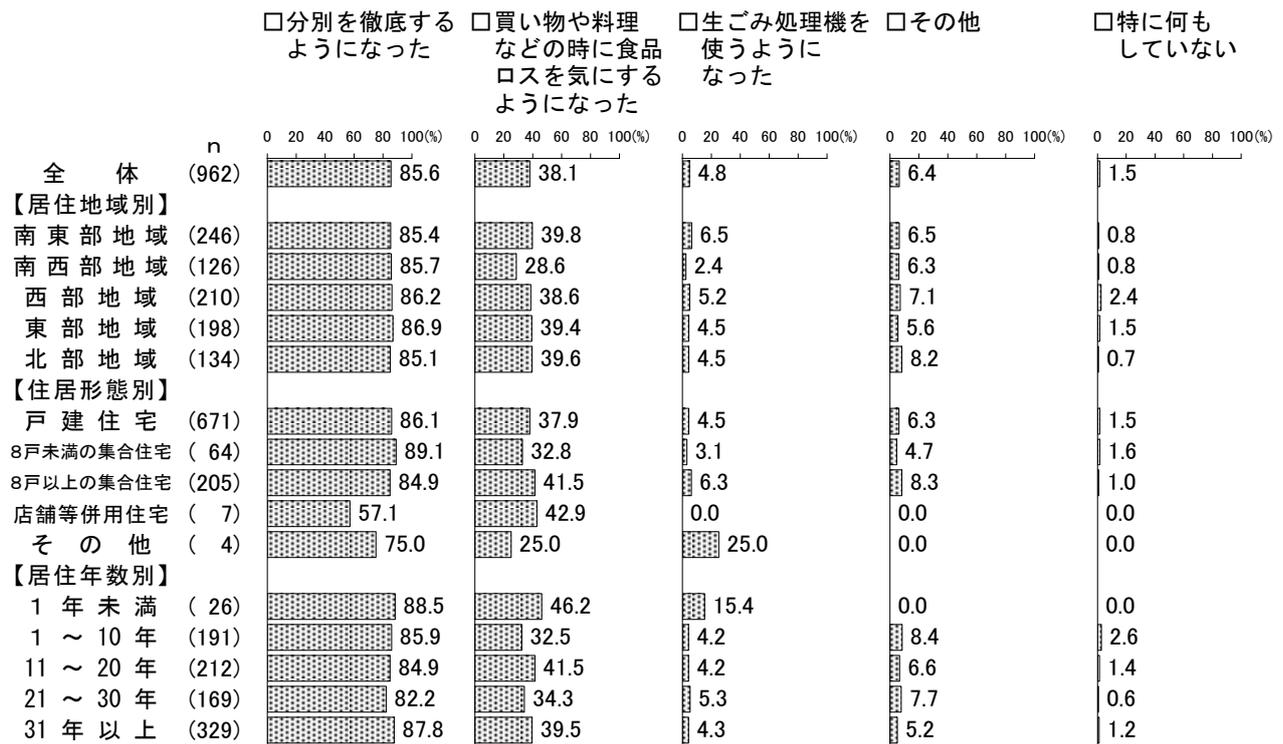
【年代別、同居人数別】



年代別でみると、「分別を徹底するようになった」は10・20歳代で94.1%と高くなっている。

同居人数別でみると、「分別を徹底するようになった」は同居人数が多くなるほど割合が高く、5人以上で93.4%となっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



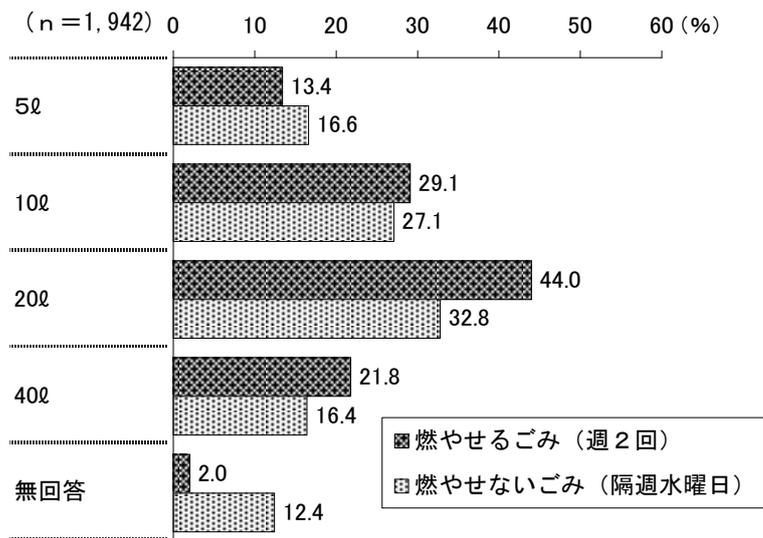
居住地域別で見ると、「分別を徹底するようになった」は東部地域で86.9%と高くなっている。
住居形態別で見ると、「分別を徹底するようになった」は8戸未満の集合住宅で89.1%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「分別を徹底するようになった」は1年未満で88.5%と高くなっている。

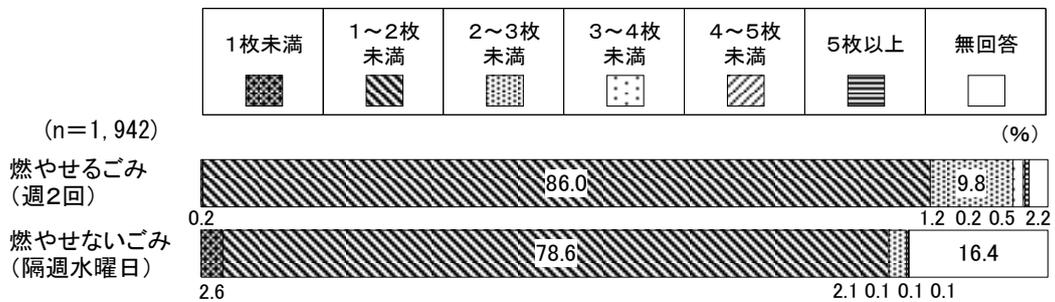
(4) 家庭でのごみの出し方

問8 あなたのご家庭、または、貴店舗等では、ごみをどのように出していますか。主に使っている指定ごみ袋のサイズに○をしてください。また、1回に使用する枚数と1ヶ月に使用する枚数を()内にご記入ください。

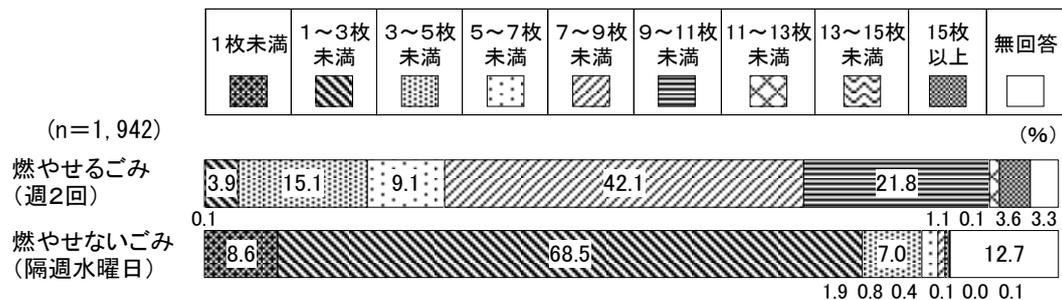
① 指定ごみ袋のサイズ



② 1回に使用する枚数



③ 1ヶ月に使用する枚数



家庭でのごみの出し方について聞いたところ、指定ごみ袋のサイズは、“燃やせるごみ(週2回)”では「20ℓ」が44.0%で最も高く、次いで「10ℓ」(29.1%)、「40ℓ」(21.8%)、「5ℓ」(13.4%)となっている。

“燃やせないごみ(隔週水曜日)”では「20ℓ」が32.8%で最も高く、次いで「10ℓ」(27.1%)、「5ℓ」(16.6%)、「40ℓ」(16.4%)となっている。

1回に使用する枚数は、“燃やせるごみ(週2回)”では「1～2枚未満」が86.0%で最も高く、次いで「2～3枚未満」(9.8%)となっている。

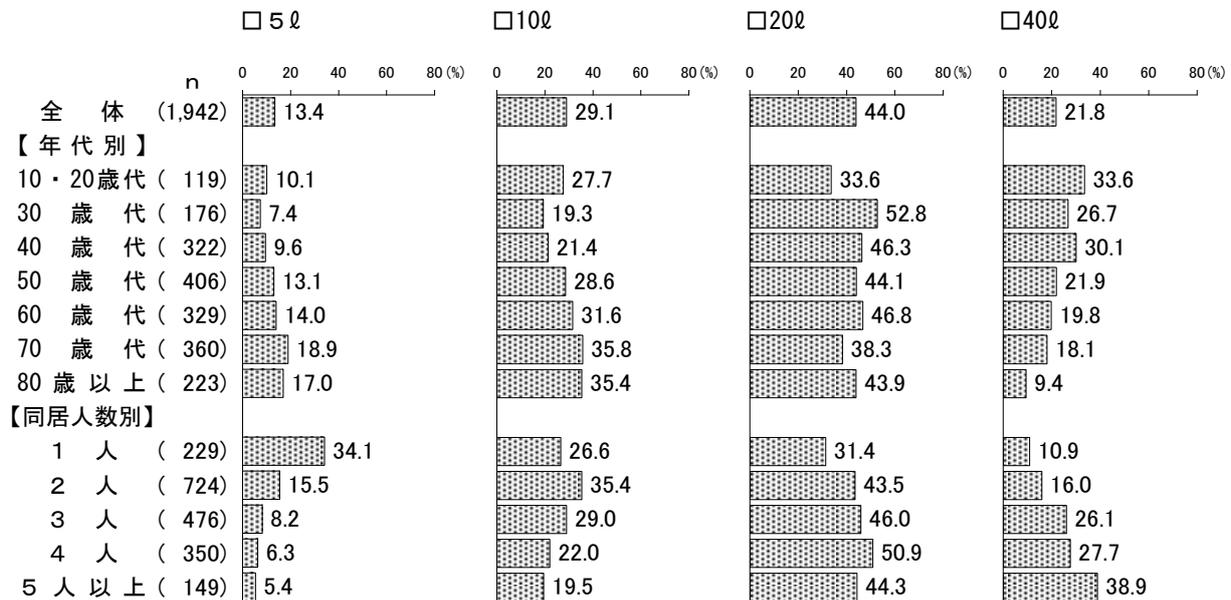
“燃やせないごみ(隔週水曜日)”では「1～2枚未満」が78.6%で最も高く、次いで「1枚未満」(2.6%)となっている。

1ヶ月に使用する枚数は、“燃やせるごみ(週2回)”では「7～9枚未満」が42.1%で最も高く、次いで「9～11枚未満」(21.8%)、「3～5枚未満」(15.1%)となっている。

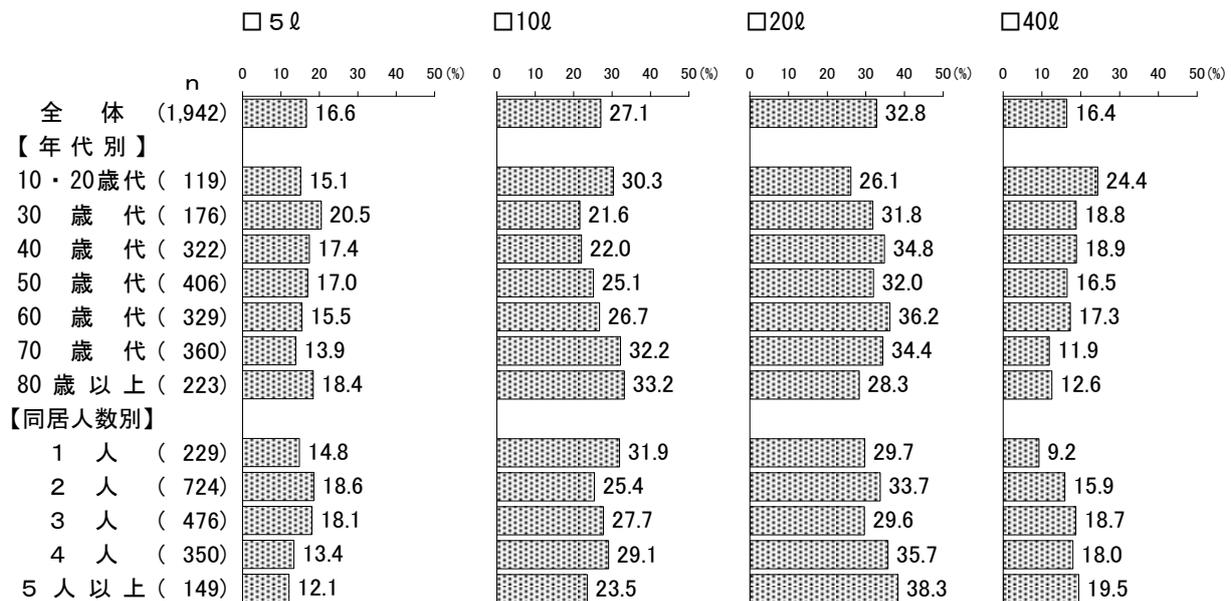
“燃やせないごみ(隔週水曜日)”では「1～3枚未満」が68.5%で最も高く、次いで「1枚未満」(8.6%)、「3～5枚未満」(7.0%)となっている。

【年代別、同居人数別】 ① 指定ごみ袋のサイズ

<燃やせるごみ（週2回）>



<燃やせないごみ（隔週水曜日）>

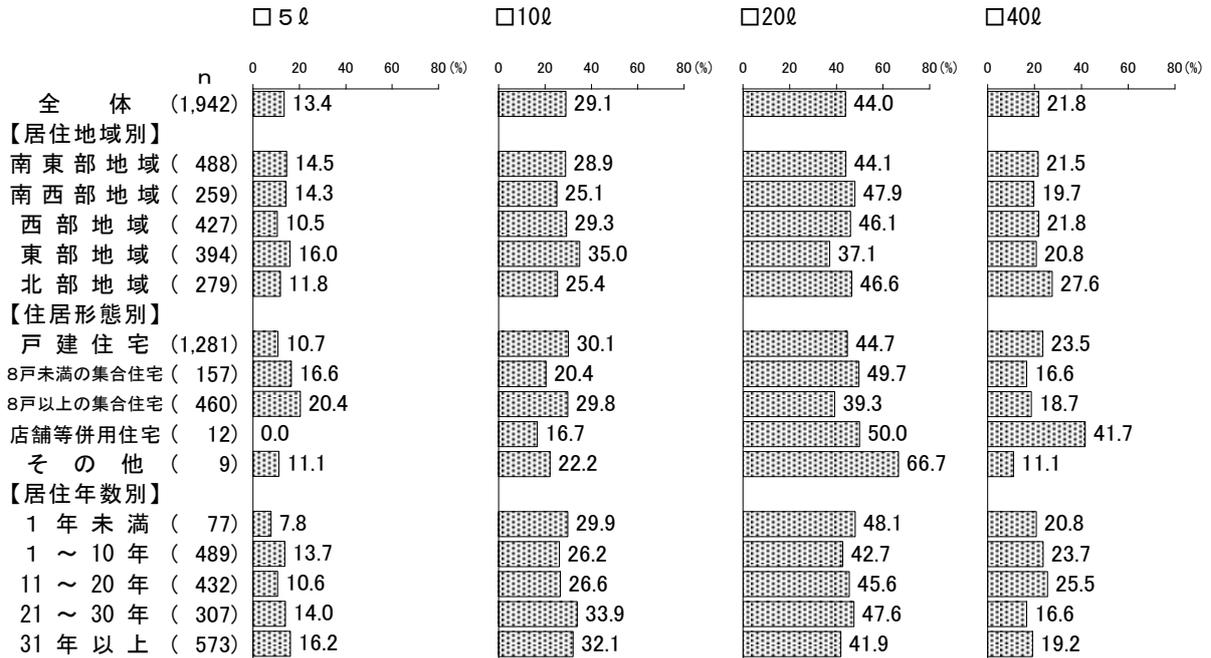


指定ごみ袋のサイズを年代別で見ると、“燃やせるごみ”では「20L」は30歳代で52.8%と高くなっている。また、“燃やせないごみ”では「20L」は60歳代で36.2%と高くなっている。

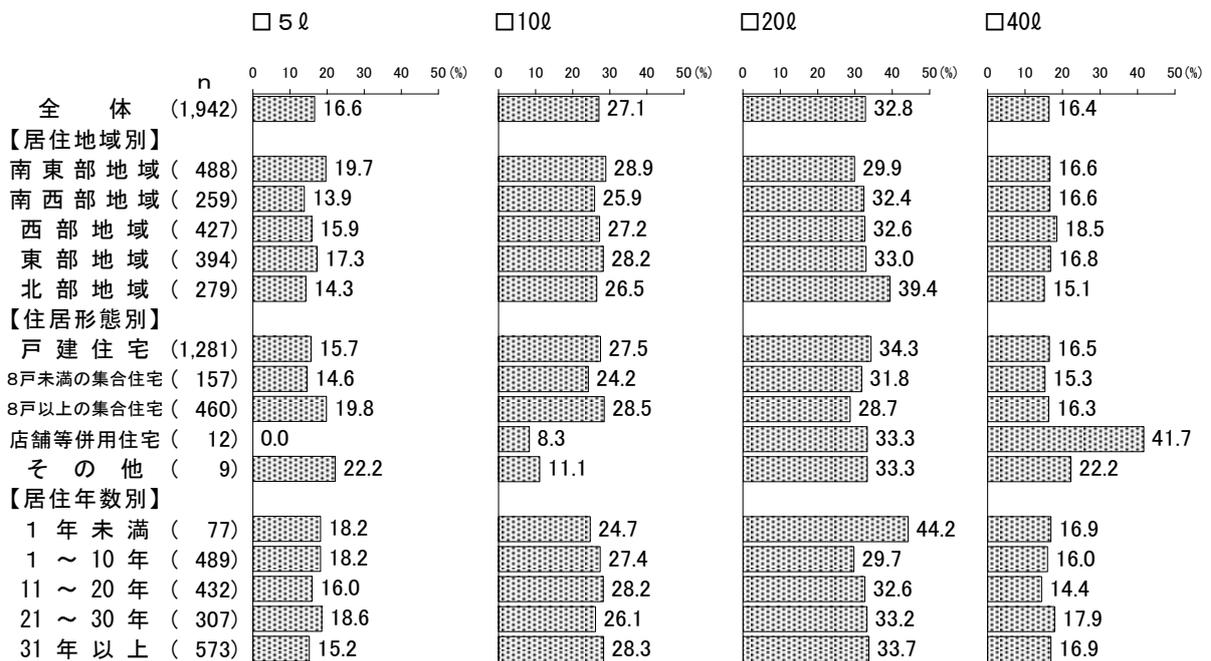
同居人数別で見ると、“燃やせるごみ”では「20L」は4人で50.9%と高くなっている。また、“燃やせないごみ”では「20L」は5人以上で38.3%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】 ① 指定ごみ袋のサイズ

<燃やせるごみ（週2回）>



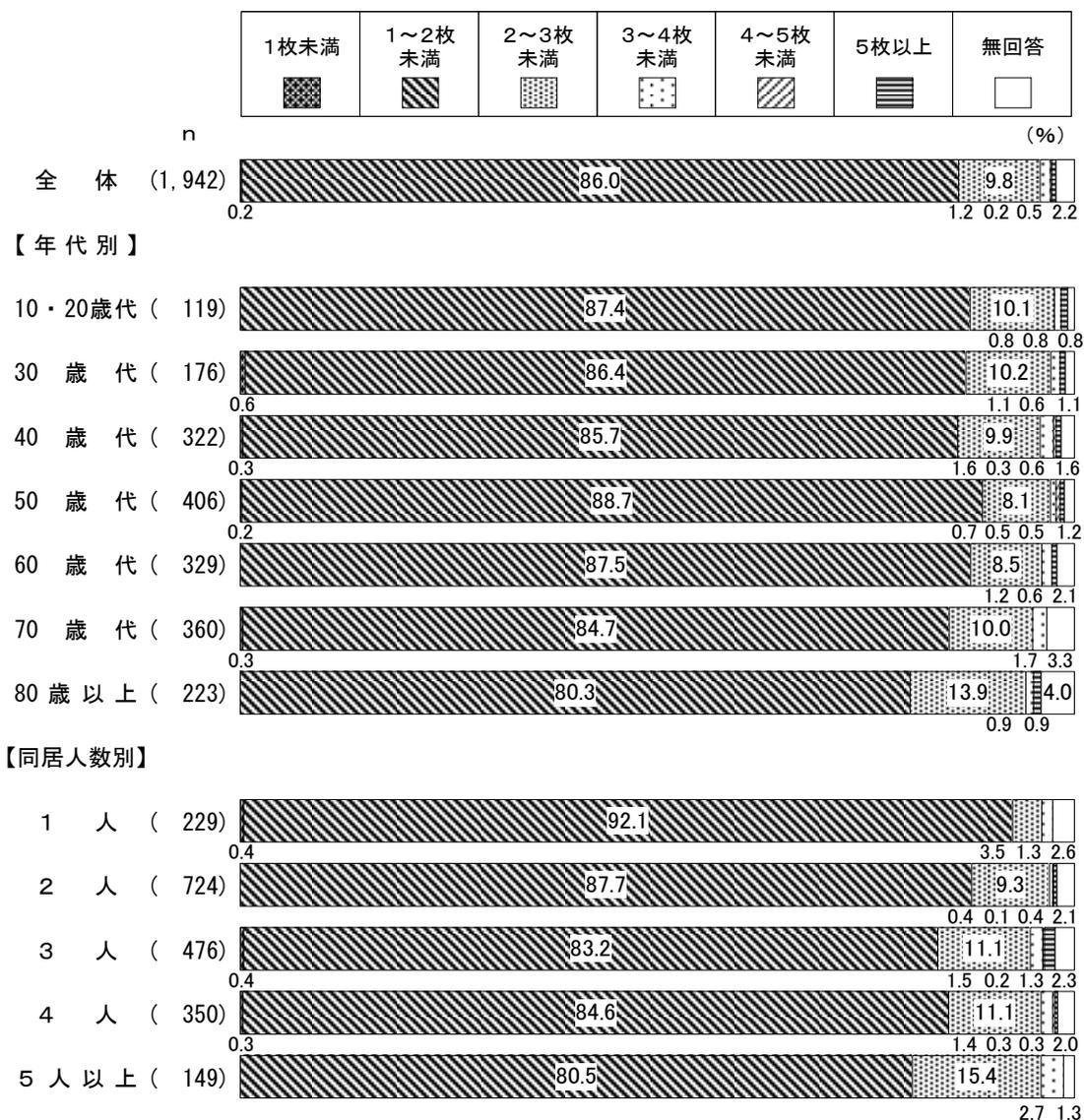
<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



指定ごみ袋のサイズを居住地域別で見ると、「燃やせるごみ」では「20L」は南西部地域で47.9%と高くなっている。また、「燃やせないごみ」では「20L」は北部地域で39.4%と高くなっている。住居形態別で見ると、「燃やせるごみ」では「20L」は8戸未満の集合住宅で49.7%と高くなっている。また、「燃やせないごみ」では「20L」は戸建住宅で34.3%と高くなっている。居住年数別で見ると、「燃やせるごみ」では「20L」は1年未満で48.1%と高くなっている。また、「燃やせないごみ」では「20L」は1年未満で44.2%と高くなっている。

【年代別、同居人数別】 ② 1回使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>

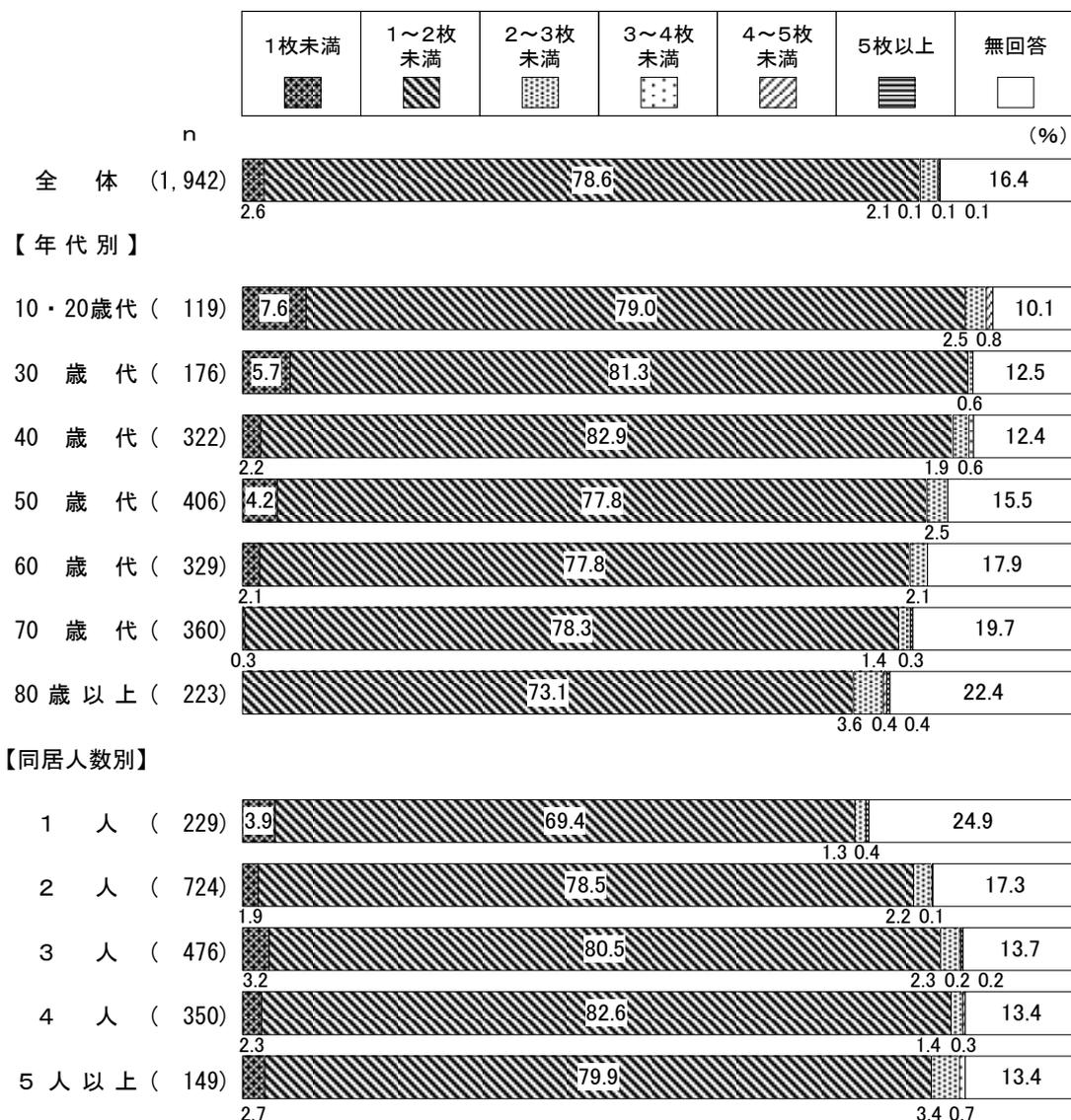


1回使用する枚数を年代別で見ると、“燃やせるごみ”では「1～2枚未満」は50歳代で88.7%と高くなっている。

同居人数別で見ると、“燃やせるごみ”では「1～2枚未満」はおおむね同居人数が少なくなるほど割合が高く、1人で92.1%となっている。

【年代別、同居人数別】 ② 1回に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>

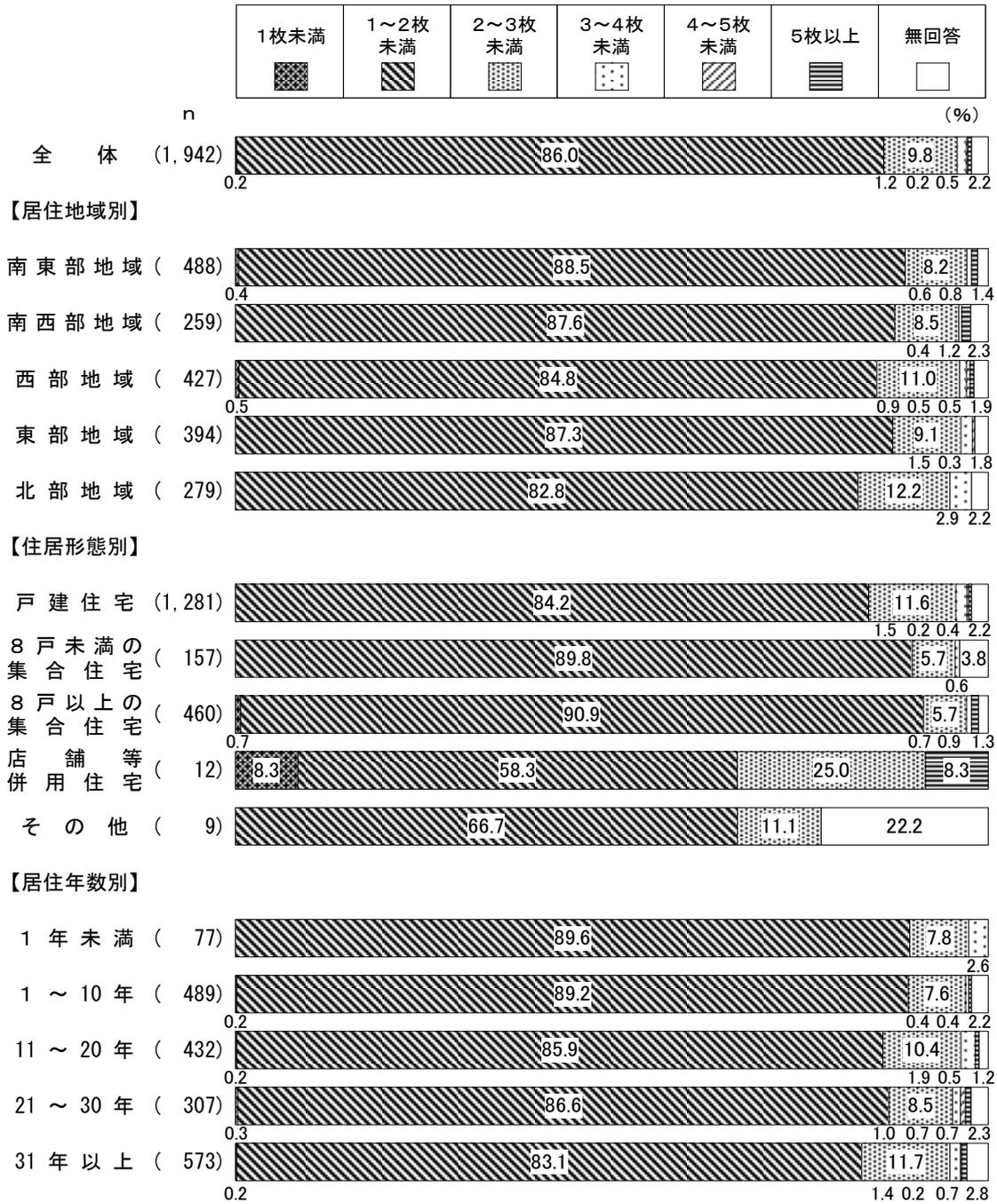


1回に使用する枚数を年代別で見ると、“燃やせないごみ”では「1～2枚未満」は40歳代で82.9%と高くなっている。

同居人数別で見ると、“燃やせないごみ”では「1～2枚未満」は4人で82.6%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】 ② 1回に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>



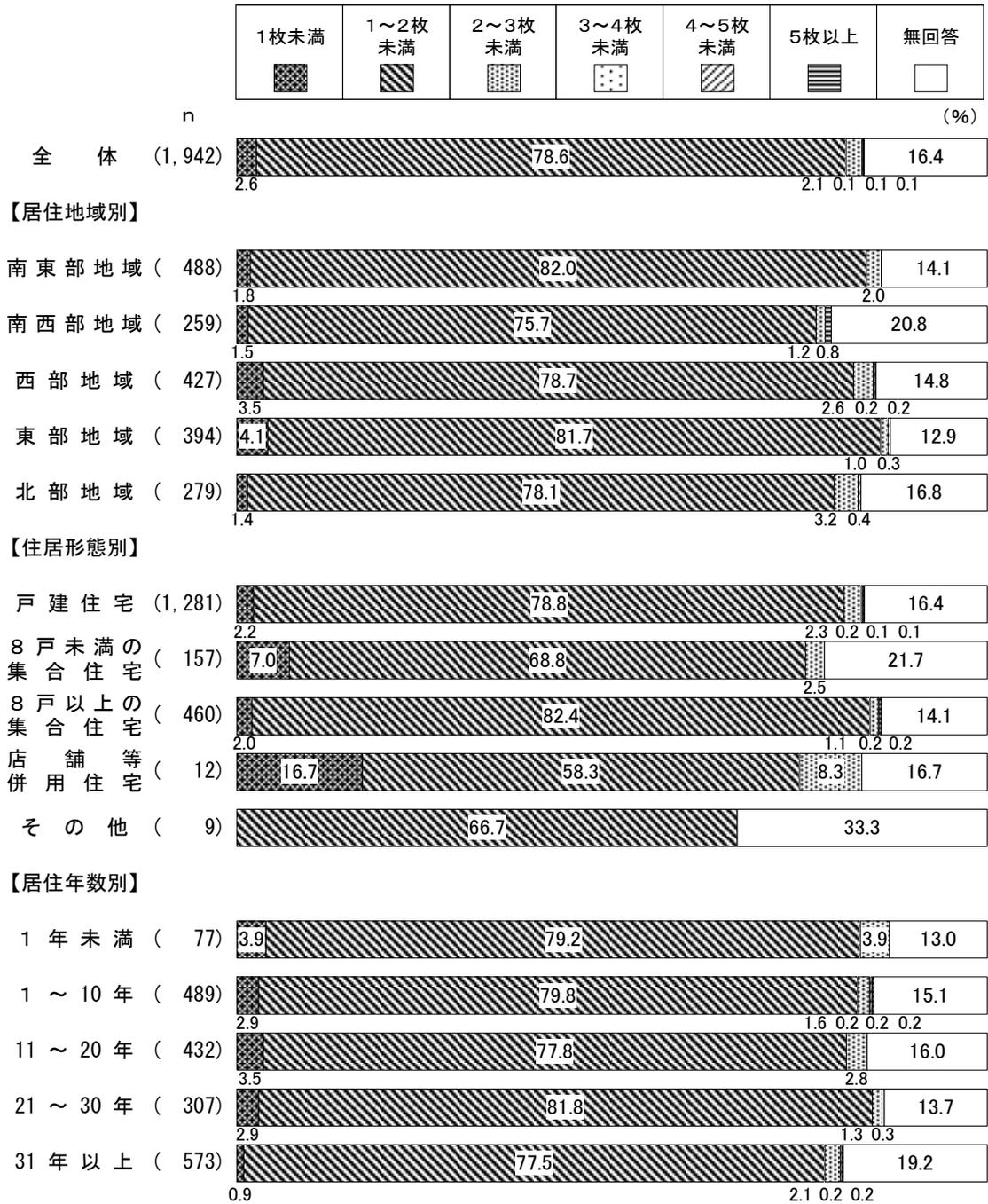
1回に使用する枚数を居住地域別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」は南東部地域で88.5%と高くなっている。

住居形態別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」は8戸以上の集合住宅で90.9%と高くなっている。

居住年数別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」はおおむね居住年数が短くなるほど割合が高く、1年未満で89.6%となっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】 ② 1回に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



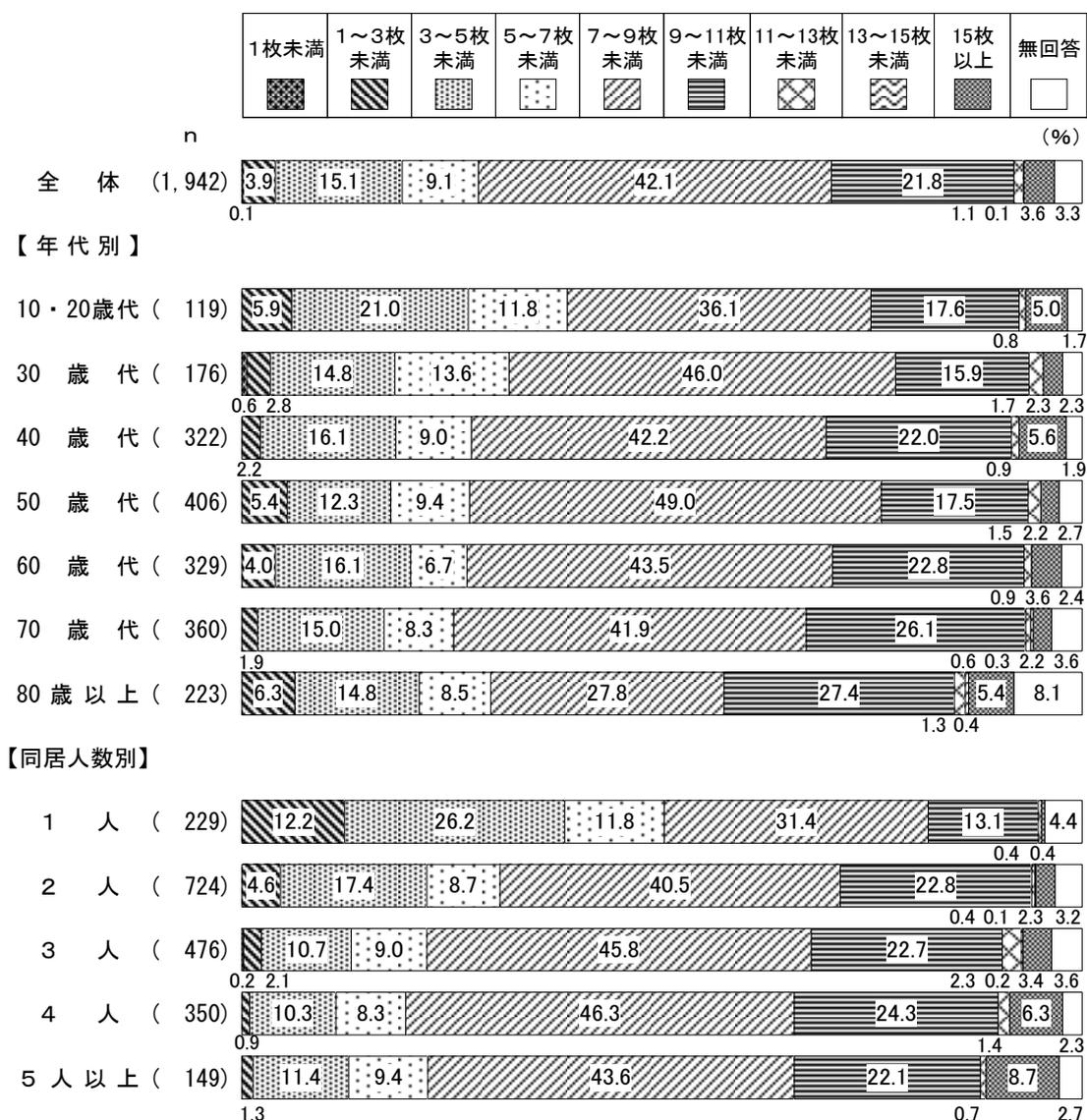
1回に使用する枚数を居住地域別でみると、「燃やせないごみ」では「1～2枚未満」は南東部地域で82.0%と高くなっている。

住居形態別でみると、「燃やせないごみ」では「1～2枚未満」は8戸以上の集合住宅で82.4%と高くなっている。

居住年数別でみると、「燃やせないごみ」では「1～2枚未満」は21～30年で81.8%と高くなっている。

【年代別、同居人数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>

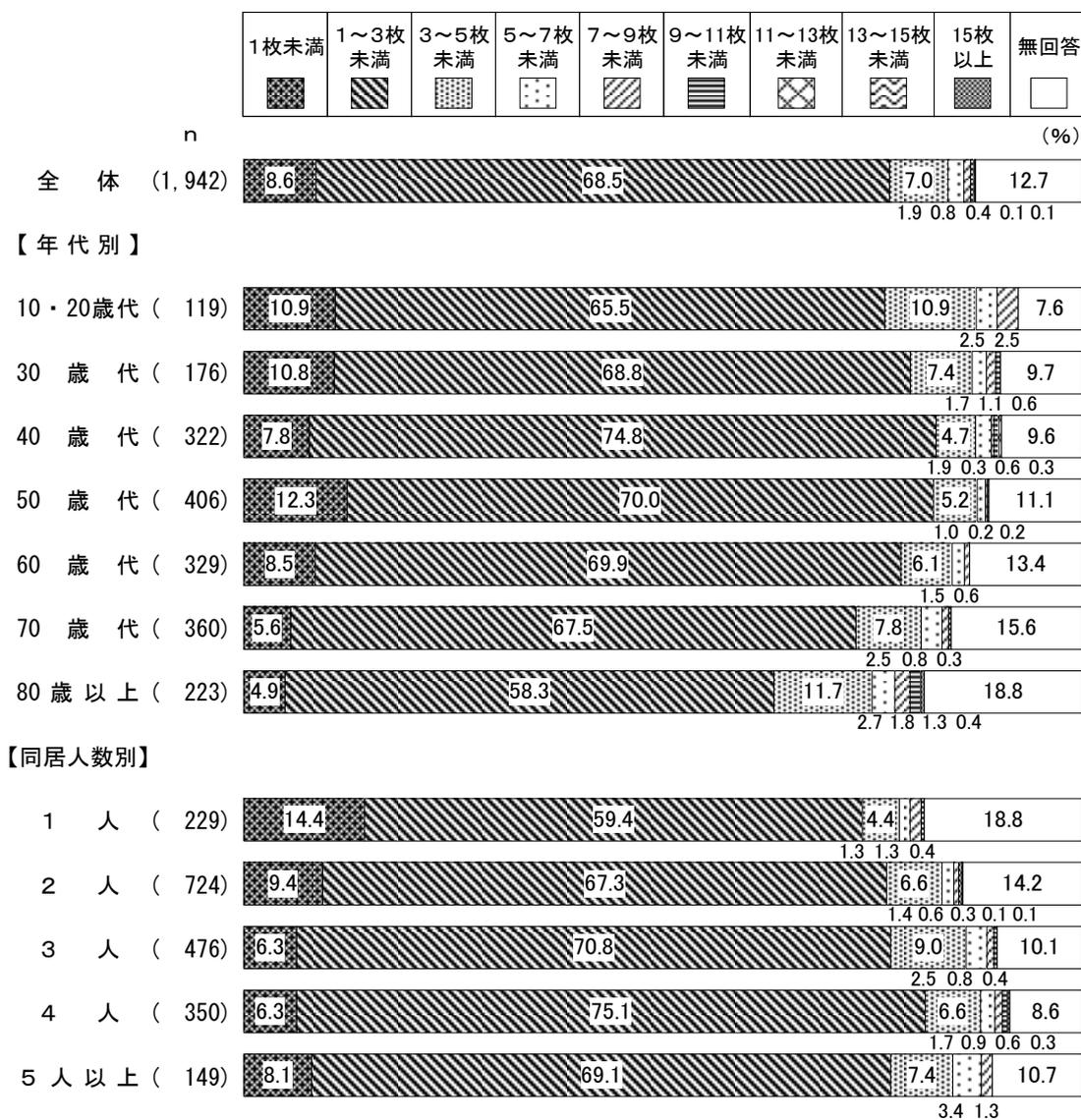


1ヶ月に使用する枚数を年代別で見ると、“燃やせるごみ”では「7～9枚未満」は50歳代で49.0%と高くなっている。

同居人数別で見ると、“燃やせるごみ”では「7～9枚未満」は4人で46.3%と高くなっている。

【年代別、同居人数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>

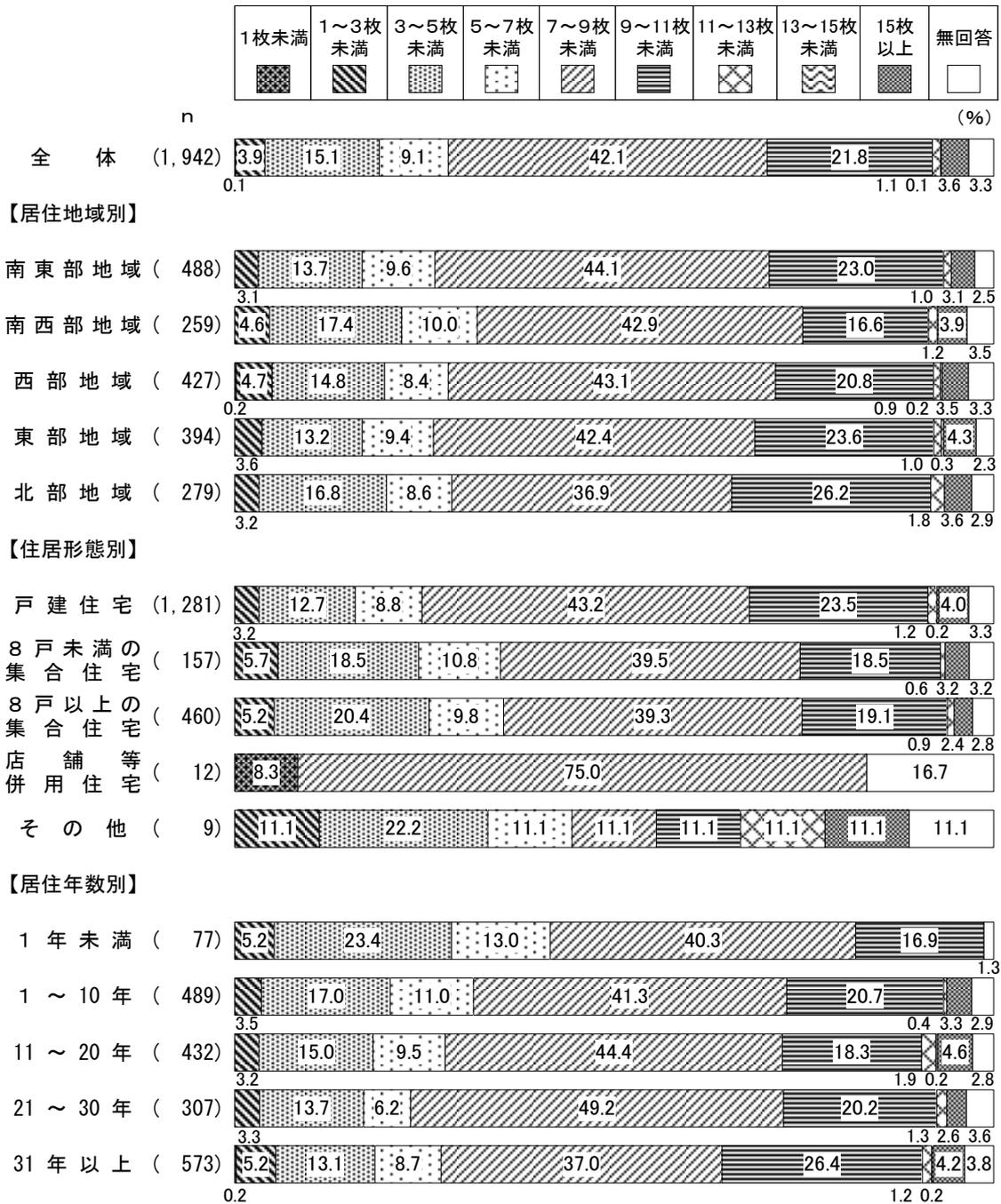


1ヶ月に使用する枚数を年代別で見ると、“燃やせないごみ”では「1~3枚未満」は40歳代で74.8%と高くなっている。

同居人数別で見ると、“燃やせないごみ”では「1~3枚未満」は4人で75.1%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>



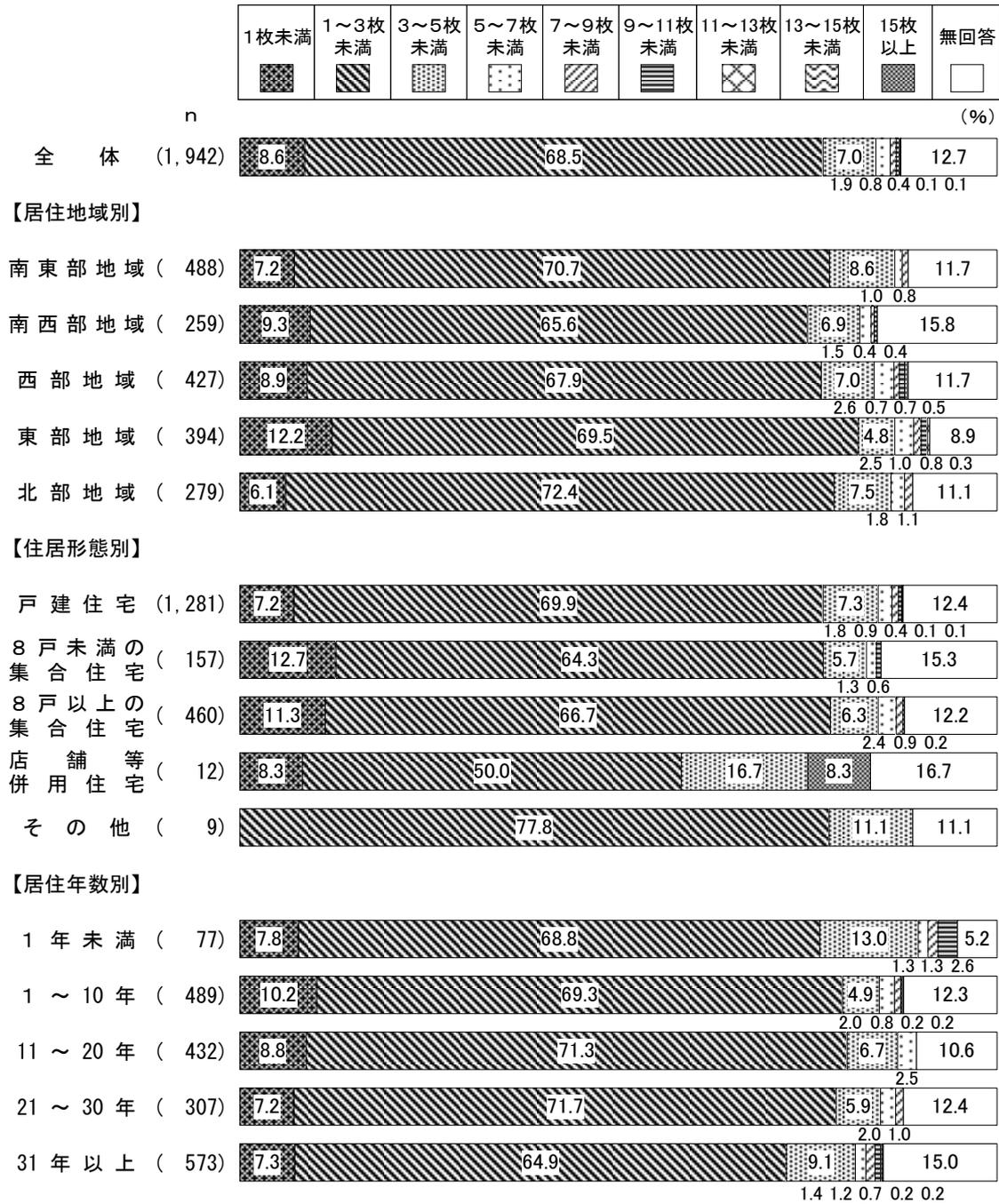
1ヶ月に使用する枚数を居住地域別で見ると、「燃やせるごみ」では「7～9枚未満」は南東部地域で44.1%と高くなっている。

住居形態別で見ると、「燃やせるごみ」では「7～9枚未満」は戸建住宅で43.2%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「燃やせるごみ」では「7～9枚未満」は21～30年で49.2%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



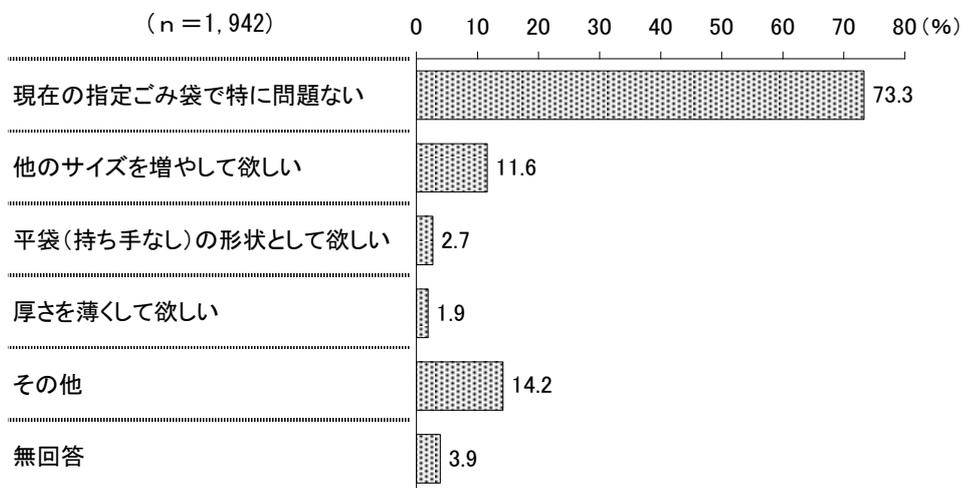
1ヶ月に使用する枚数を居住地域別でみると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は北部地域で72.4%と高くなっている。

住居形態別でみると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は戸建住宅で69.9%と高くなっている。

居住年数別でみると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は21~30年で71.7%と高くなっている。

(5) 指定ごみ袋についての考え

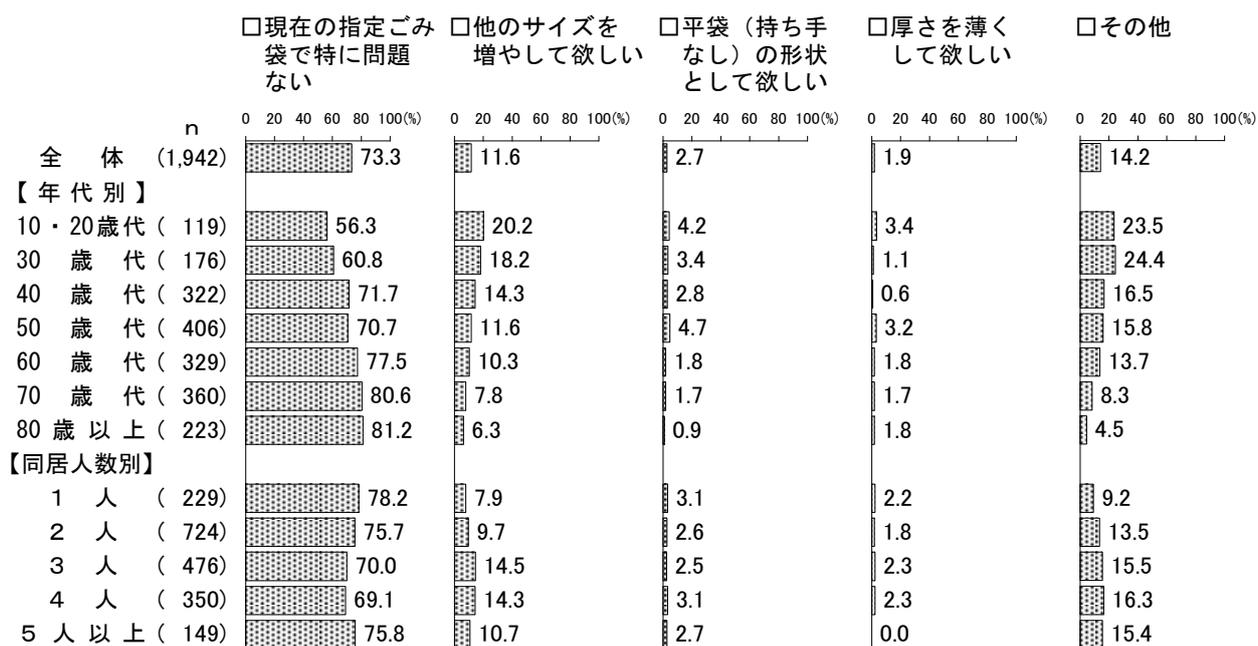
問9 指定ごみ袋についてのお考えをお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



指定ごみ袋についての考えを聞いたところ、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」が73.3%で最も高く、次いで「他のサイズを増やして欲しい」(11.6%)、「平袋(持ち手なし)の形状として欲しい」(2.7%)、「厚さを薄くして欲しい」(1.9%)となっている。

また、「その他」の意見として「指定ごみ袋の値段が高い」、「燃やせないごみを出す時に不便である」、「破れない丈夫な袋にしてほしい」などがあった。

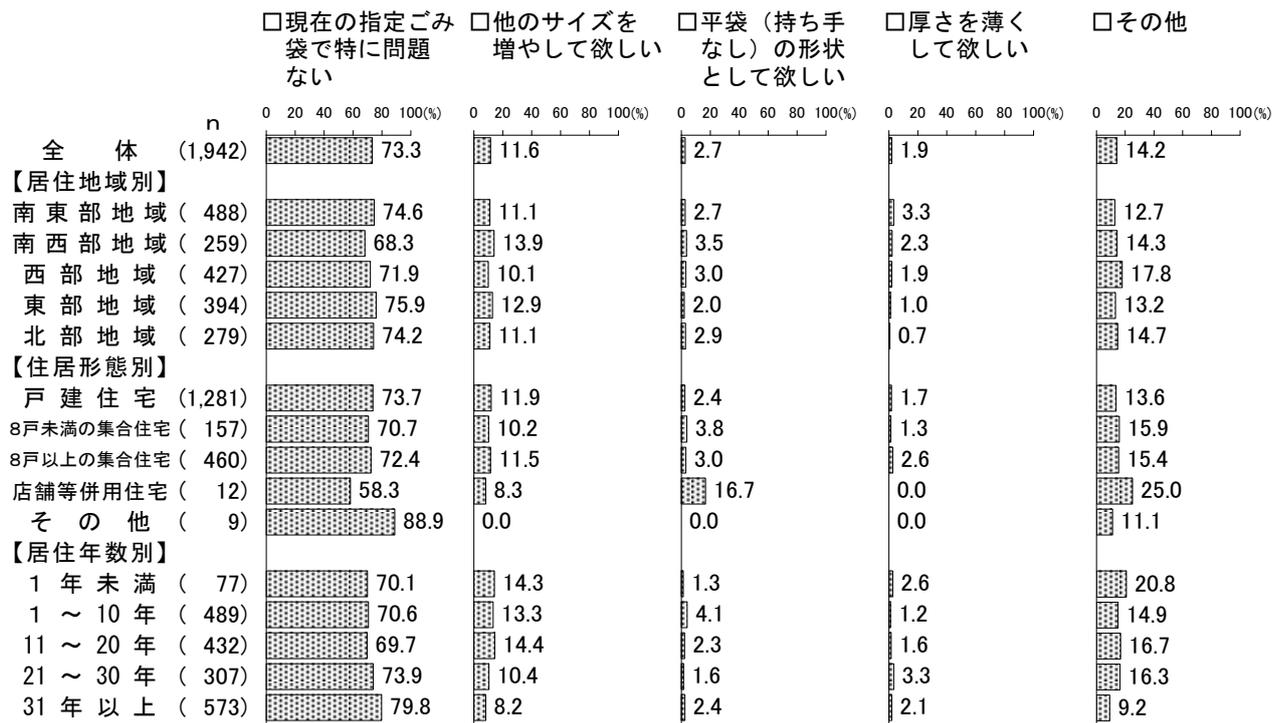
【年代別、同居人数別】



年代別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、80歳以上で81.2%となっている。

同居人数別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は1人で78.2%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



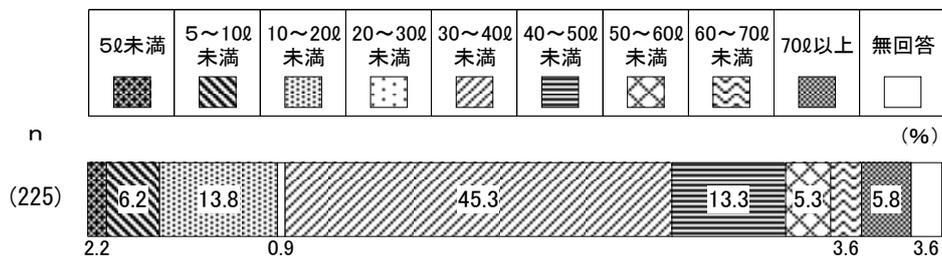
居住地域別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は東部地域で75.9%と高くなっている。

住居形態別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は戸建住宅で73.7%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は31年以上で79.8%と高くなっている。

(6) 指定ごみ袋の希望のサイズ

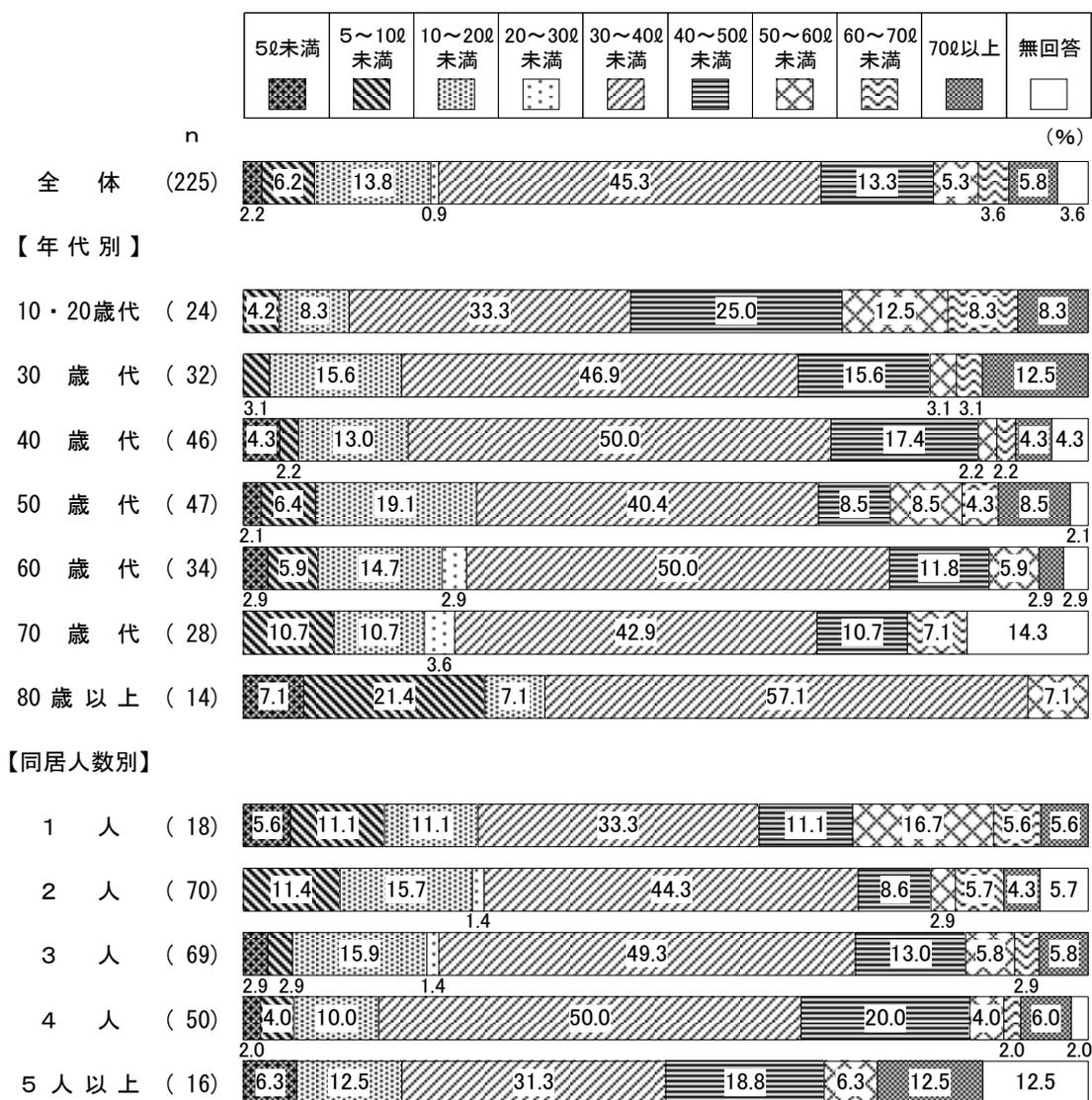
問10 問9で「他のサイズを増やして欲しい」を選んだ方のみ、ご希望の主なサイズと理由をご記入ください。



指定ごみ袋について、「他のサイズを増やして欲しい」と回答した方に、指定ごみ袋の希望のサイズを聞いたところ、「30~400未満」が45.3%で最も高く、次いで「10~200未満」(13.8%)、「40~500未満」(13.3%)、「5~100未満」(6.2%)となっている。

また、「30~400未満」と回答した主な理由をみると、「200では小さく400では大きすぎる時があるから」という意見であった。

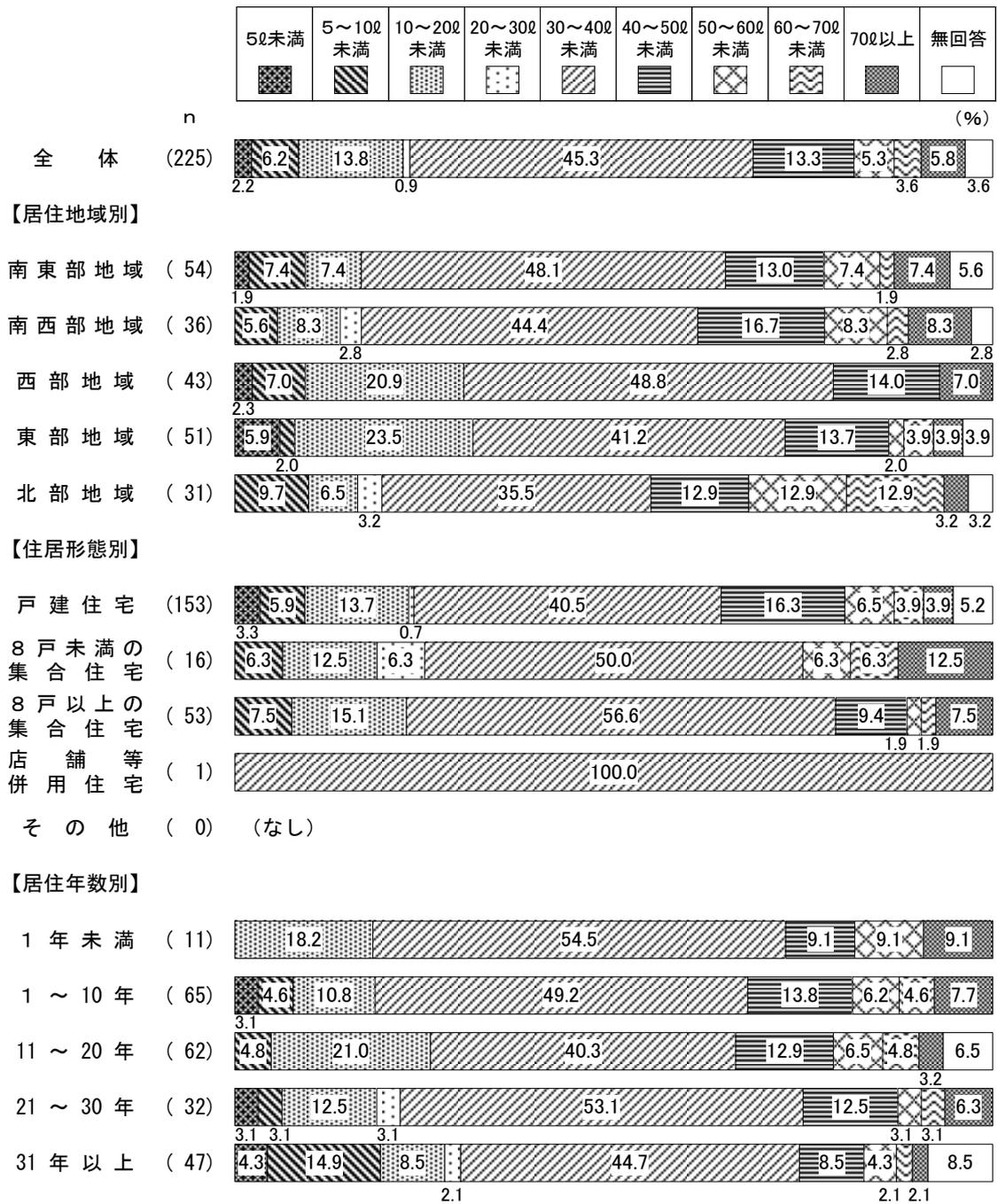
【年代別、同居人数別】



年代別でみると、「30~400未満」は40歳代と60歳代で50.0%と高くなっている。

同居人数別でみると、「30~400未満」は4人で50.0%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】

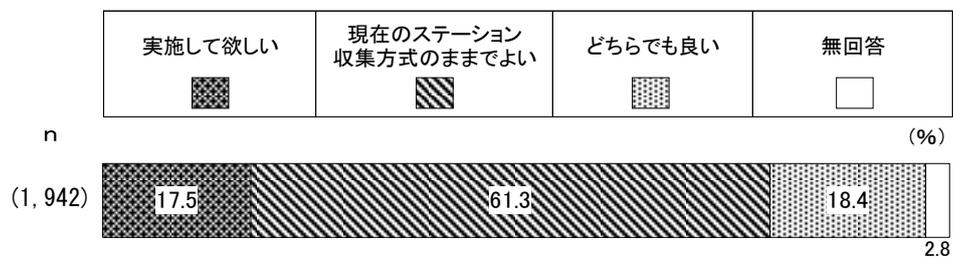


居住地域別で見ると、「30~400未満」は西部地域で48.8%と高くなっている。
 住居形態別で見ると、「30~400未満」は8戸以上の集合住宅で56.6%と高くなっている。
 居住年数別で見ると、「30~400未満」は21~30年で53.1%と高くなっている。

3. 「戸別収集」について

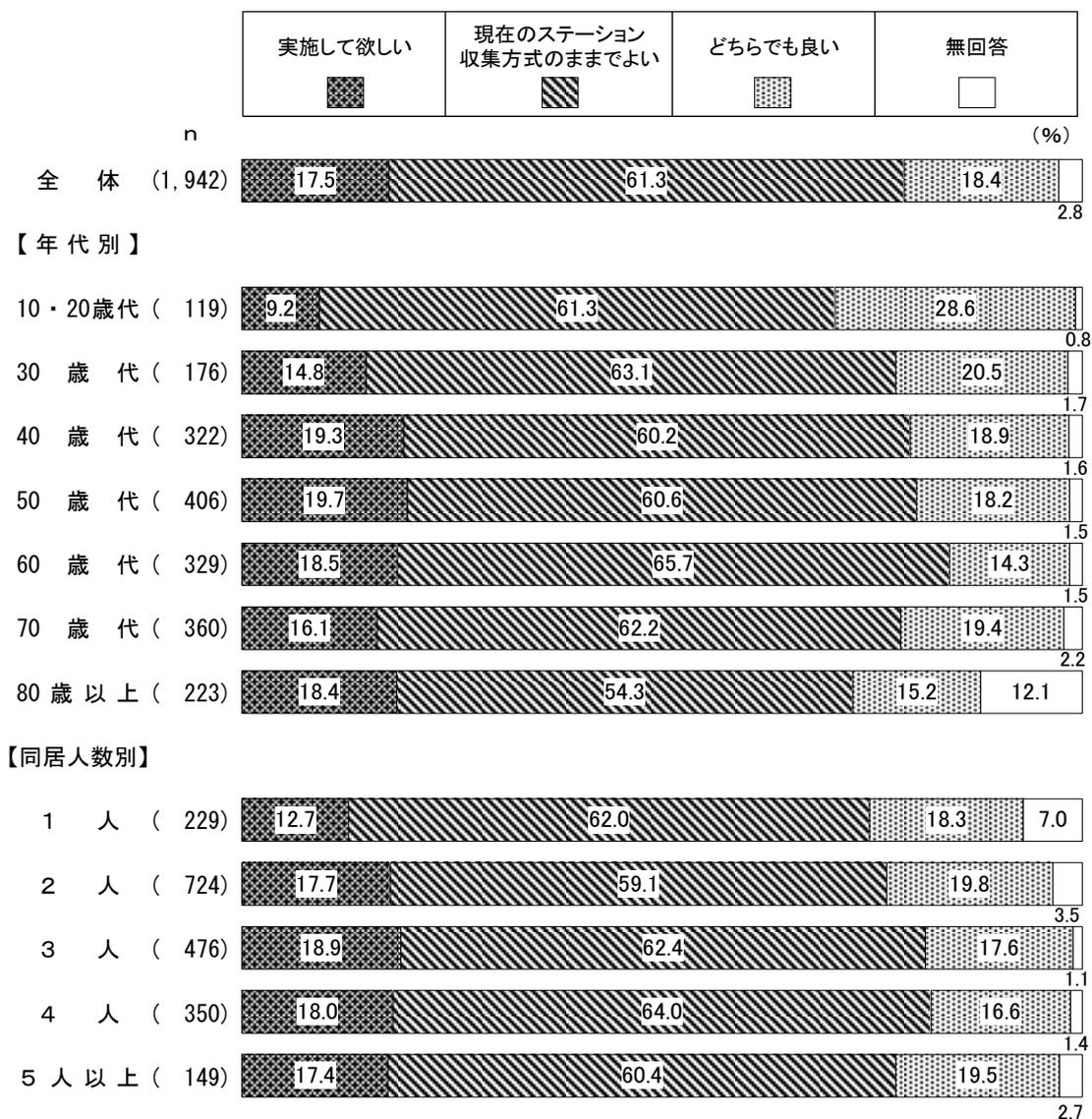
(1) 戸別収集についての考え

問11 戸別収集について、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



戸別収集についての考えを聞いたところ、「実施して欲しい」が17.5%、「現在のステーション収集方式のままでよい」は61.3%となっている。また、「どちらでも良い」は18.4%となっている。

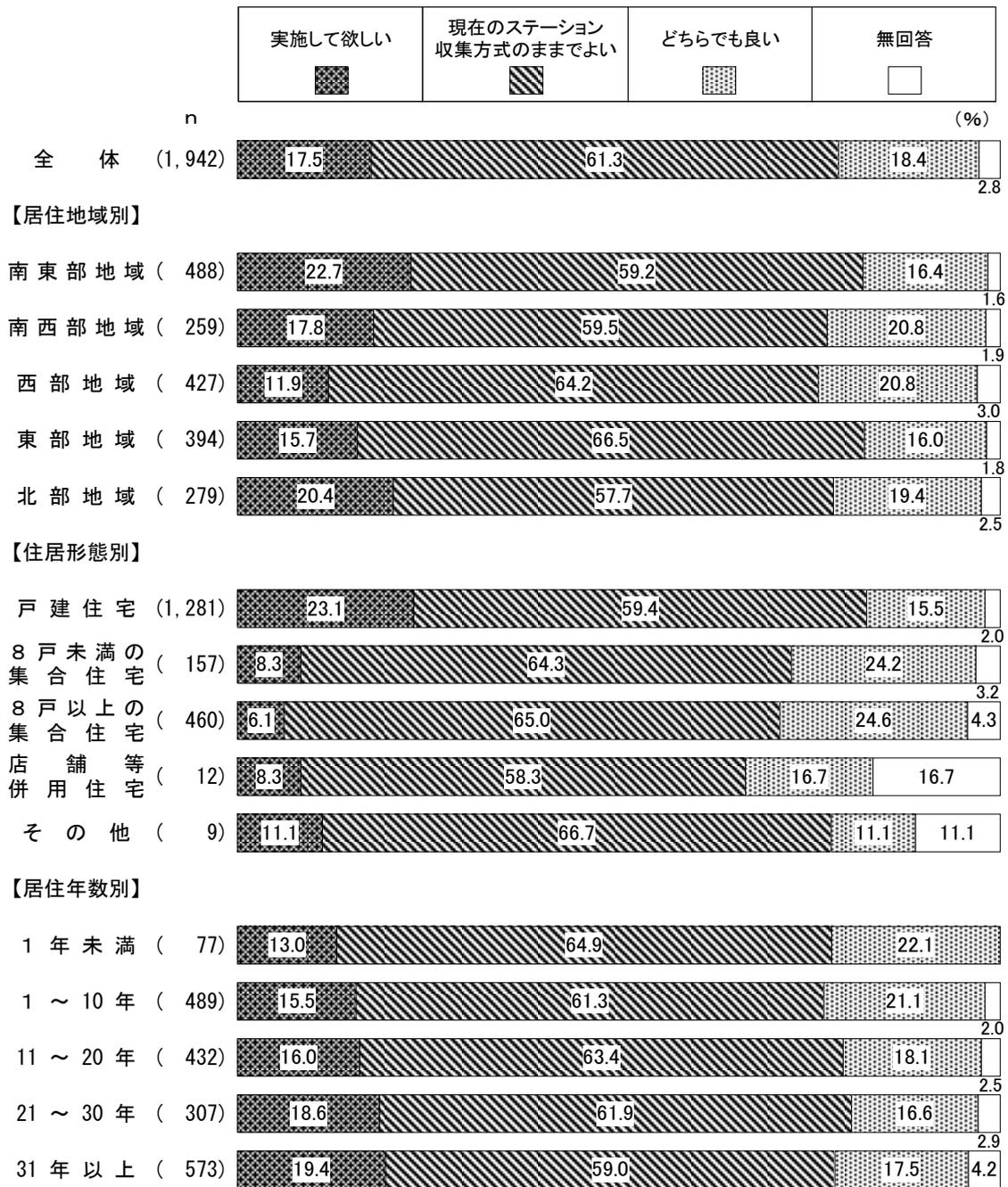
【年代別、同居人数別】



年代別でみると、「実施して欲しい」は50歳代で19.7%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は60歳代で65.7%と高くなっている。

同居人数別でみると、「実施して欲しい」は3人で18.9%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は4人で64.0%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



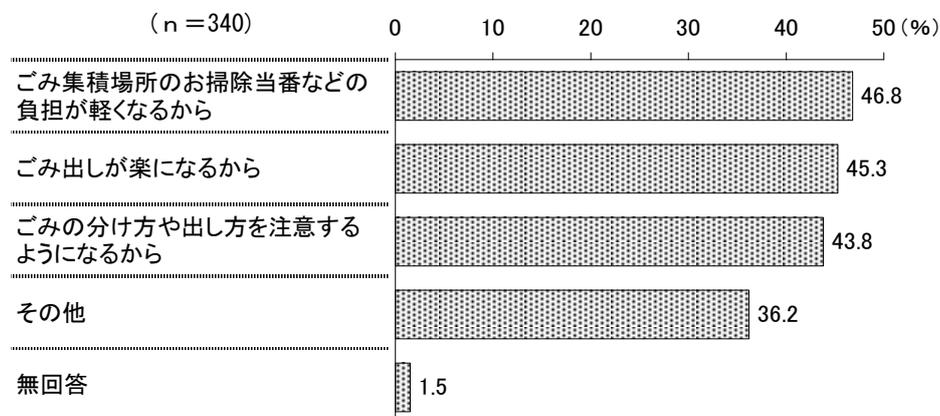
居住地域別でみると、「実施して欲しい」は南東部地域で22.7%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は東部地域で66.5%と高くなっている。

住居形態別でみると、「実施して欲しい」は戸建住宅で23.1%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は8戸以上の集合住宅で65.0%と高くなっている。なお、「現在のステーション収集方式のままでよい」と回答した戸建住宅の方は59.4%となっている。

居住年数別でみると、「実施して欲しい」は居住年数が長くなるほど割合が高く、31年以上で19.4%となっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は1年未満で64.9%と高くなっている。

(2) 戸別収集を実施して欲しい理由

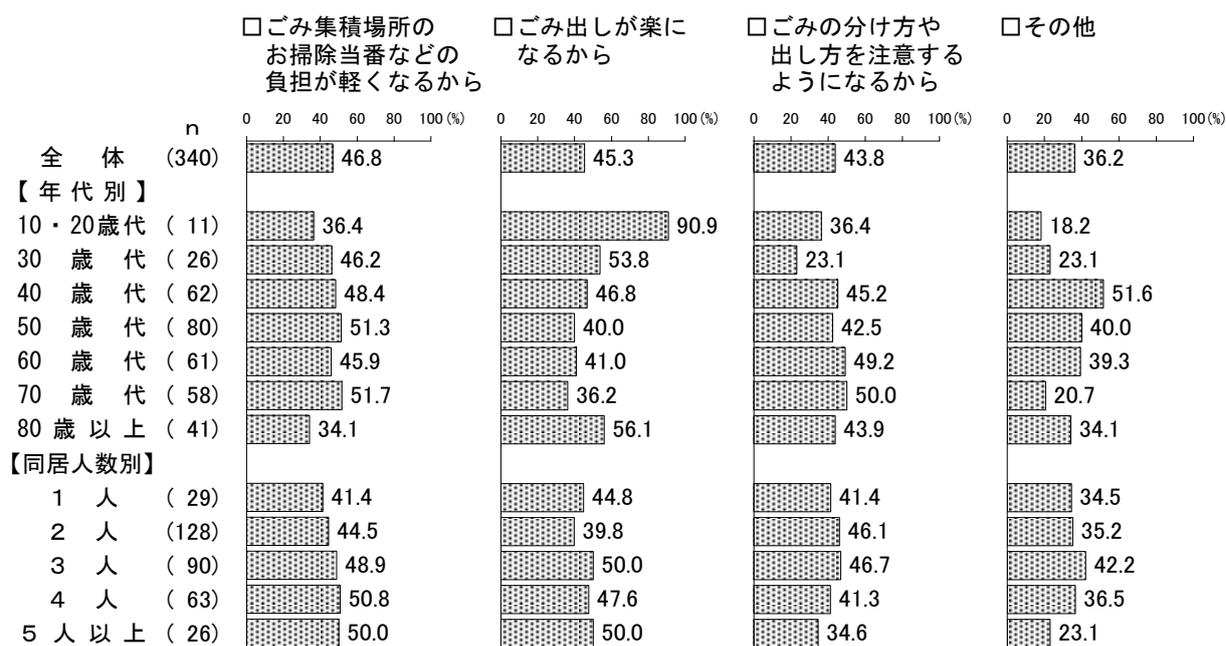
問12 問11で「実施して欲しい」を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



戸別収集を「実施して欲しい」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」が46.8%で最も高く、次いで「ごみ出しが楽になるから」(45.3%)、「ごみの分け方や出し方を注意するようになるから」(43.8%)となっている。

また、「その他」の意見として「ごみ出しのルールを守らない人がいるから」、「ごみ出しに責任を持ってほしいから」、「高齢者などのごみ出し負担が軽減するから」などがあった。

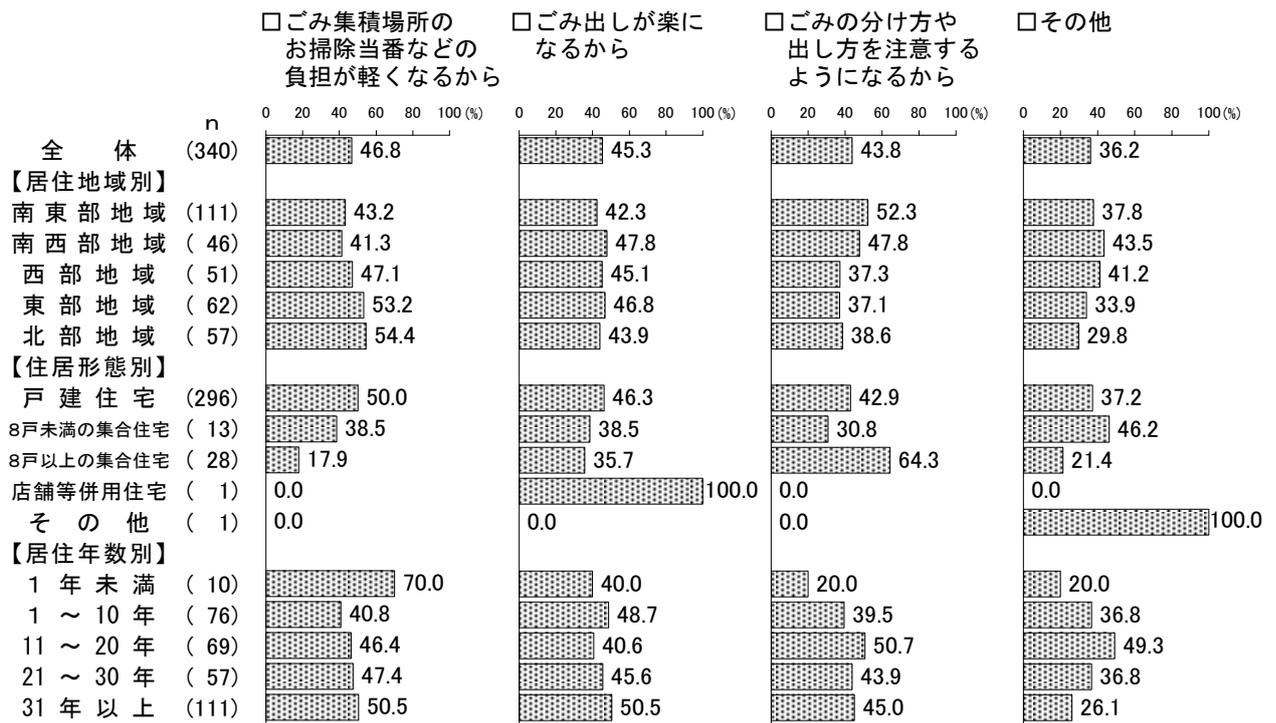
【年代別、同居人数別】



年代別でみると、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」は70歳代で51.7%と高くなっている。

同居人数別でみると、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」は4人で50.8%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



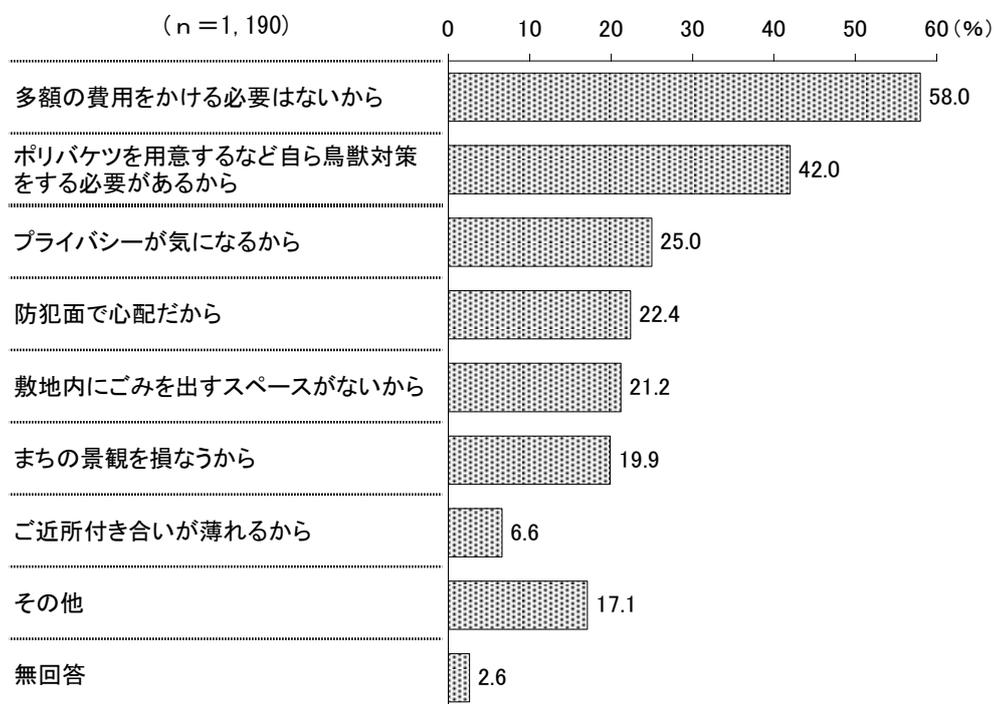
居住地域別で見ると、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」は北部地域で54.4%と高くなっている。

住居形態別で見ると、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」は戸建住宅で50.0%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」は31年以上で50.5%と高くなっている。

(3) 現在のステーション収集方式のままでよい理由

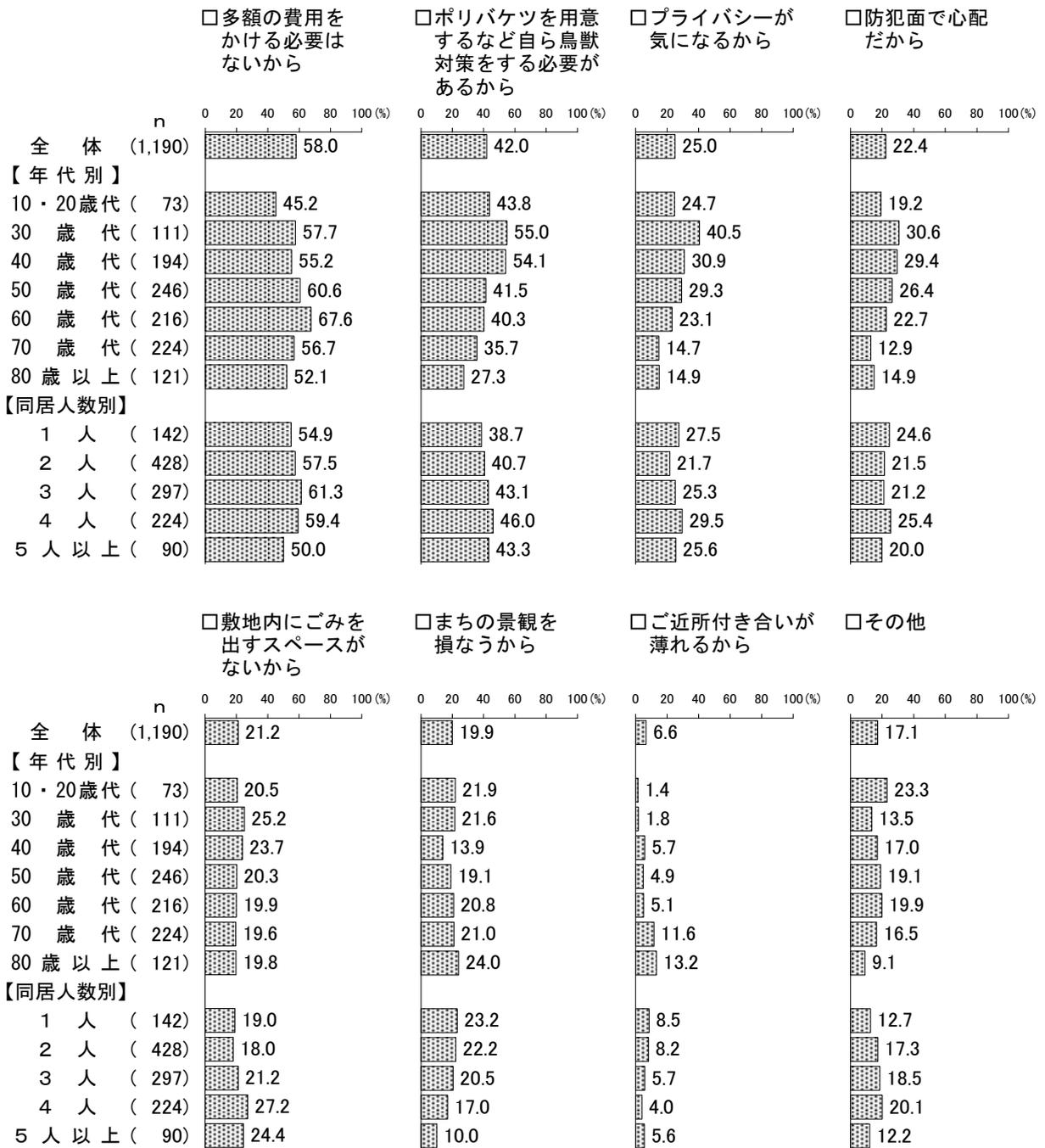
問13 問11で「現在のステーション収集方式のままでよい」を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



「現在のステーション収集方式のままでよい」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「多額の費用をかける必要はないから」が58.0%で最も高く、次いで「ポリバケツを用意するなど自ら鳥獣対策をする必要があるから」(42.0%)、「プライバシーが気になるから」(25.0%)、「防犯面で心配だから」(22.4%)となっている。

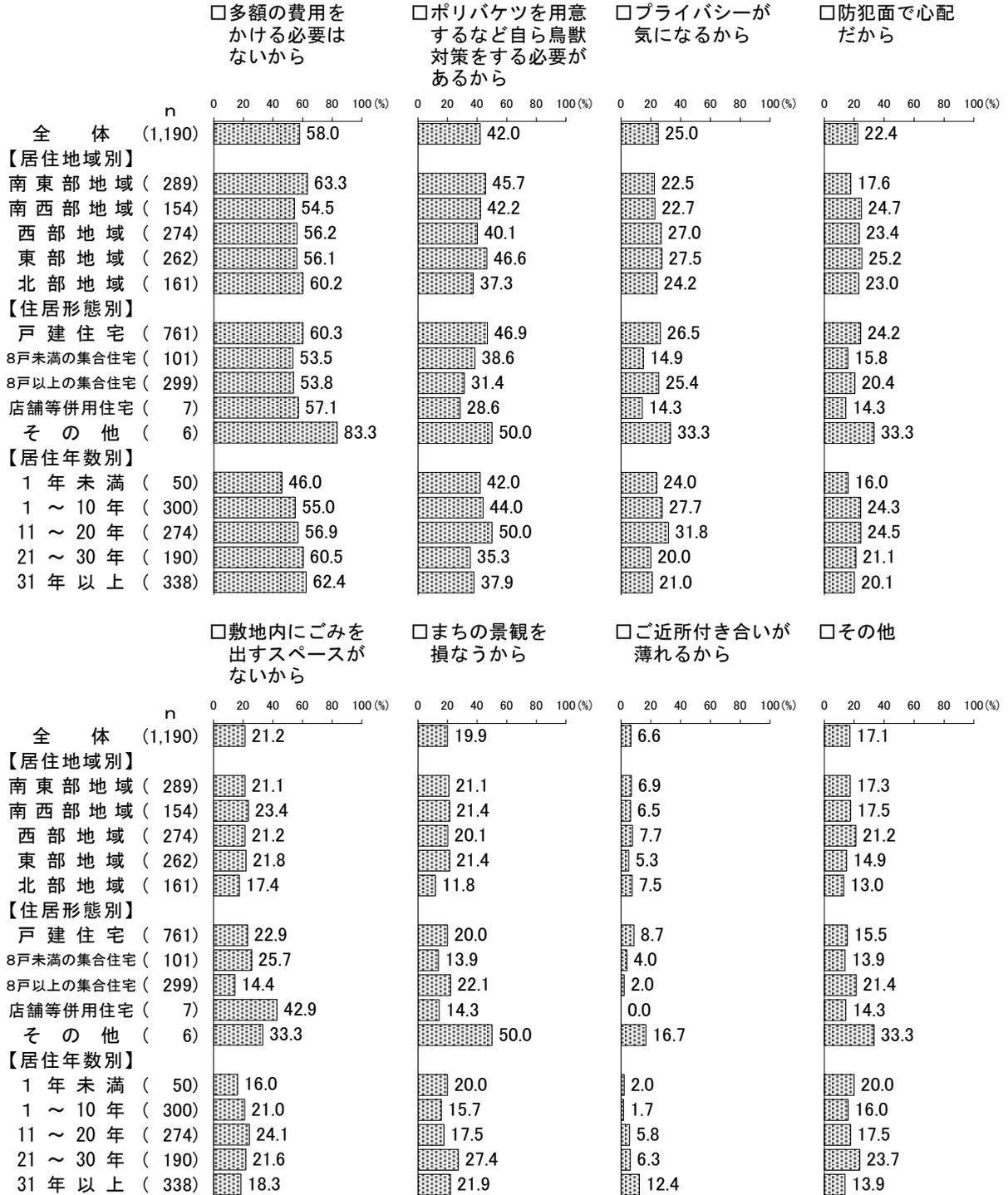
また、「その他」の意見として「ステーション収集で不便がないから」、「集合住宅だから」、「収集職員の負担が増加するから」などがあつた。

【年代別、同居人数別】



年代別で見ると、「多額の費用をかける必要はないから」は60歳代で67.6%と高くなっている。
同居人数別で見ると、「多額の費用をかける必要はないから」は3人で61.3%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



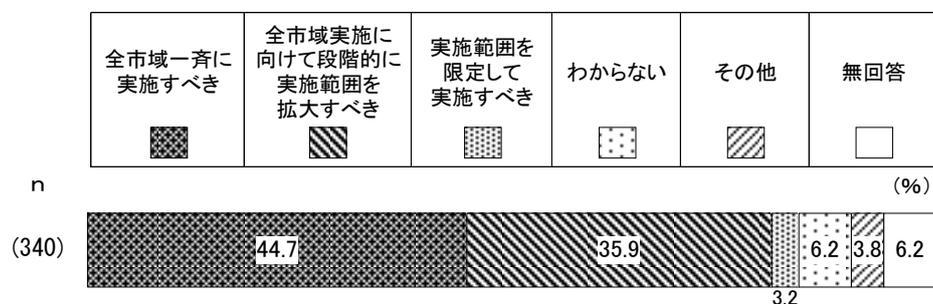
居住地域別で見ると、「多額の費用をかける必要はないから」は南東部地域で63.3%と高くなっている。

住居形態別で見ると、「多額の費用をかける必要はないから」は戸建住宅で60.3%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「多額の費用をかける必要はないから」は居住年数が長くなるほど割合が高く、31年以上で62.4%となっている。

(4) 戸別収集の進め方

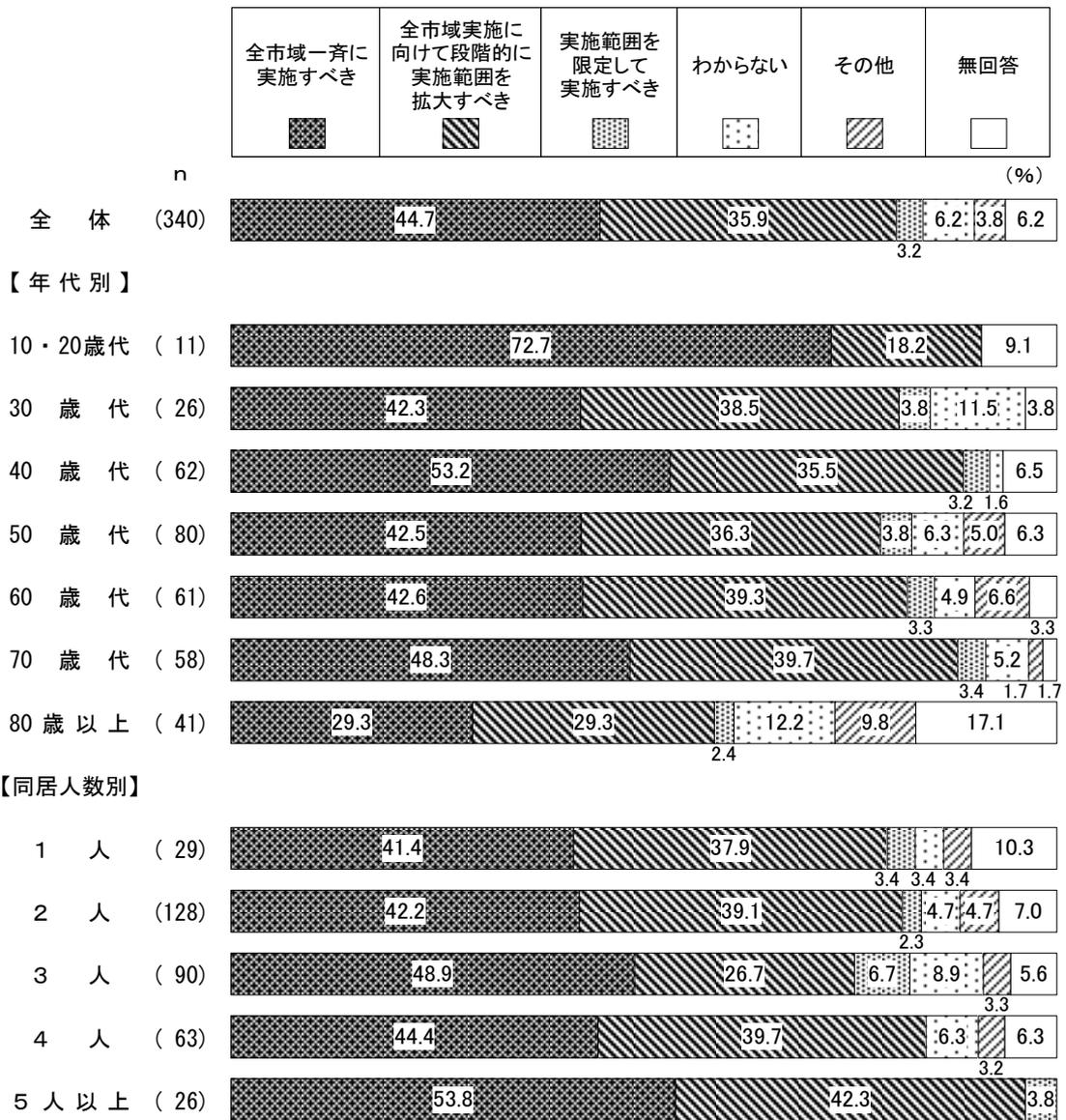
問14 問11で「実施して欲しい」を選んだ方のみ、進め方についてのあなたのお考えをお聞かせください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



戸別収集を「実施して欲しい」と回答した方に、進め方を聞いたところ、「全市域一斉に実施すべき」が44.7%で最も高く、次いで「全市域実施に向けて段階的に実施範囲を拡大すべき」(35.9%)、「実施範囲を限定して実施すべき」(3.2%)となっている。

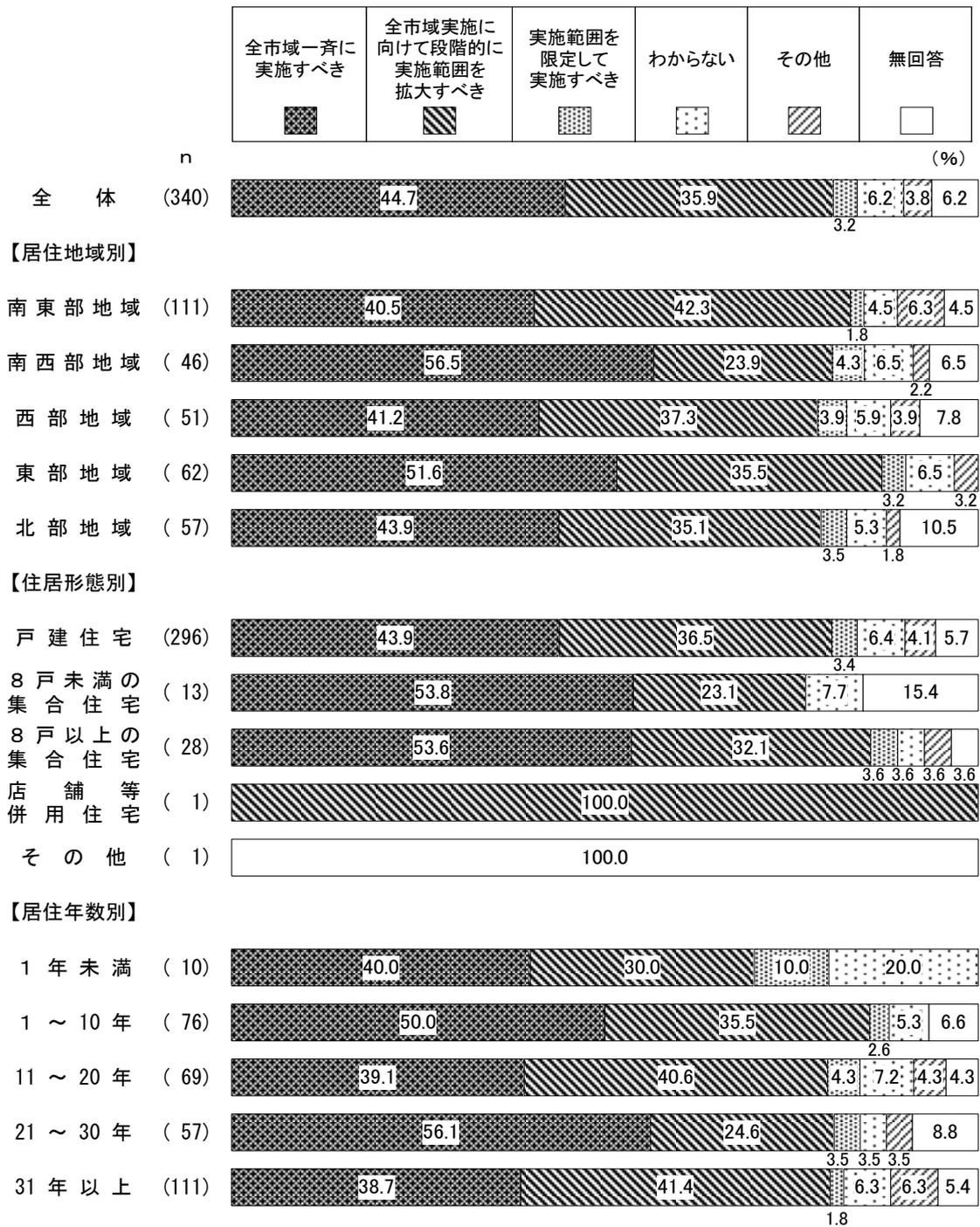
また、「その他」の意見として「希望者のみ実施する」などがあつた。

【年代別、同居人数別】



年代別でみると、「全市域一斉に実施すべき」は40歳代で53.2%と高くなっている。
同居人数別でみると、「全市域一斉に実施すべき」は5人以上で53.8%と高くなっている。

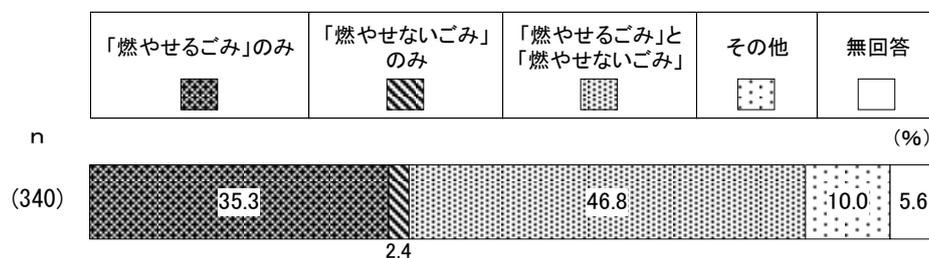
【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



居住地域別で見ると、「全市域一斉に実施すべき」は南西部地域で56.5%と高くなっている。
 住居形態別で見ると、「全市域一斉に実施すべき」は8戸以上の集合住宅で53.6%と高くなっている。
 居住年数別で見ると、「全市域一斉に実施すべき」は21～30年で56.1%と高くなっている。

(5) 戸別収集を実施すべき品目

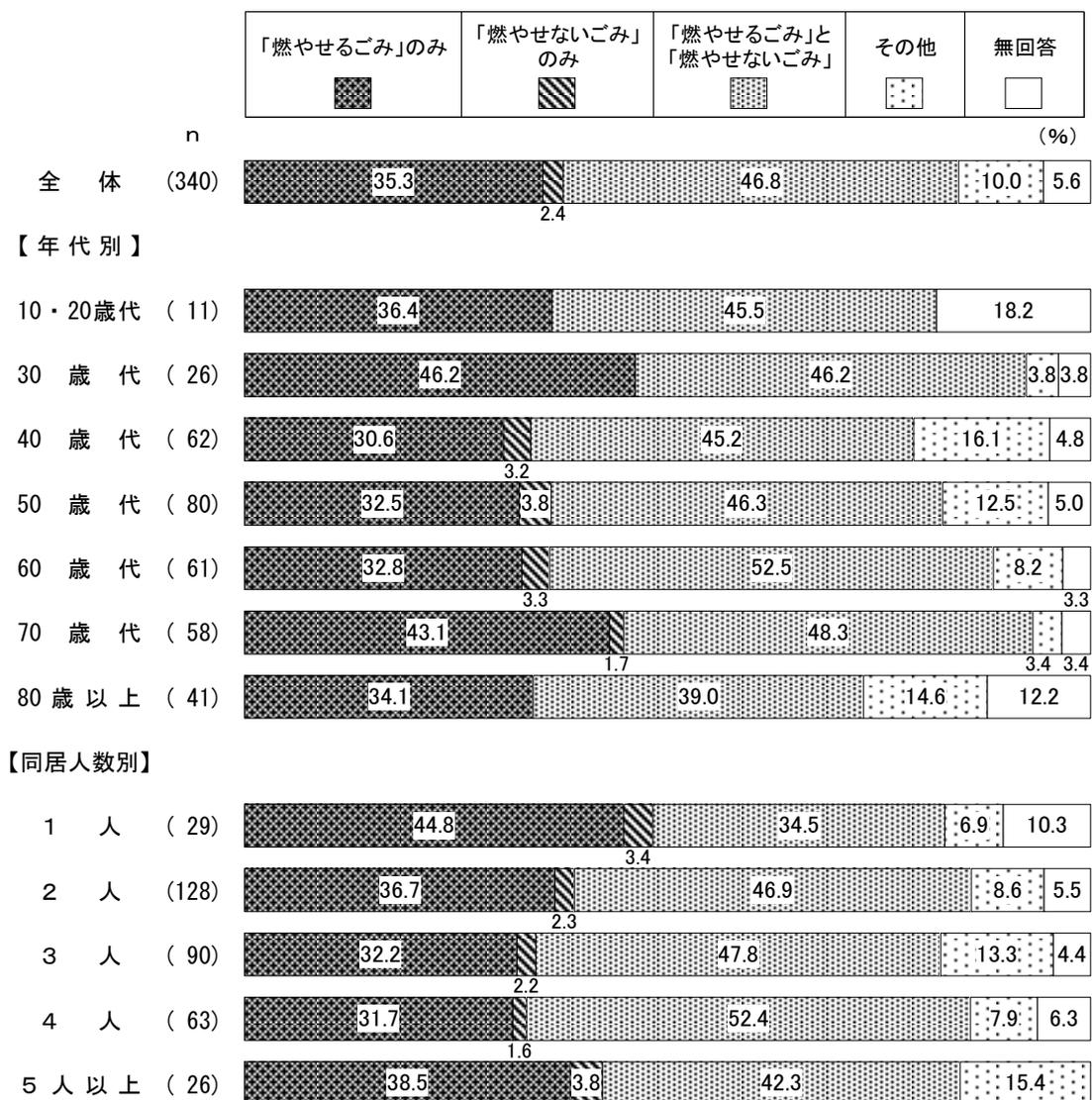
問15 問11で「実施して欲しい」を選んだ方のみ、次の品目のうちどの品目を実施すべきとお考えですか。実施した際に追加となる費用を踏まえ、次の中から1つだけ選んで○をしてください。



戸別収集を「実施して欲しい」と回答した方に、戸別収集を実施すべき品目を聞いたところ、「『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』」が46.8%で最も高く、次いで「『燃やせるごみ』のみ」(35.3%)、「『燃やせないごみ』のみ」(2.4%)となっている。

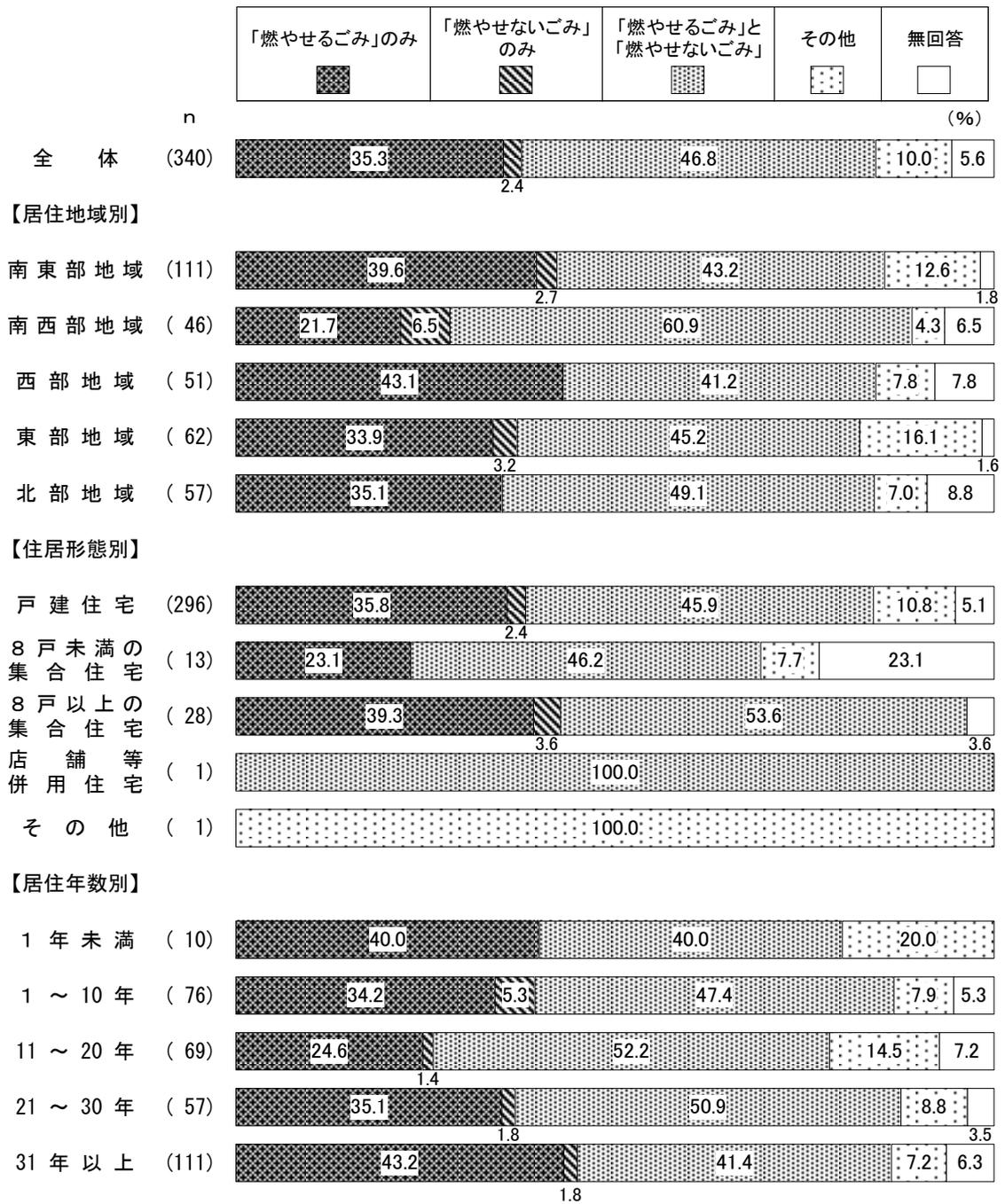
また、「その他」の意見として「全ての品目」などがあつた。

【年代別、同居人数別】



年代別で見ると、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』は60歳代で52.5%と高くなっている。
同居人数別で見ると、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』は4人で52.4%と高くなっている。

【居住地域別、住居形態別、居住年数別】



居住地域別で見ると、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』は南西部地域で60.9%と高くなっている。

住居形態別で見ると、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』は8戸以上の集合住宅で53.6%と高くなっている。

居住年数別で見ると、『燃やせるごみ』と『燃やせないごみ』は11～20年で52.2%と高くなっている。

(6) 戸別収集を実施すべき品目についての考え

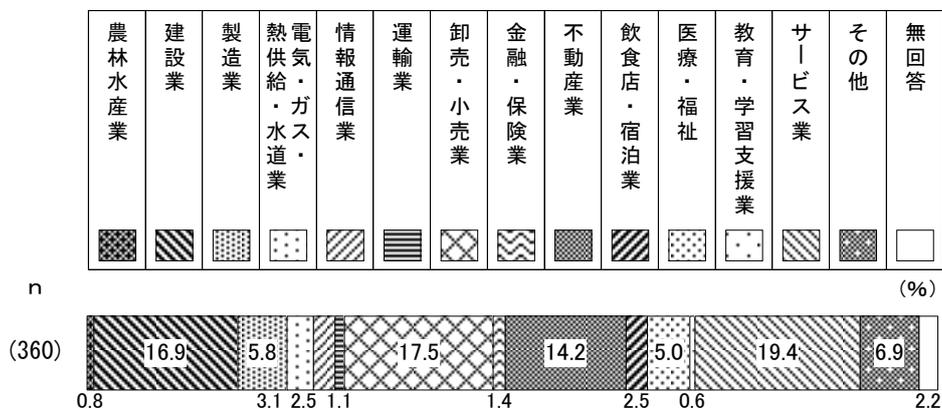
問16 問15で「その他」を選んだ方のみ、品目についてのあなたのお考えをお聞かせください。(自由記述)

戸別収集を実施すべき品目で「その他」と回答した方に、戸別収集を実施すべき品目についての考えを聞いたところ、「品目ごとに分けると分かりづらくなるから」、「ごみ出しに責任を持ってほしいから」などの理由から「全ての品目」を戸別収集にしてほしいという意見があった。

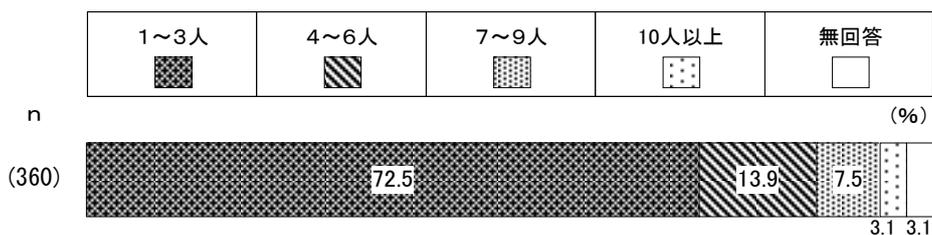
Ⅲ 事業者調査結果

1. 回答者の属性

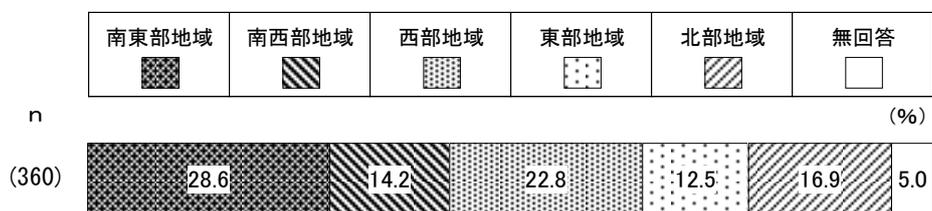
(1) 業種



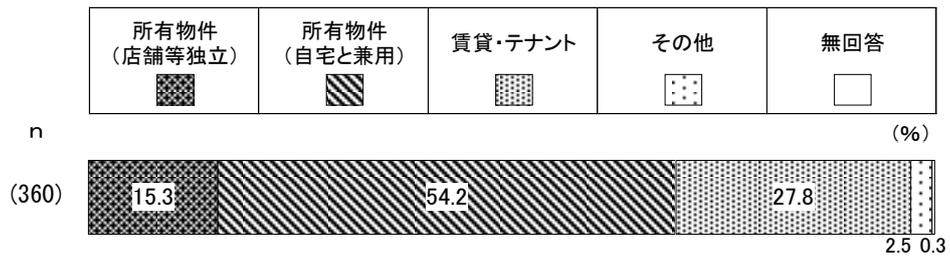
(2) 従業員規模



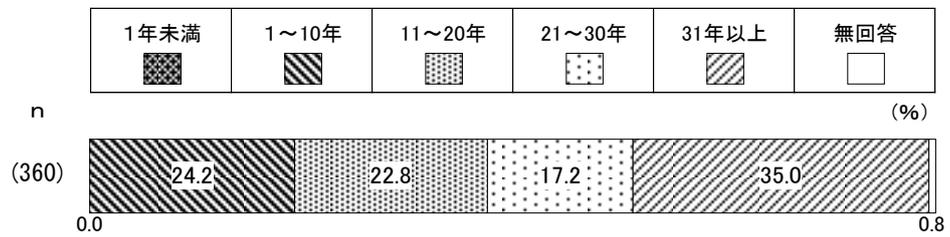
(3) 所在地域



(4) 建物形態



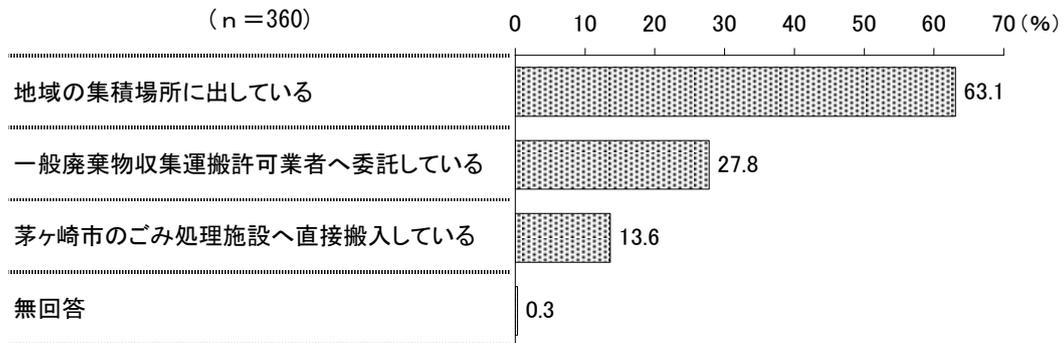
(5) 事業年数



2. 「事業系ごみ」の処理方法について

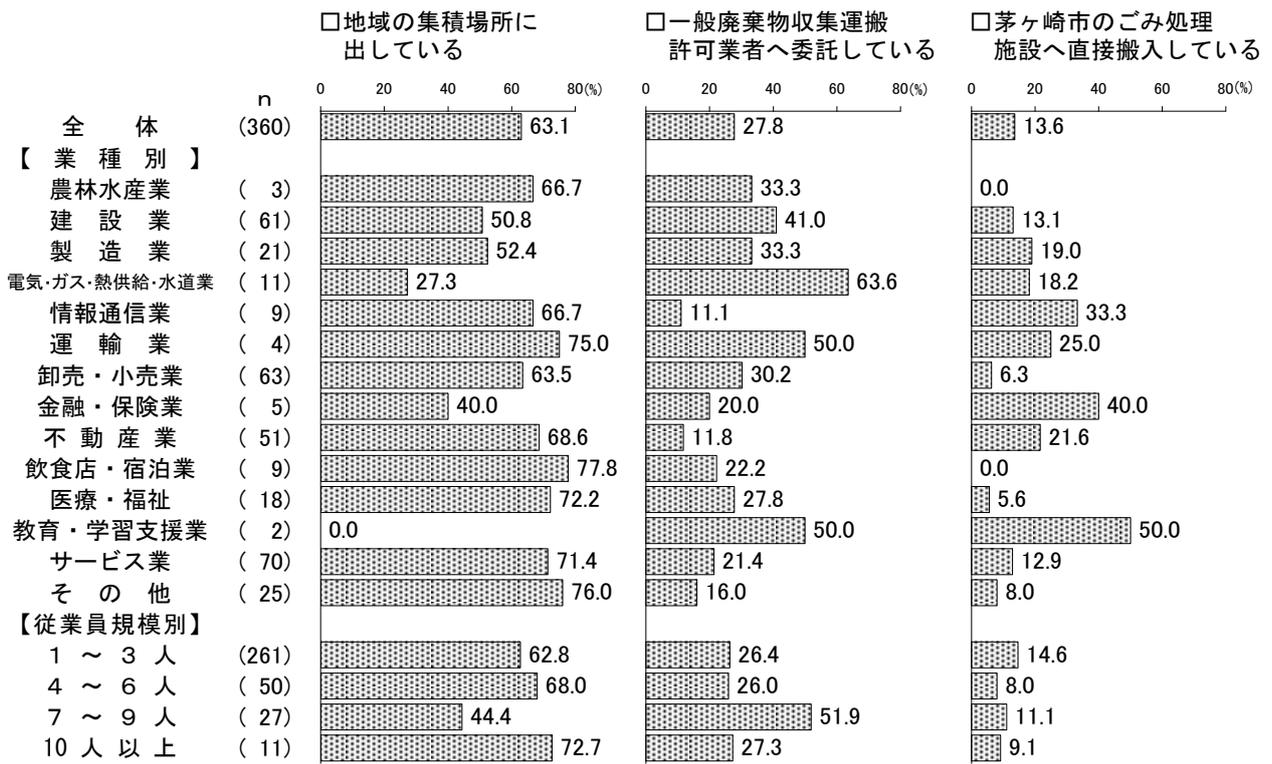
(1) 事業系一般廃棄物の処理方法

問2 貴店舗等では、事業系一般廃棄物（家庭ごみの分類でいう「燃やせるごみ」）をどのように処理していますか。次の中からあてはまるものに○をしてください。（複数回答可）



事業系一般廃棄物の処理方法を聞いたところ、「地域の集積場所に出している」が63.1%で最も高く、次いで「一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託している」(27.8%)、「茅ヶ崎市のごみ処理施設へ直接搬入している」(13.6%)となっている。

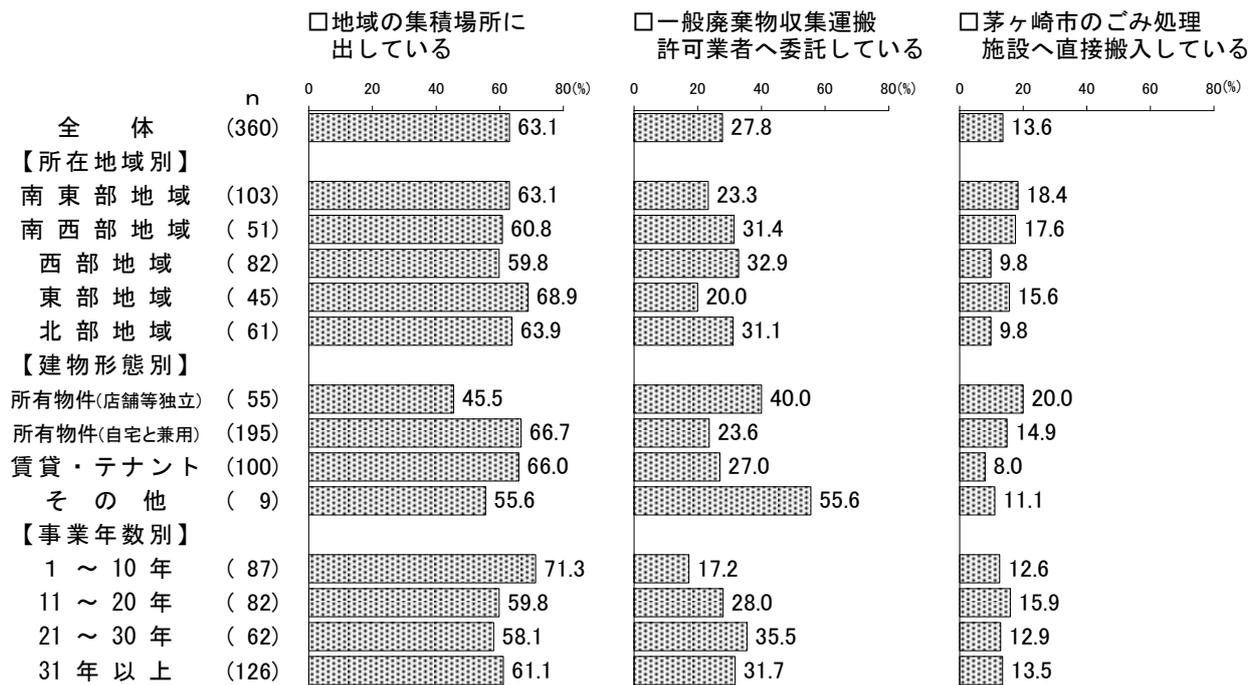
【業種別、従業員規模別】



業種別でみると、「地域の集積場に出している」はサービス業で71.4%と高くなっている。

従業員規模別でみると、「地域の集積場に出している」は4～6人で68.0%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】

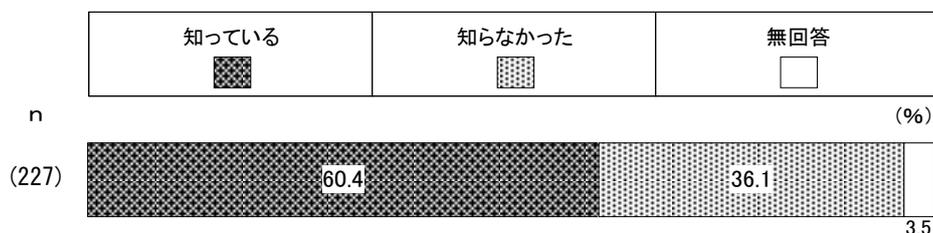


所在地域別でみると、「地域の集積場に出している」は東部地域で68.9%と高くなっている。建物形態別でみると、「地域の集積場に出している」は所有物件（自宅と兼用）で66.7%と高くなっている。

事業年数別でみると、「地域の集積場に出している」は1～10年で71.3%と高くなっている。

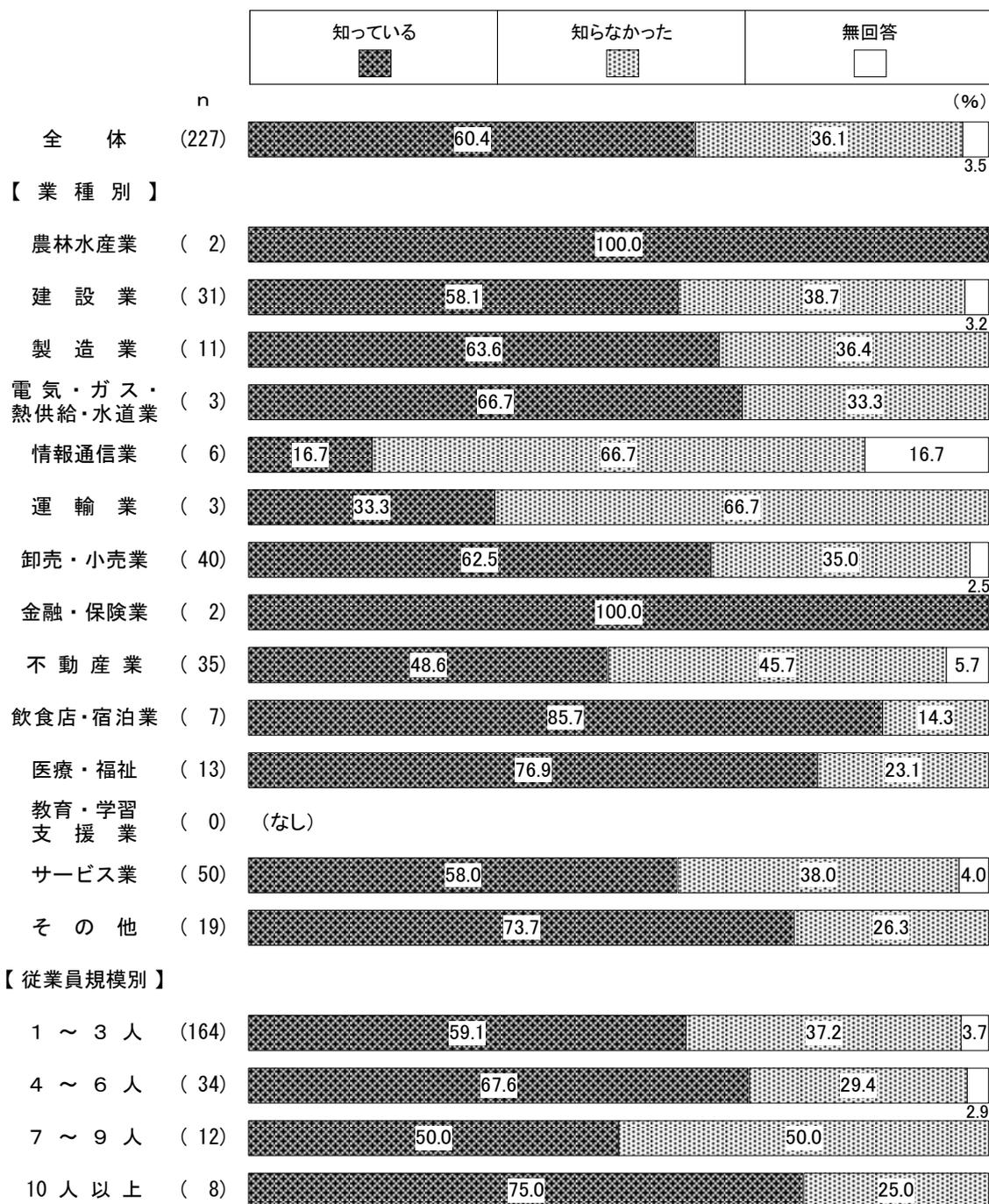
(2) 集積場所の使用条件の認知状況

問3 法律では事業者のごみ処理責任が謳われているため、茅ヶ崎市では、事業者が地域の集積場所を使用する場合には、ごみの排出量制限を設けています。また、そのような場合には、自治会などから利用承諾を得ることも必要となります。これらのことをご存じですか。次の中からあてはまるものに○をしてください。



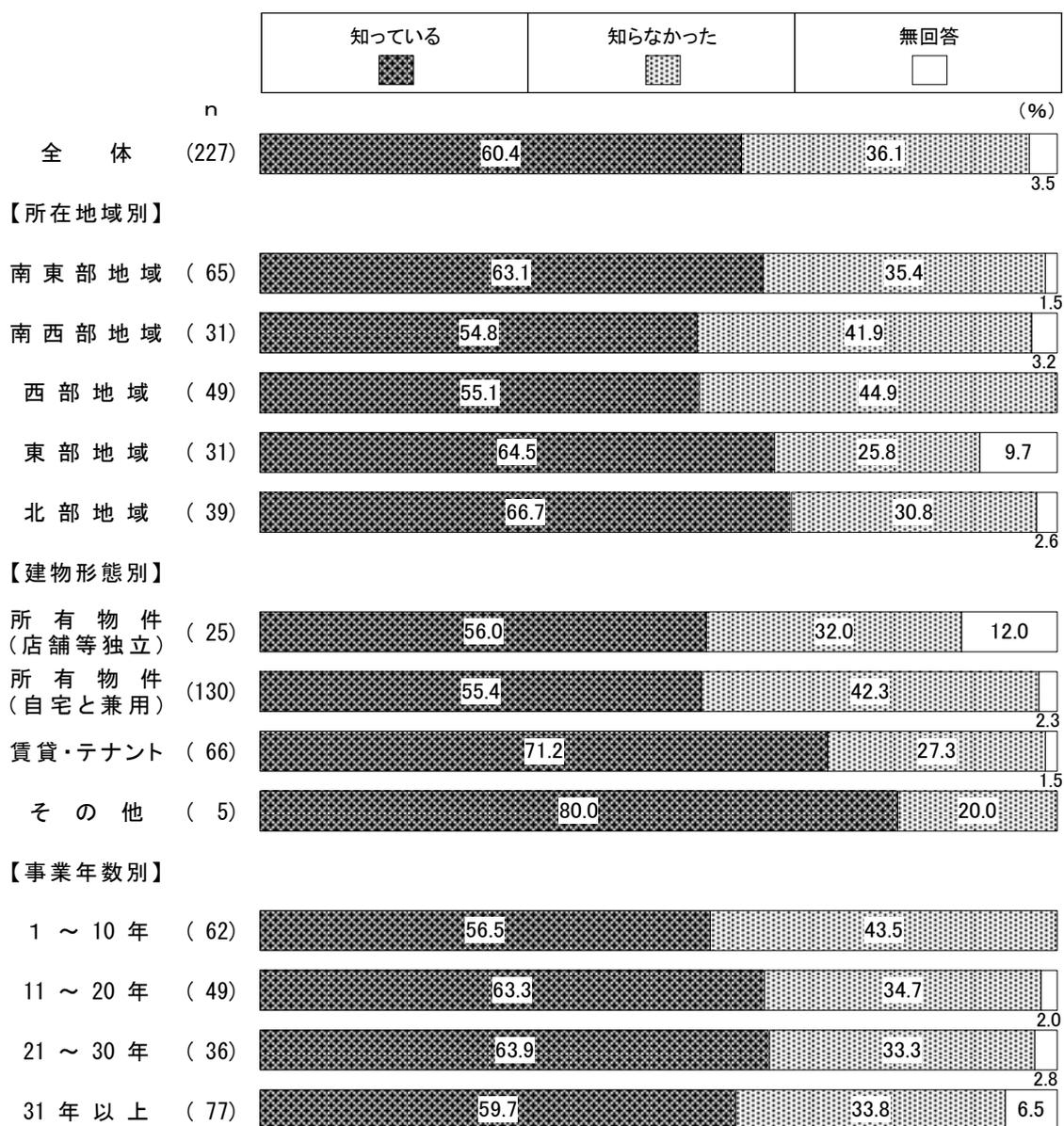
事業者が地域の集積場所を使用する場合には、ごみの排出量制限及び自治会などから利用承諾を得ることが必要なことを知っているか聞いたところ、「知っている」が60.4%、「知らなかった」は36.1%となっている。

【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「知っている」は卸売・小売業で62.5%と高くなっている。
従業員規模別で見ると、「知っている」は4～6人で67.6%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



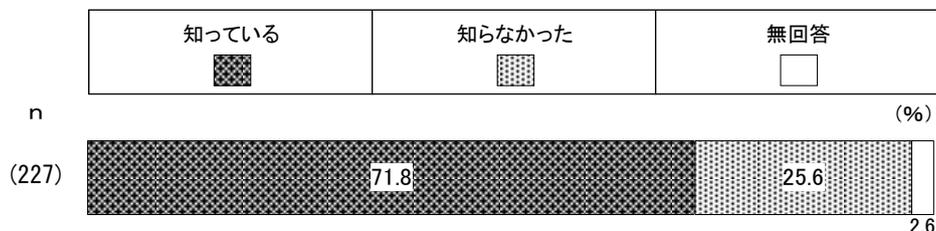
所在地域別で見ると、「知っている」は北部地域で66.7%と高くなっている。

建物形態別で見ると、「知っている」は賃貸・テナントで71.2%と高くなっている。

事業年数別で見ると、「知っている」は21～30年で63.9%と高くなっている。

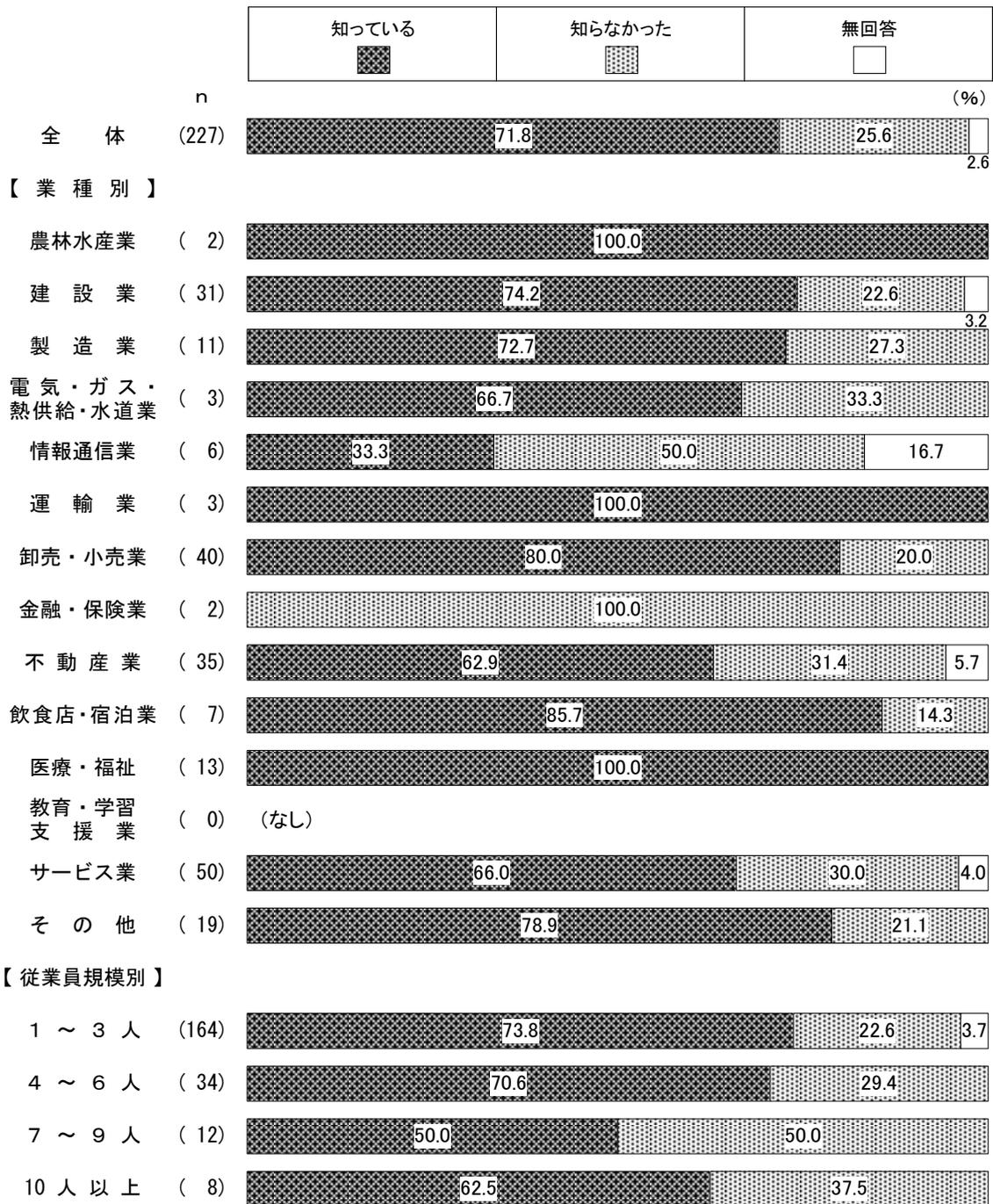
(3) 家庭ごみの分類でいう「燃やせないごみ」等が産業廃棄物となることの認知状況

問4 産業廃棄物は市で処理することはできません。家庭ごみの分類でいう「燃やせないごみ」・「プラスチック製容器包装類」・「びん」・「かん」・「ペットボトル」・「廃食用油」・「金属類」は産業廃棄物となることをご存じですか。次の中からあてはまるものに○をしてください。



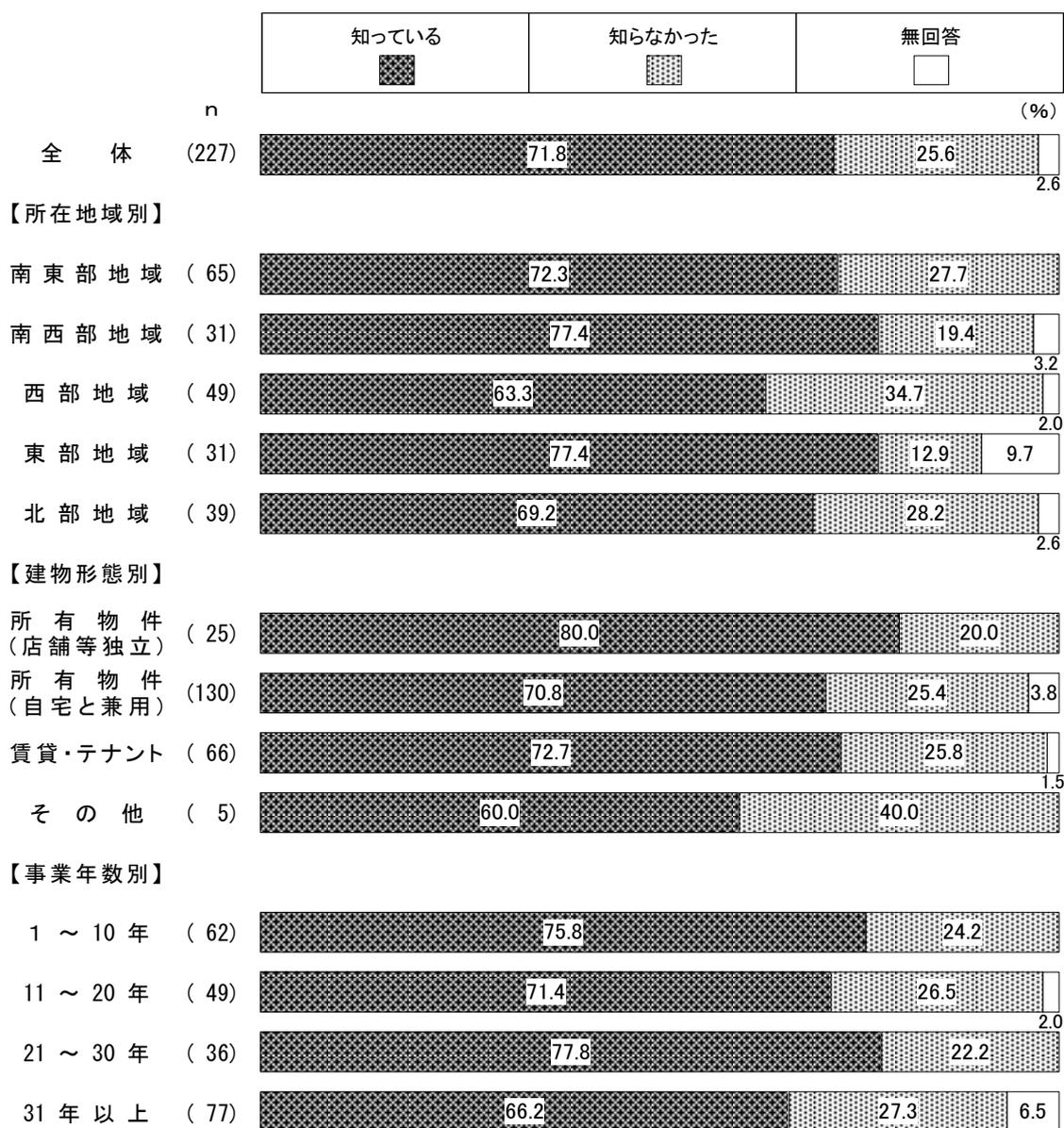
家庭ごみの分類でいう「燃やせないごみ」・「プラスチック製容器包装類」・「びん」・「かん」・「ペットボトル」・「廃食用油」・「金属類」は産業廃棄物となることを知っているか聞いたところ、「知っている」が71.8%、「知らなかった」は25.6%となっている。

【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「知っている」は卸売・小売業で80.0%と高くなっている。
従業員規模別で見ると、「知っている」は1～3人で73.8%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】

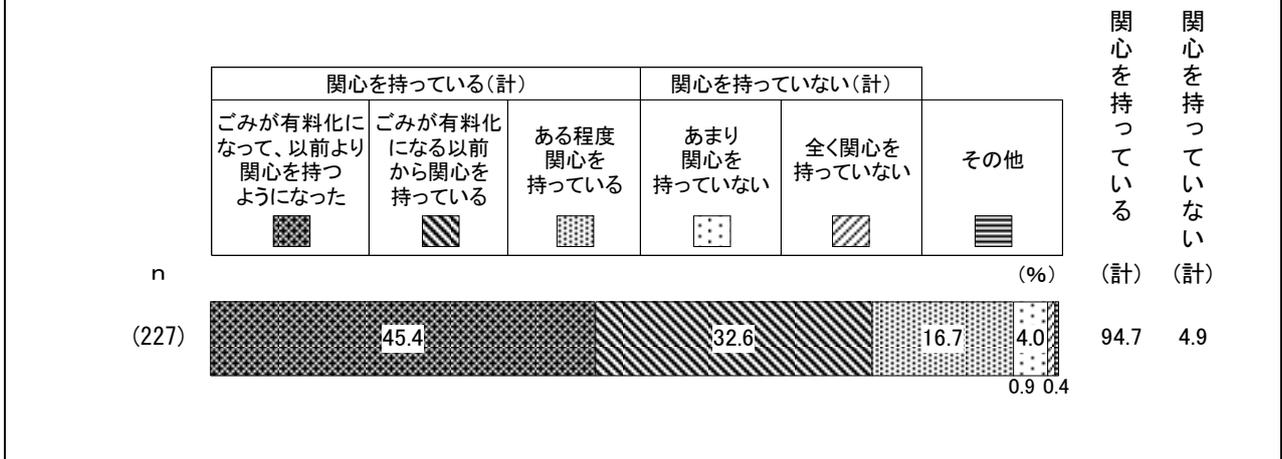


所在地域別で見ると、「知っている」は南西部地域と東部地域で77.4%と高くなっている。
建物形態別で見ると、「知っている」は所有物件（店舗等独立）で80.0%と高くなっている。
事業年数別で見ると、「知っている」は21～30年で77.8%と高くなっている。

3. 「ごみ有料化」について

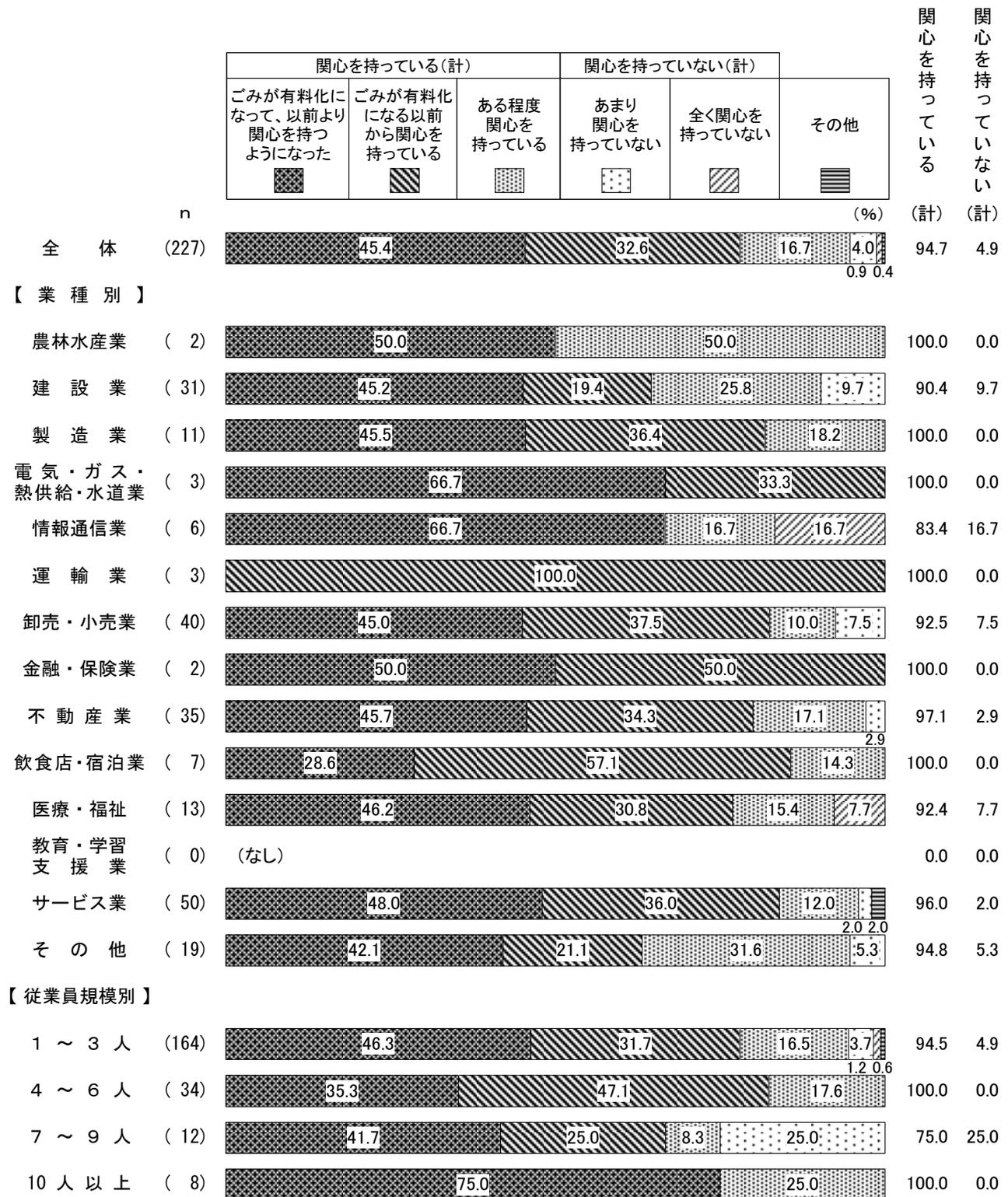
(1) ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化

問5 更なるごみ減量化を進めるために、令和4年4月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、ごみ減量化に対する意識は変わりましたか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



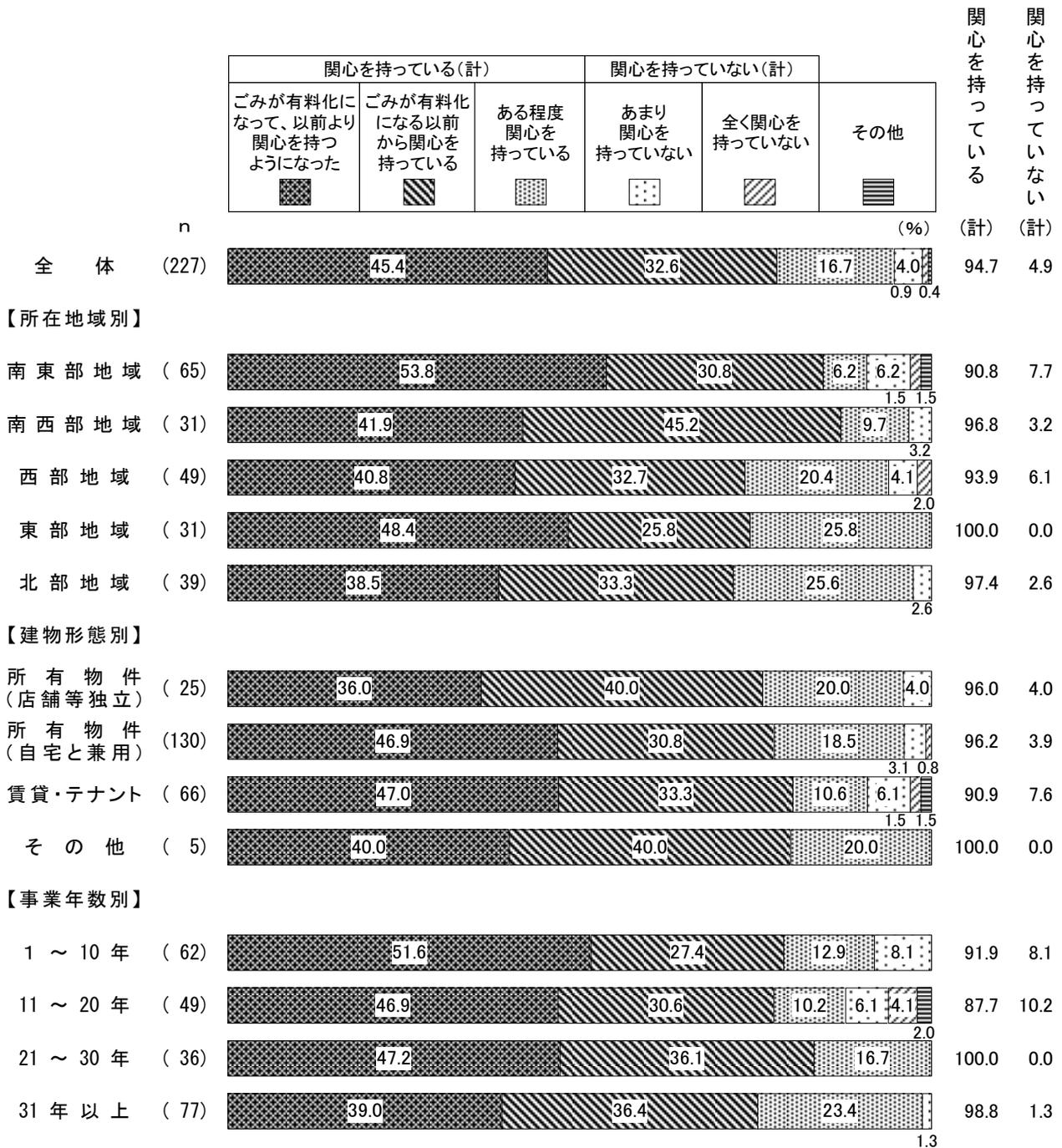
ごみ有料化実施前と比べたごみ減量化に対する意識の変化について聞いたところ、「ごみが有料化になって、以前より関心を持つようになった」が45.4%で最も高く、これに「ごみが有料化になる以前から関心を持っている」(32.6%)と「ある程度関心を持っている」(16.7%)を合わせた『関心を持っている(計)』は94.7%となっている。一方、「あまり関心を持っていない」(4.0%)と「全く関心を持っていない」(0.9%)を合わせた『関心を持っていない(計)』は4.9%となっている。

【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、『関心を持っている(計)』は不動産業で97.1%と高くなっている。
従業員規模別で見ると、『関心を持っている(計)』は4～6人で100.0%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



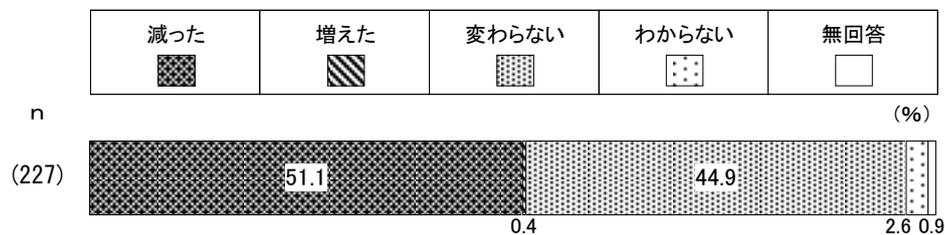
所在地域別でみると、『関心を持っている (計)』は東部地域で100.0%と高くなっている。

建物形態別でみると、『関心を持っている (計)』は所有物件 (自宅と兼用) で96.2%と高くなっている。

事業年数別でみると、『関心を持っている (計)』は21～30年で100.0%と高くなっている。

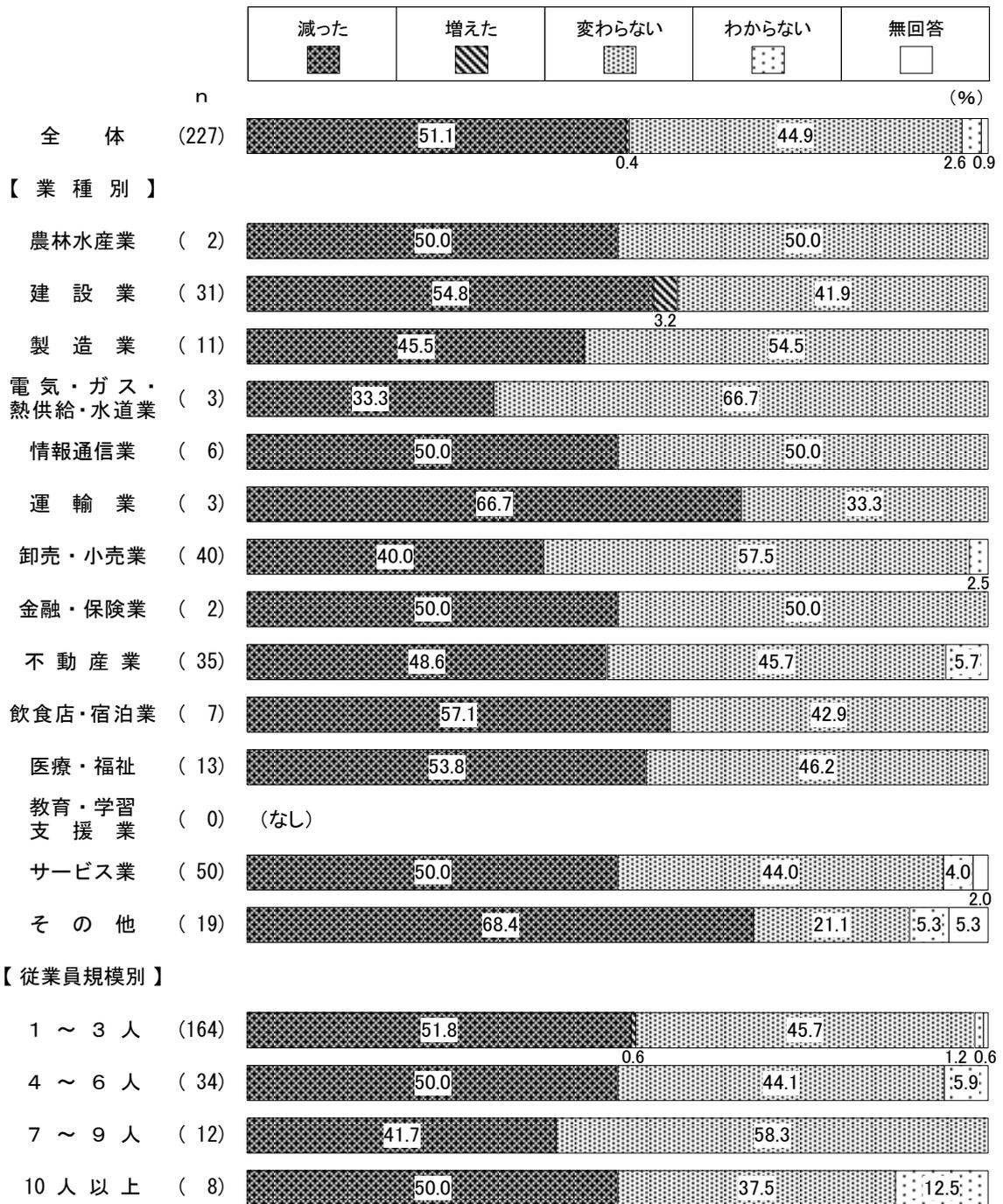
(2) ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量の変化

問6 令和4年4月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、出すごみの量はどのように変わりましたか。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量の変化を聞いたところ、「減った」が51.1%、「増えた」は0.4%となっている。また、「変わらない」は44.9%となっている。

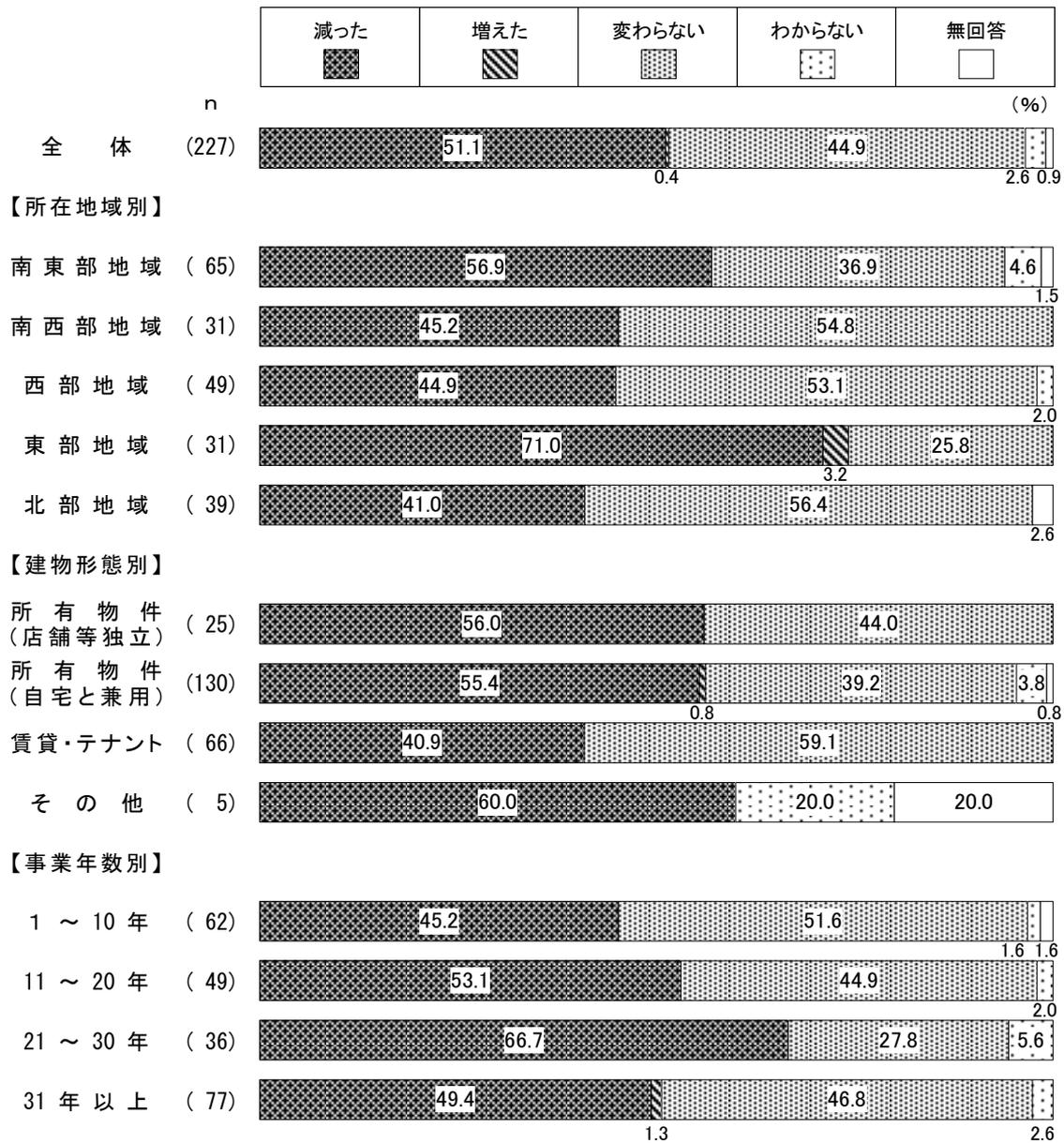
【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「減った」は建設業で54.8%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「減った」は1～3人で51.8%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



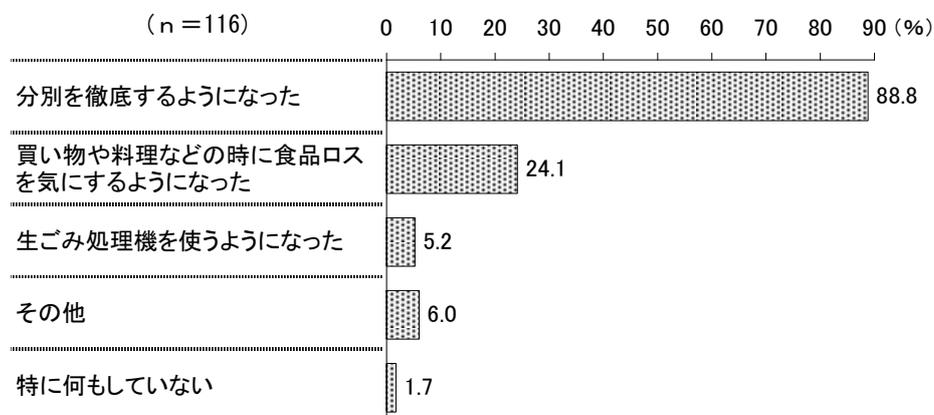
所在地域別で見ると、「減った」は東部地域で71.0%と高くなっている。

建物形態別で見ると、「減った」は所有物件（店舗等独立）で56.0%と高くなっている。

事業年数別で見ると、「減った」は21～30年で66.7%と高くなっている。

(3) 店舗等でのごみ減量に関する取り組み

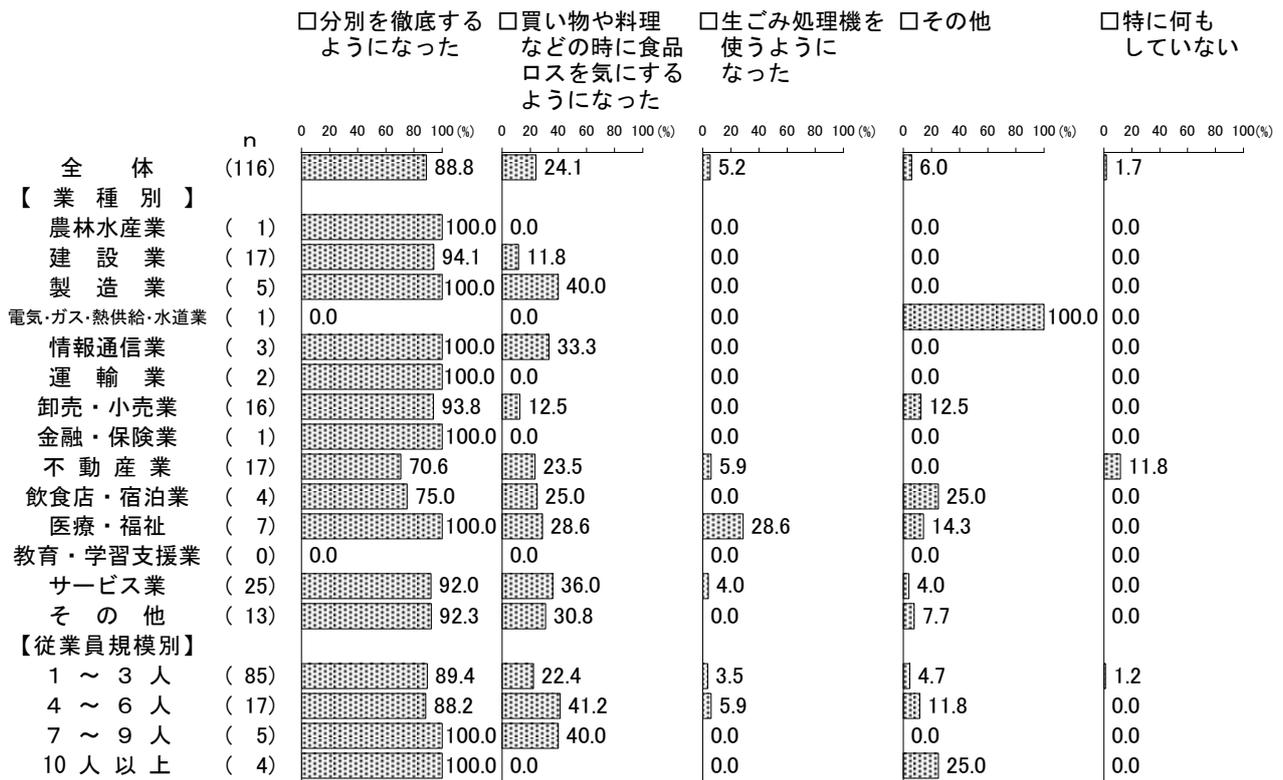
問7 問6で「減った」を選んだ方のみ、ご家庭、または、貴店舗等での取り組みをお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



ごみ有料化実施前と比べて出すごみの量が「減った」と回答した方に、店舗等でのごみ減量に関する取り組みを聞いたところ、「分別を徹底するようになった」が88.8%で最も高く、次いで「買い物や料理などの時に食品ロスを気にするようになった」(24.1%)、「生ごみ処理機を使うようになった」(5.2%)となっている。一方、「特に何もしていない」は1.7%となっている。

また、「その他」の意見として「古紙の分別を徹底するようになった」などがあつた。

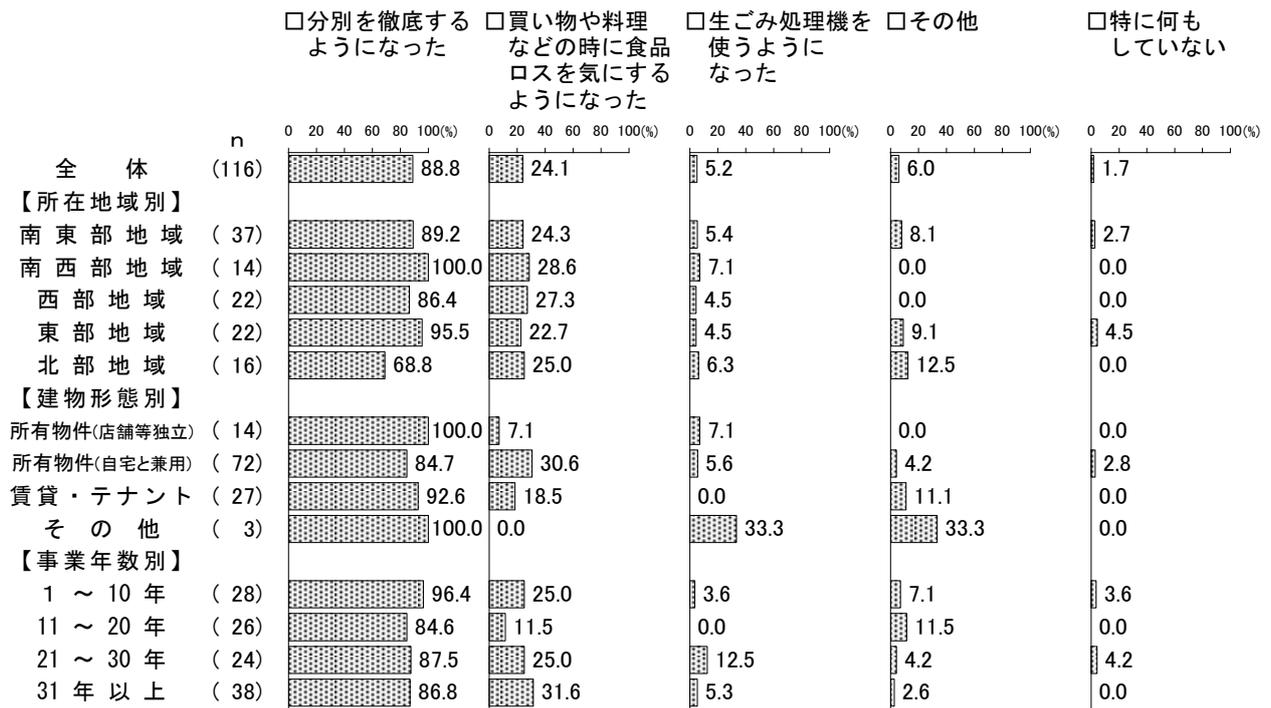
【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「分別を徹底するようになった」はサービス業で92.0%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「分別を徹底するようになった」は1～3人で89.4%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



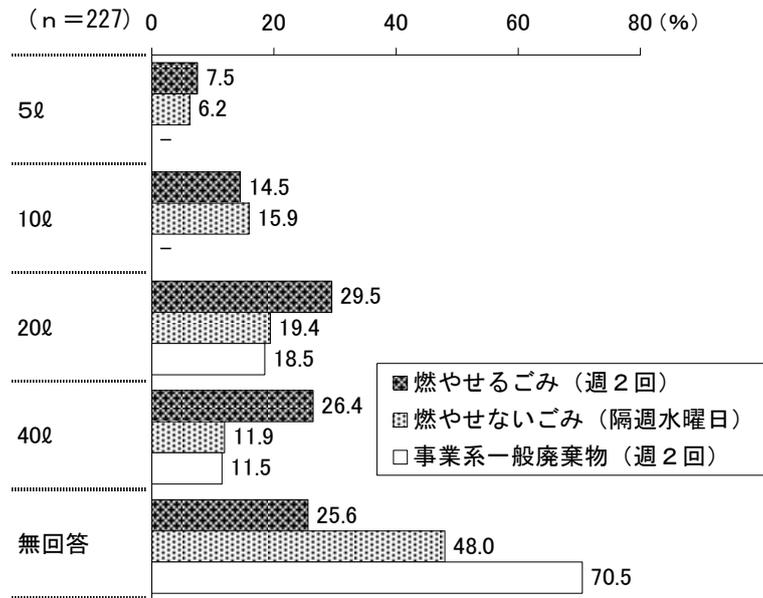
所在地域別でみると、「分別を徹底するようになった」は東部地域で95.5%と高くなっている。建物形態別でみると、「分別を徹底するようになった」は賃貸・テナントで92.6%と高くなっている。

事業年数別でみると、「分別を徹底するようになった」は1～10年で96.4%と高くなっている。

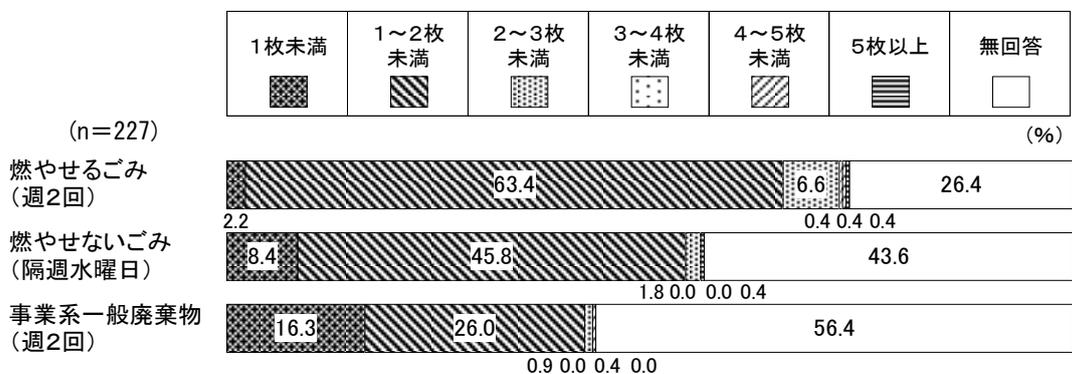
(4) 店舗等でのごみの出し方

問8 あなたのご家庭、または、貴店舗等では、ごみをどのように出していますか。主に使っている指定ごみ袋のサイズに○をしてください。また、1回に使用する枚数と1ヶ月に使用する枚数を()内にご記入ください。

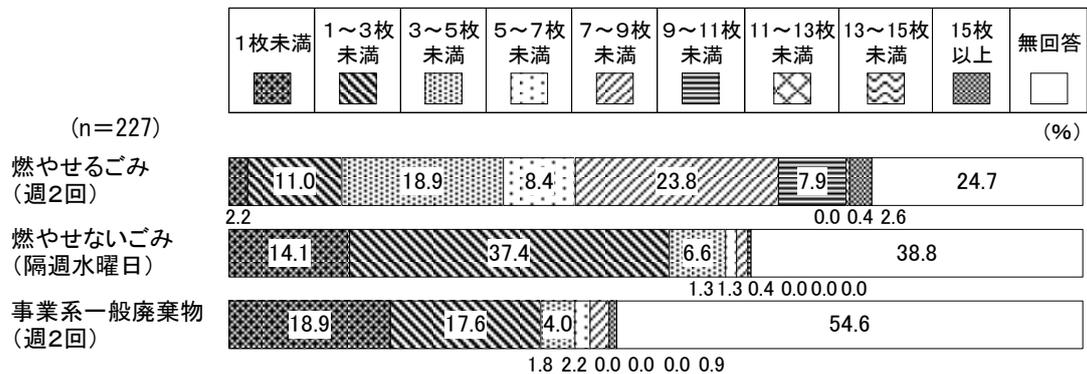
① 指定ごみ袋のサイズ



② 1回に使用する枚数



③ 1ヶ月に使用する枚数



店舗等でのごみの出し方について聞いたところ、指定ごみ袋のサイズは、“燃やせるごみ（週2回）”では「20ℓ」が29.5%で最も高く、次いで「40ℓ」（26.4%）、「10ℓ」（14.5%）となっている。

“燃やせないごみ（隔週水曜日）”では「20ℓ」が19.4%で最も高く、次いで「10ℓ」（15.9%）、「40ℓ」（11.9%）となっている。

“事業系一般廃棄物（週2回）”では「20ℓ」が18.5%で最も高く、次いで「40ℓ」（11.5%）となっている。

1回に使用する枚数は、“燃やせるごみ（週2回）”では「1～2枚未満」が63.4%で最も高く、次いで「2～3枚未満」（6.6%）となっている。

“燃やせないごみ（隔週水曜日）”では「1～2枚未満」が45.8%で最も高く、次いで「1枚未満」（8.4%）となっている。

“事業系一般廃棄物（週2回）”では「1～2枚未満」が26.0%で最も高く、次いで「1枚未満」（16.3%）となっている。

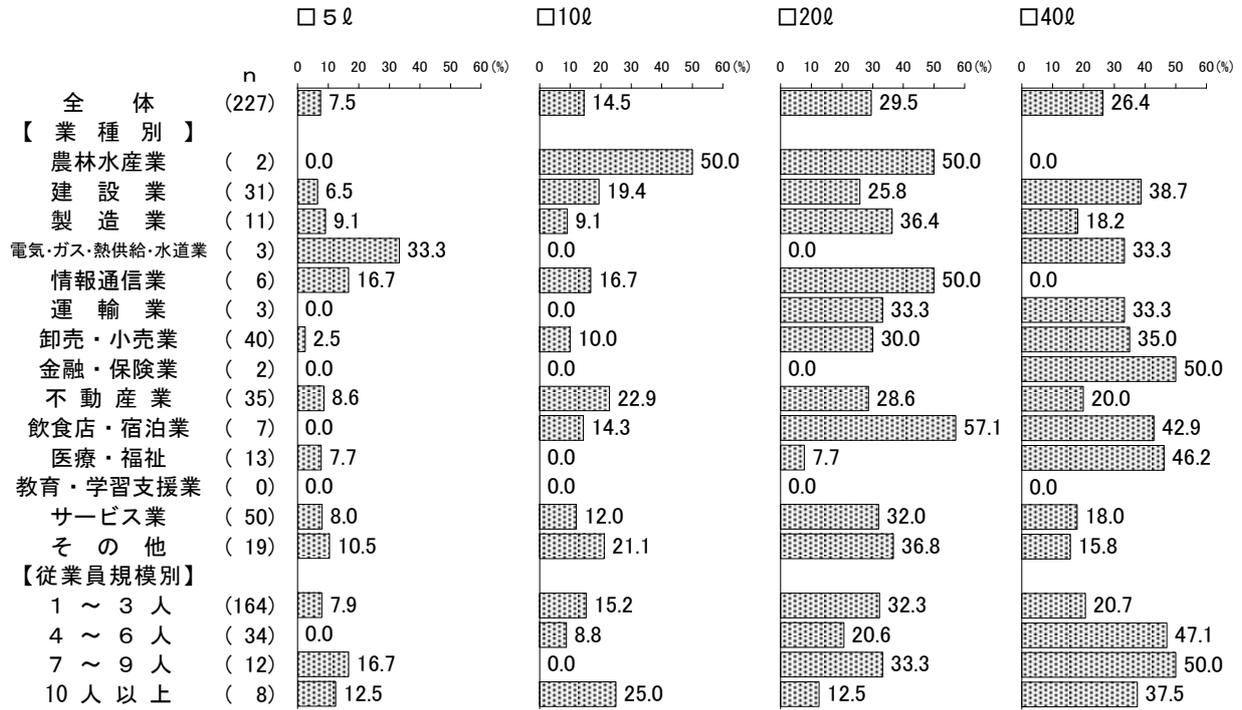
1ヶ月に使用する枚数は、“燃やせるごみ（週2回）”では「7～9枚未満」が23.8%で最も高く、次いで「3～5枚未満」（18.9%）となっている。

“燃やせないごみ（隔週水曜日）”では「1～3枚未満」が37.4%で最も高く、次いで「1枚未満」（14.1%）となっている。

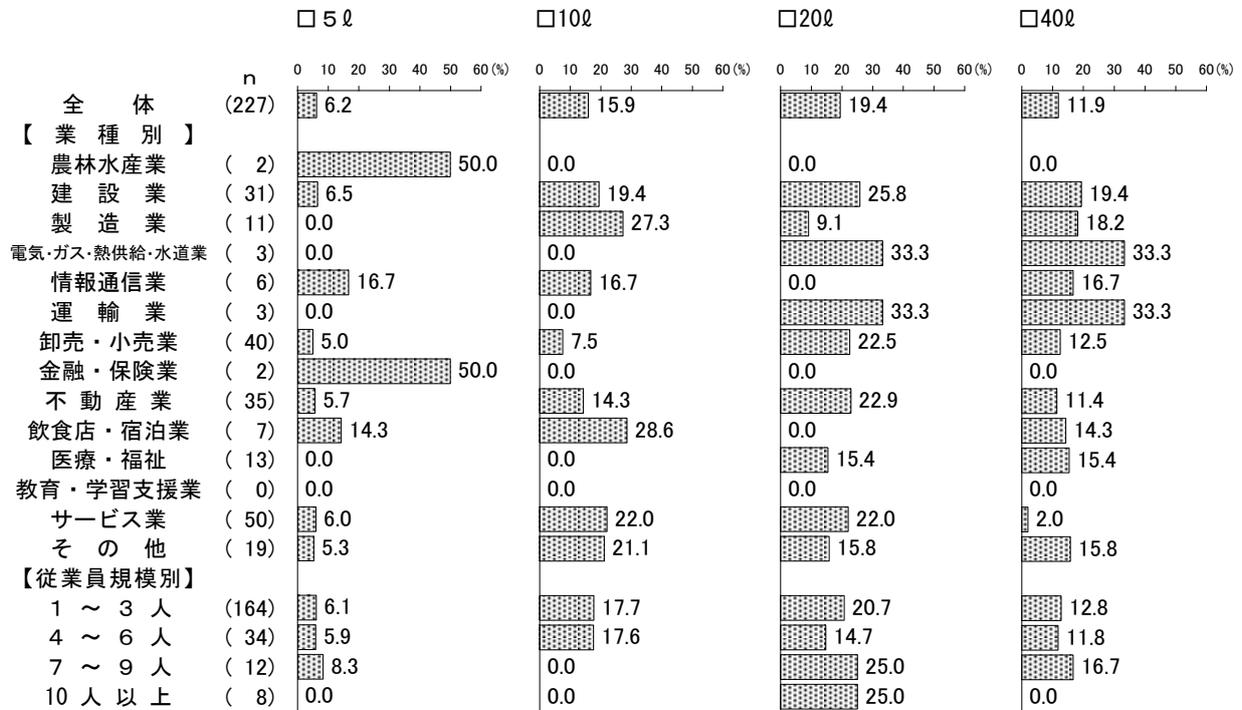
“事業系一般廃棄物（週2回）”では「1枚未満」が18.9%で最も高く、次いで「1～3枚未満」（17.6%）となっている。

【業種別、従業員規模別】 ① 指定ごみ袋のサイズ

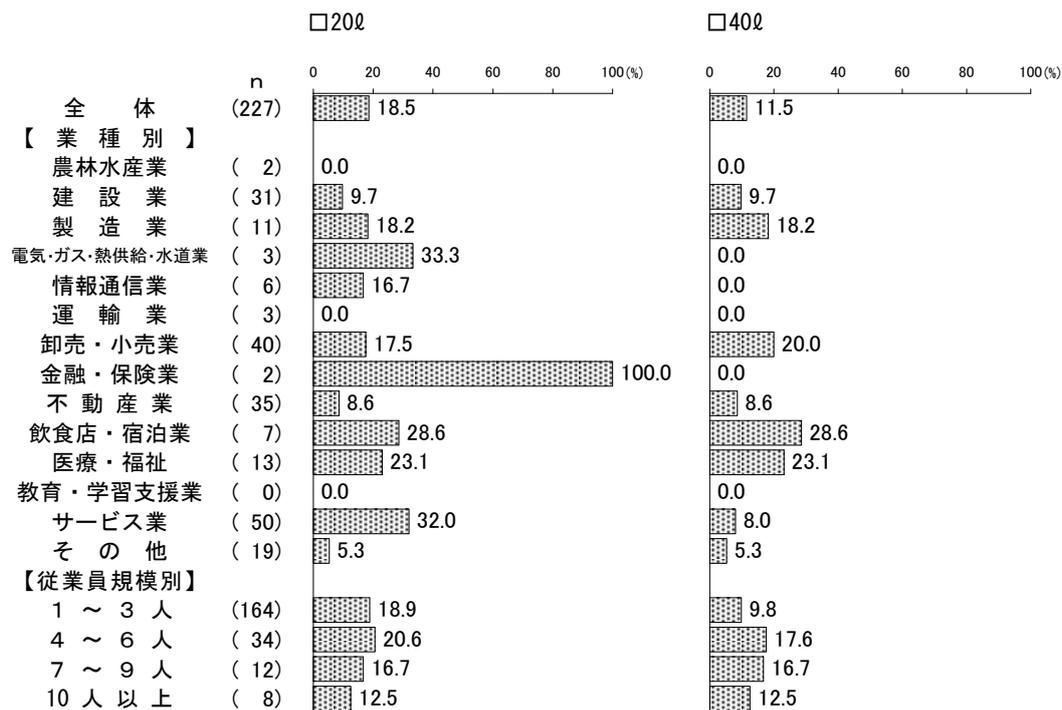
<燃やせるごみ（週2回）>



<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



<事業系一般廃棄物（週2回）>



指定ごみ袋のサイズを業種別で見ると、“燃やせるごみ”では「200」はサービス業で32.0%と高くなっている。

“燃やせないごみ”では「200」は建設業で25.8%と高くなっている。

“事業系一般廃棄物”では「200」はサービス業で32.0%と高くなっている。

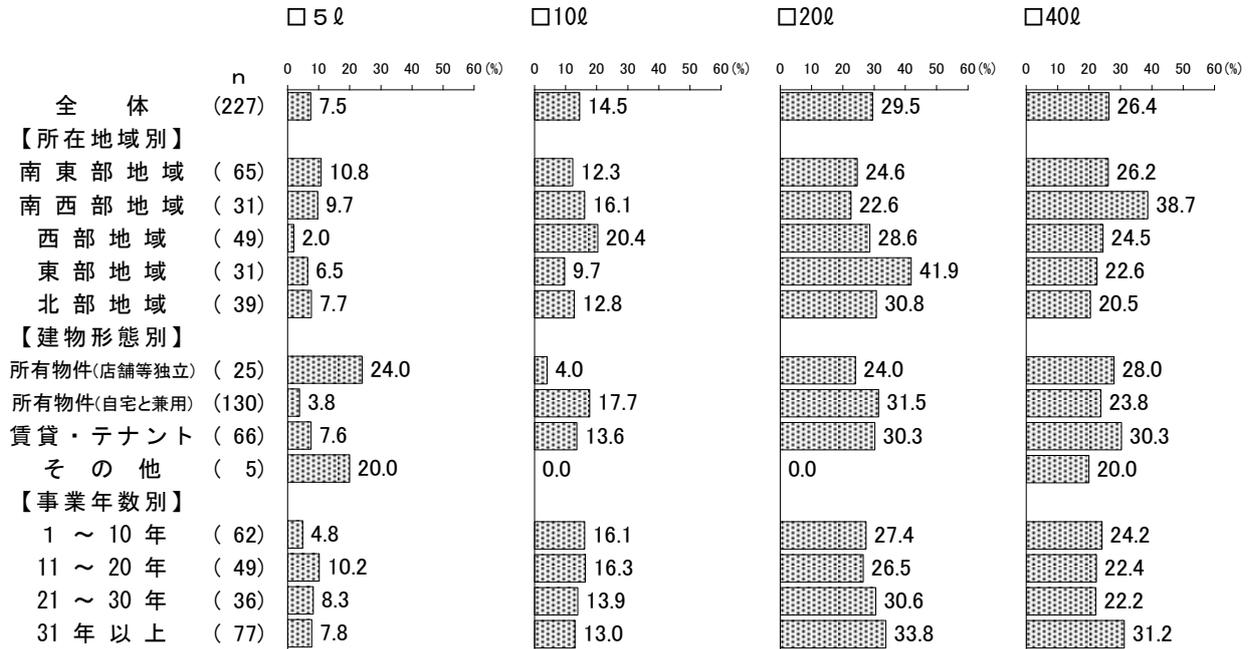
従業員規模別で見ると、“燃やせるごみ”では「200」は1～3人で32.3%と高くなっている。

“燃やせないごみ”では「200」は1～3人で20.7%と高くなっている。

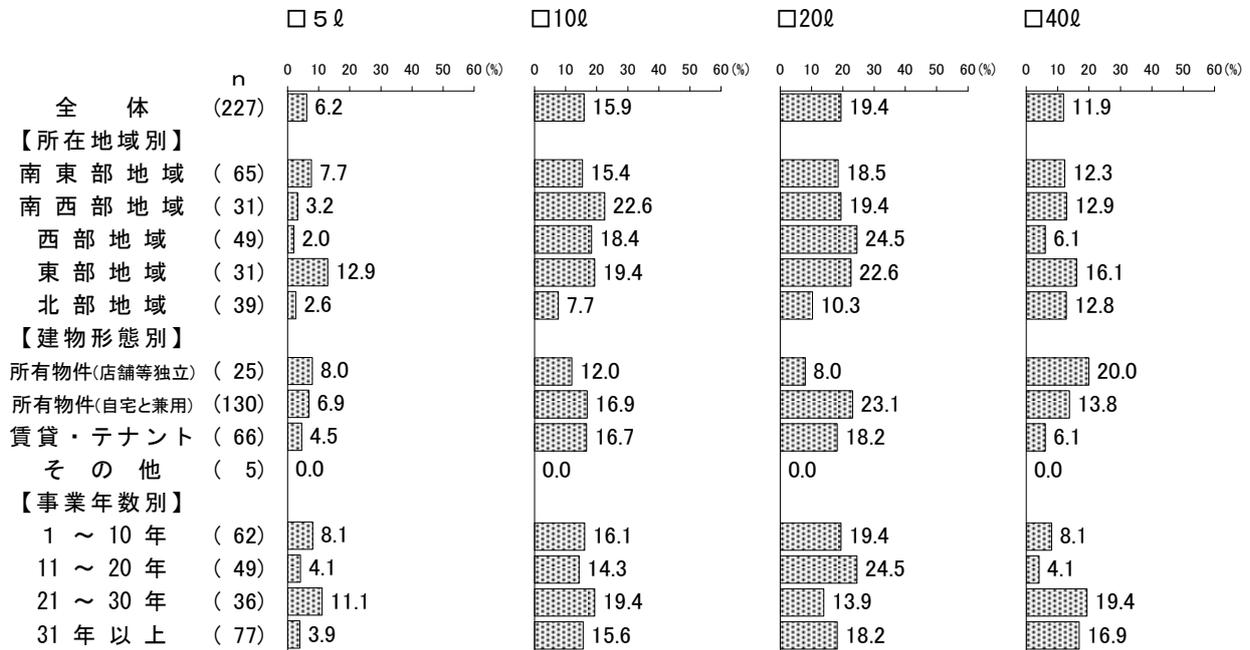
“事業系一般廃棄物”では「200」は4～6人で20.6%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ① 指定ごみ袋のサイズ

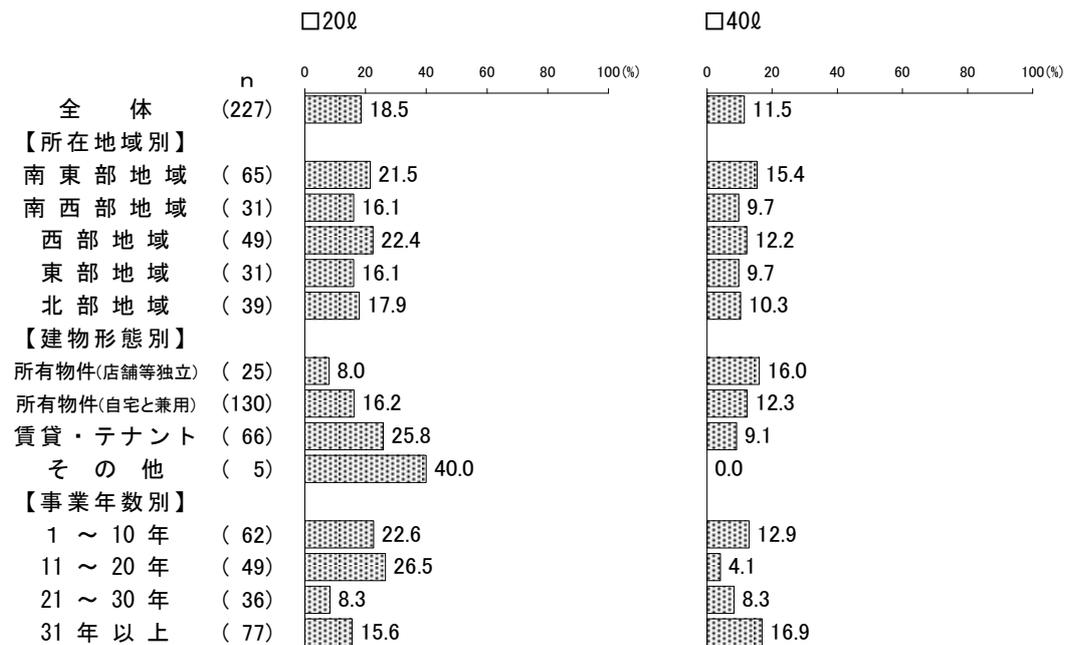
<燃やせるごみ（週2回）>



<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



<事業系一般廃棄物（週2回）>



指定ごみ袋のサイズを所在地域別で見ると、“燃やせるごみ”では「200」は東部地域で41.9%と高くなっている。

“燃やせないごみ”では「200」は西部地域で24.5%と高くなっている。

“事業系一般廃棄物”では「200」は西部地域で22.4%と高くなっている。

建物形態別で見ると、“燃やせるごみ”では「200」は所有物件（自宅と兼用）で31.5%と高くなっている。

“燃やせないごみ”では「200」は所有物件（自宅と兼用）で23.1%と高くなっている。

“事業系一般廃棄物”では「200」は賃貸・テナントで25.8%と高くなっている。

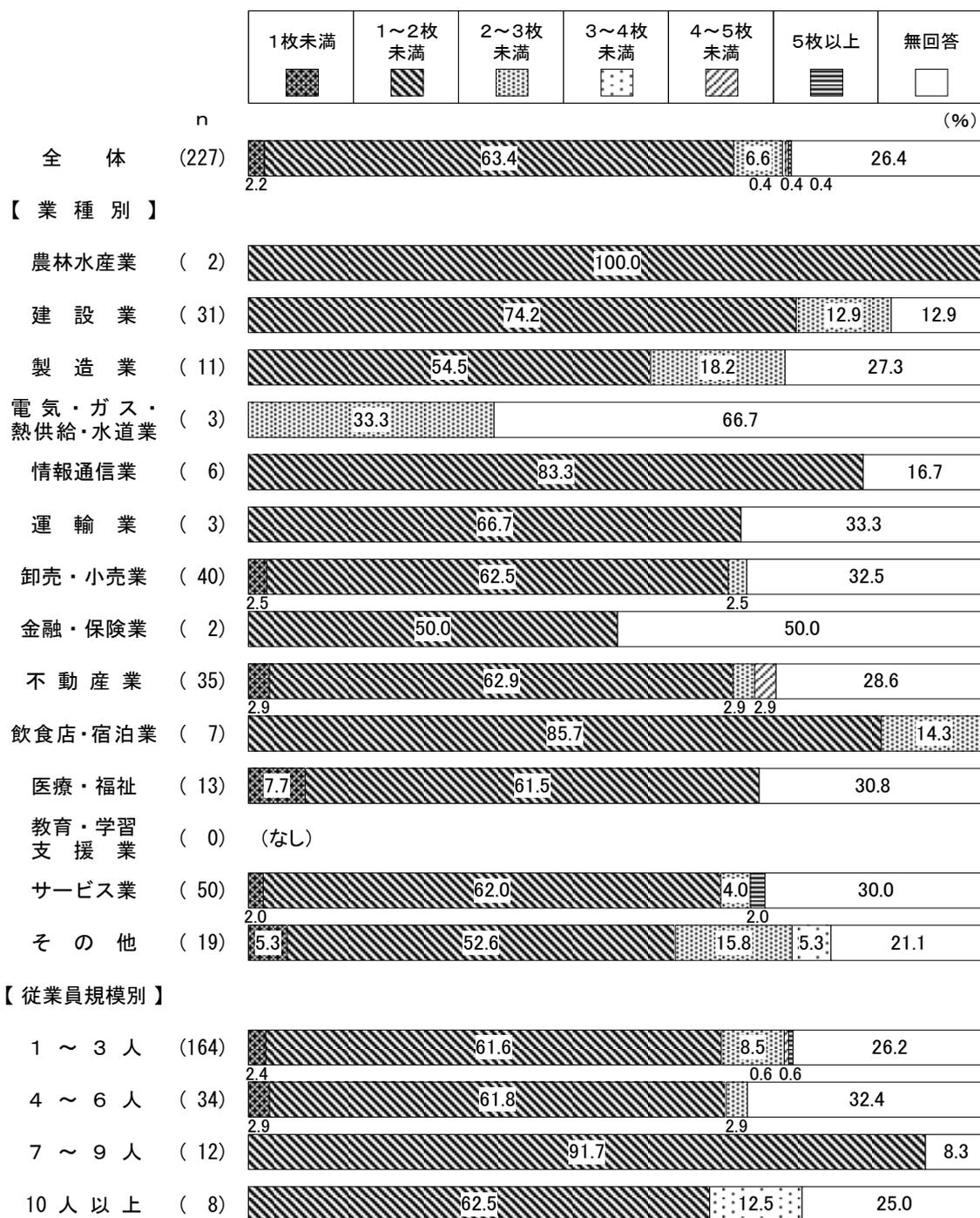
事業年数別で見ると、“燃やせるごみ”では「200」は31年以上で33.8%と高くなっている。

“燃やせないごみ”では「200」は11～20年で24.5%と高くなっている。

“事業系一般廃棄物”では「200」は11～20年で26.5%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ② 1回使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>

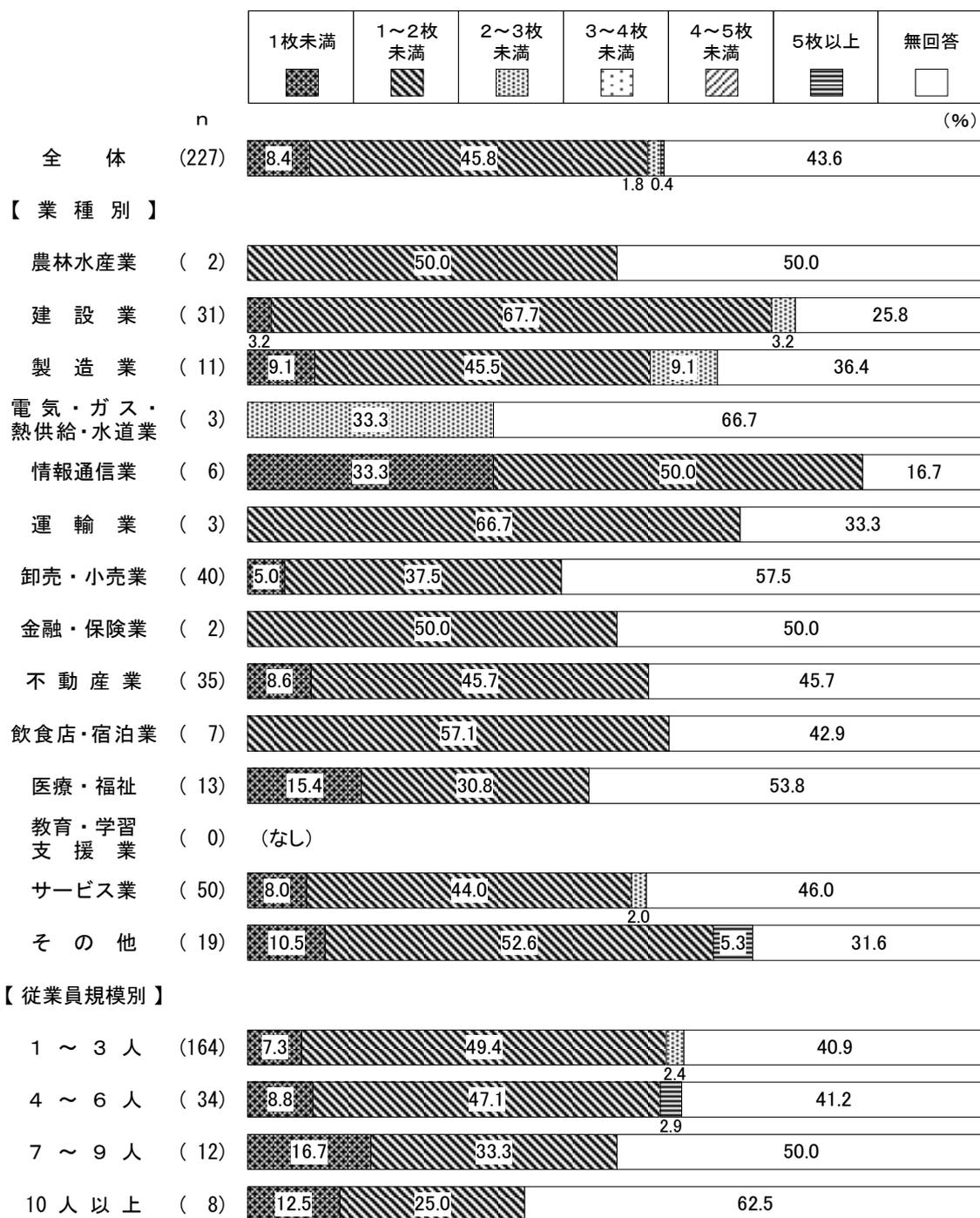


1回使用する枚数を業種別で見ると、“燃やせるごみ”では「1~2枚未満」は建設業で74.2%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、“燃やせるごみ”では「1~2枚未満」は4~6人で61.8%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ② 1回使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>

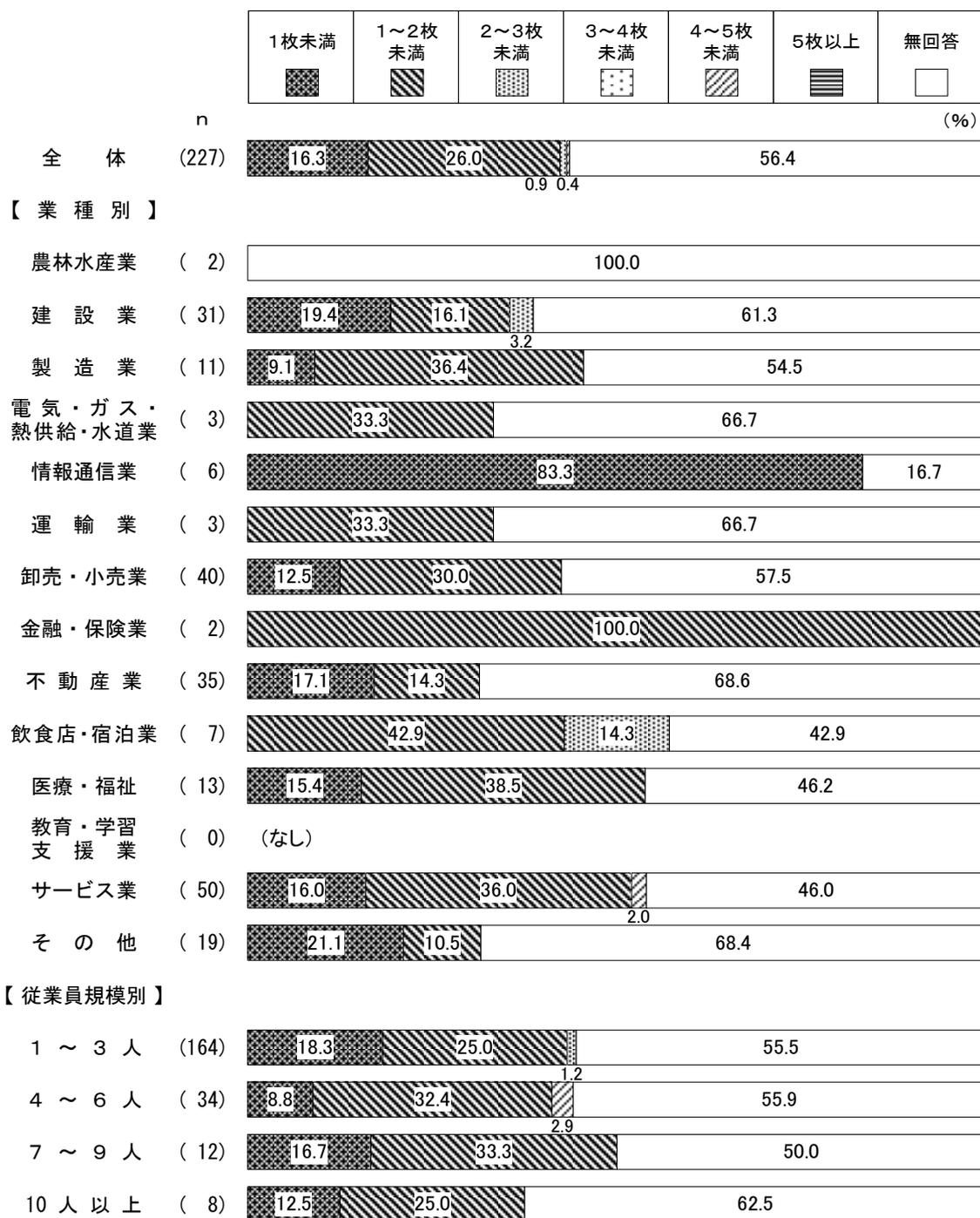


1回使用する枚数を業種別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~2枚未満」は建設業で67.7%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~2枚未満」は1~3人で49.4%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ② 1回使用する枚数

<事業系一般廃棄物（週2回）>

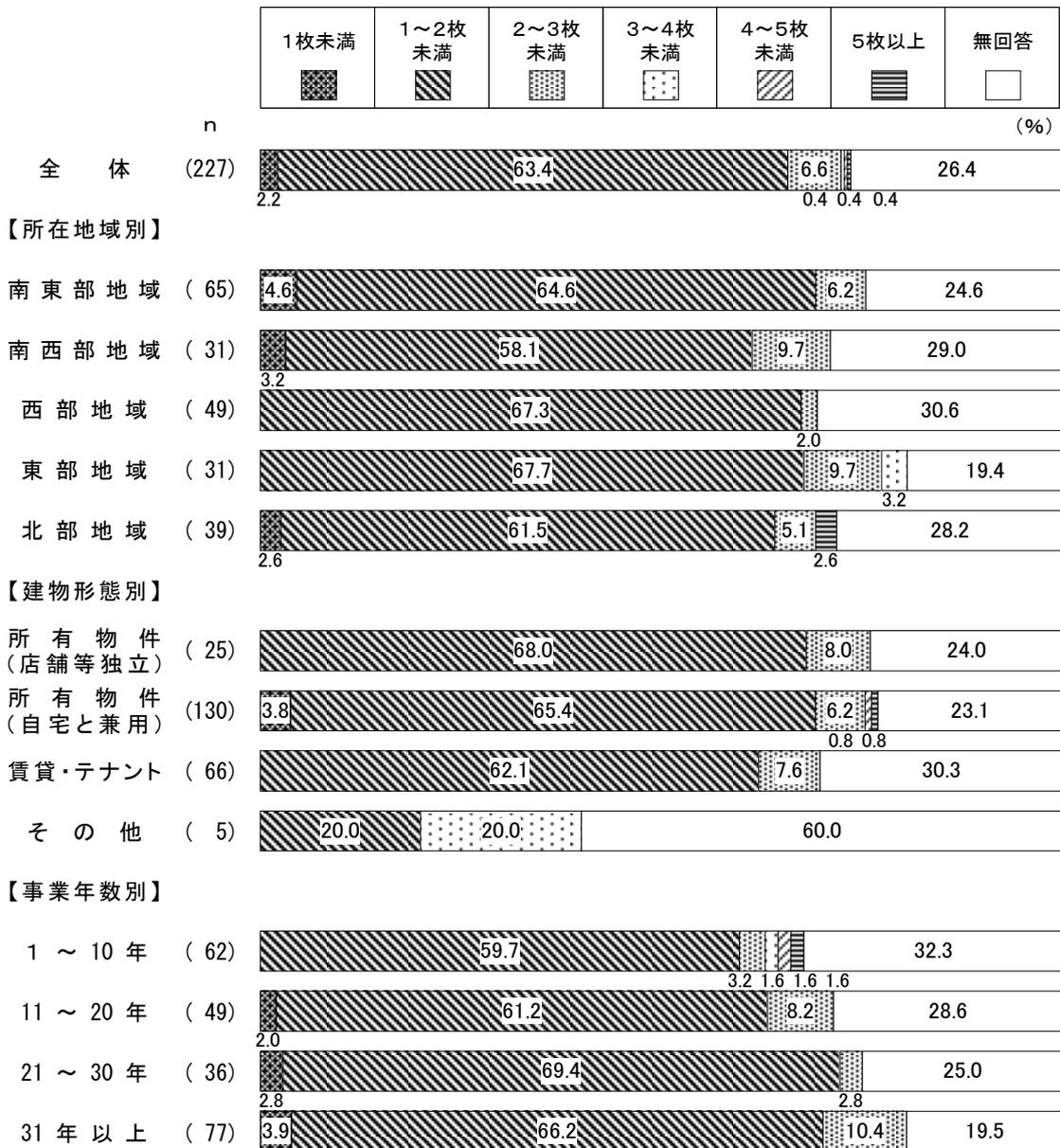


1回使用する枚数を業種別で見ると、「事業系一般廃棄物」では「1~2枚未満」はサービス業で36.0%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「事業系一般廃棄物」では「1~2枚未満」は4~6人で32.4%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ② 1回に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>



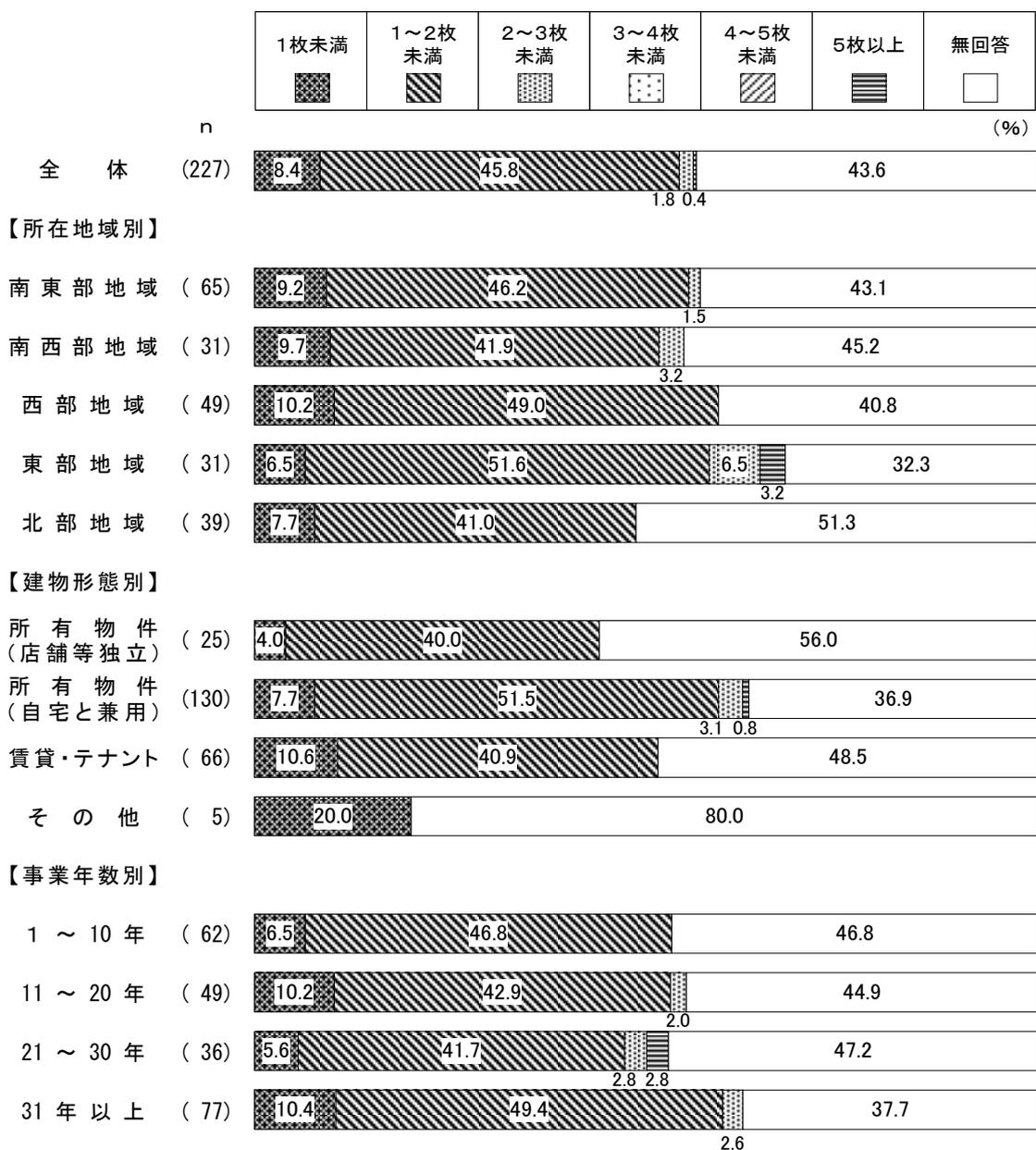
1回に使用する枚数を所在地域別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」は東部地域で67.7%と高くなっている。

建物形態別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」は所有物件（店舗等独立）で68.0%と高くなっている。

事業年数別でみると、「燃やせるごみ」では「1~2枚未満」は21~30年で69.4%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ② 1回に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



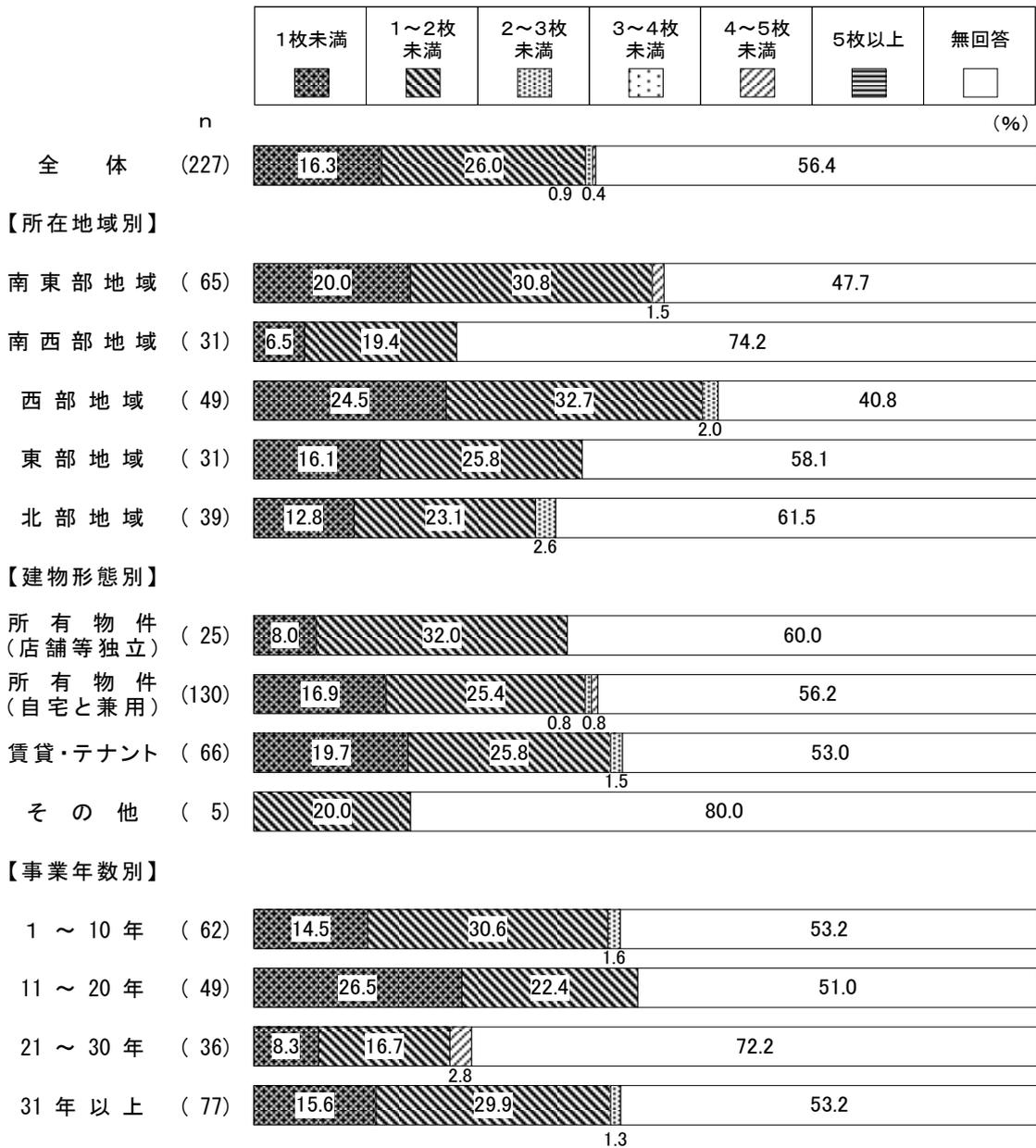
1回に使用する枚数を所在地域別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~2枚未満」は東部地域で51.6%と高くなっている。

建物形態別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~2枚未満」は所有物件（自宅と兼用）で51.5%と高くなっている。

事業年数別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~2枚未満」は31年以上で49.4%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ② 1回に使用する枚数

<事業系一般廃棄物（週2回）>



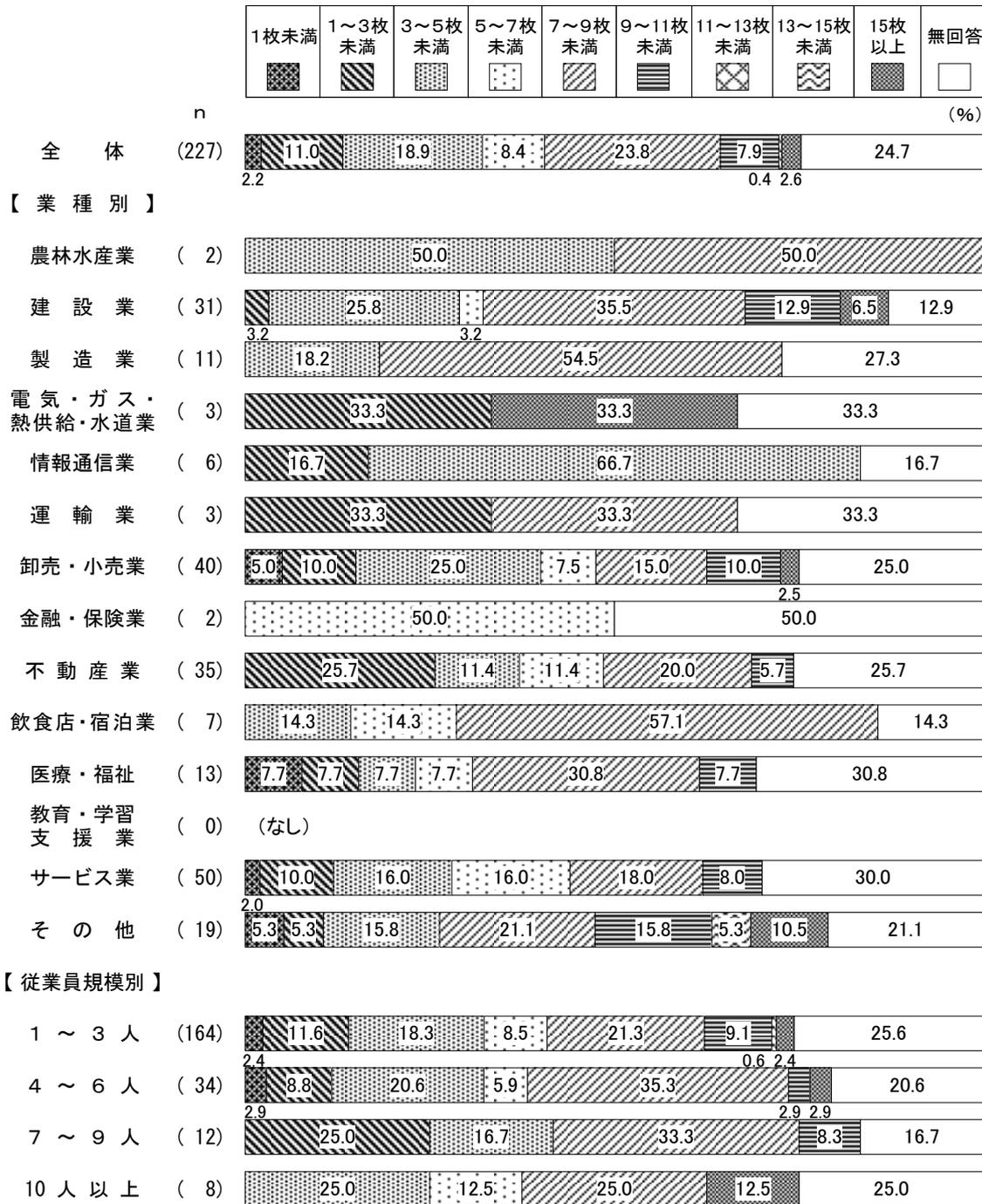
1回に使用する枚数を所在地域別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1~2枚未満」は西部地域で32.7%と高くなっている。

建物形態別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1~2枚未満」は所有物件（店舗等独立）で32.0%と高くなっている。

事業年数別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1~2枚未満」は1~10年で30.6%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>

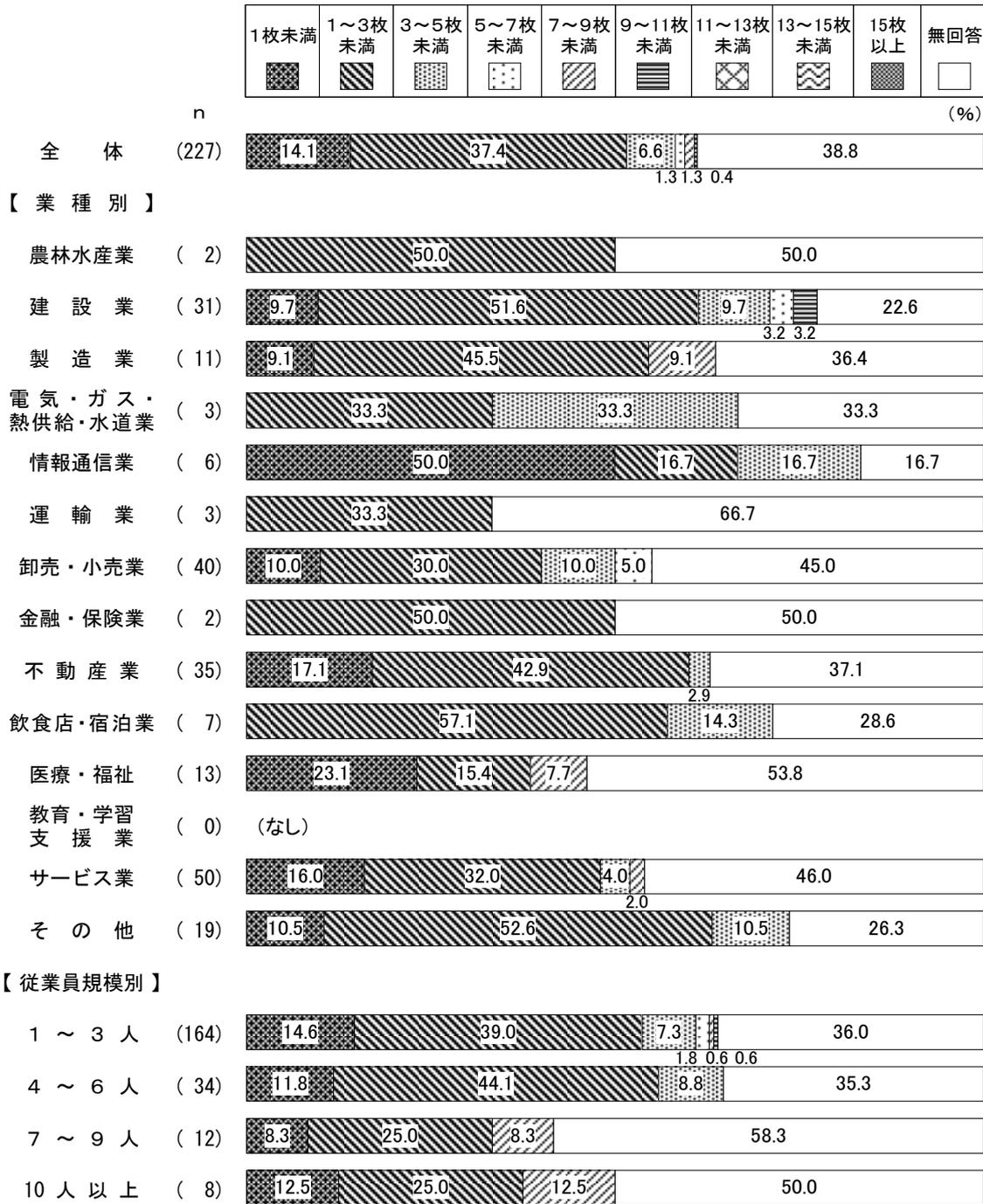


1ヶ月に使用する枚数を業種別で見ると、「燃やせるごみ」では「7~9枚未満」は建設業で35.5%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「燃やせるごみ」では「7~9枚未満」は4~6人で35.3%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>

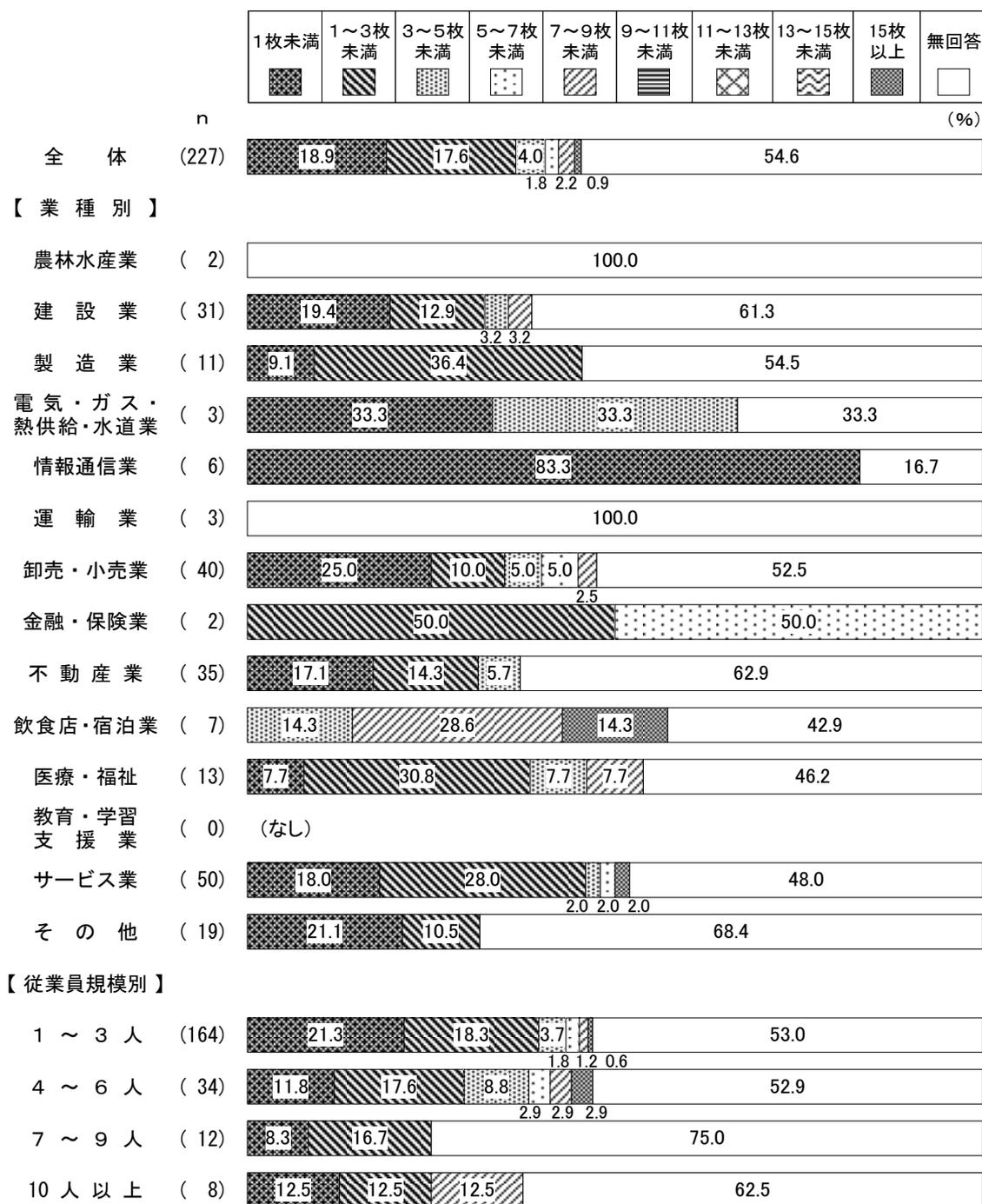


1ヶ月に使用する枚数を業種別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は建設業で51.6%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は4~6人で44.1%と高くなっている。

【業種別、従業員規模別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<事業系一般廃棄物（週2回）>

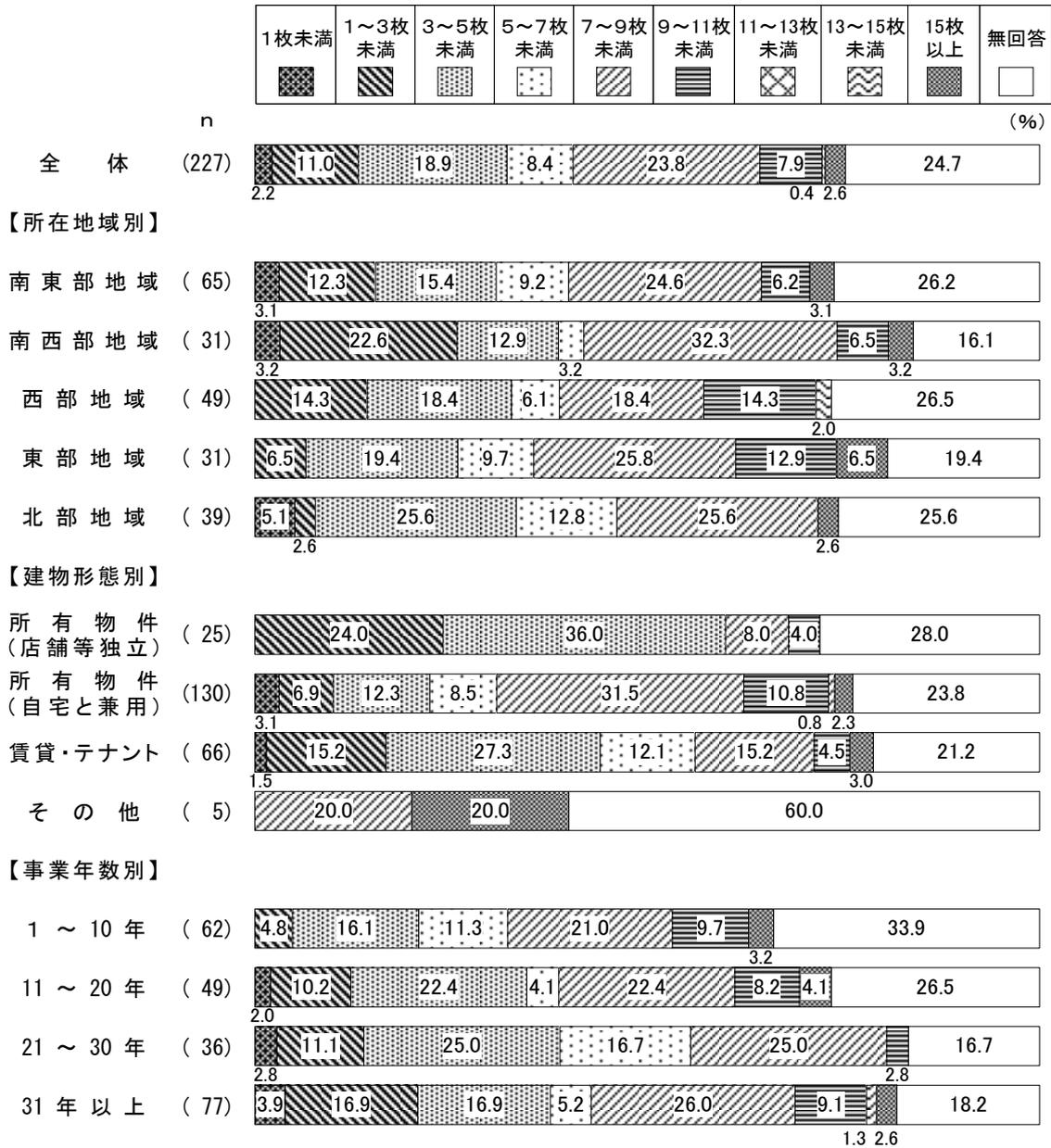


1ヶ月に使用する枚数を業種別で見ると、「事業系一般廃棄物」では「1枚未満」は卸売・小売業で25.0%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「事業系一般廃棄物」では「1枚未満」は1~3人で21.3%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせるごみ（週2回）>



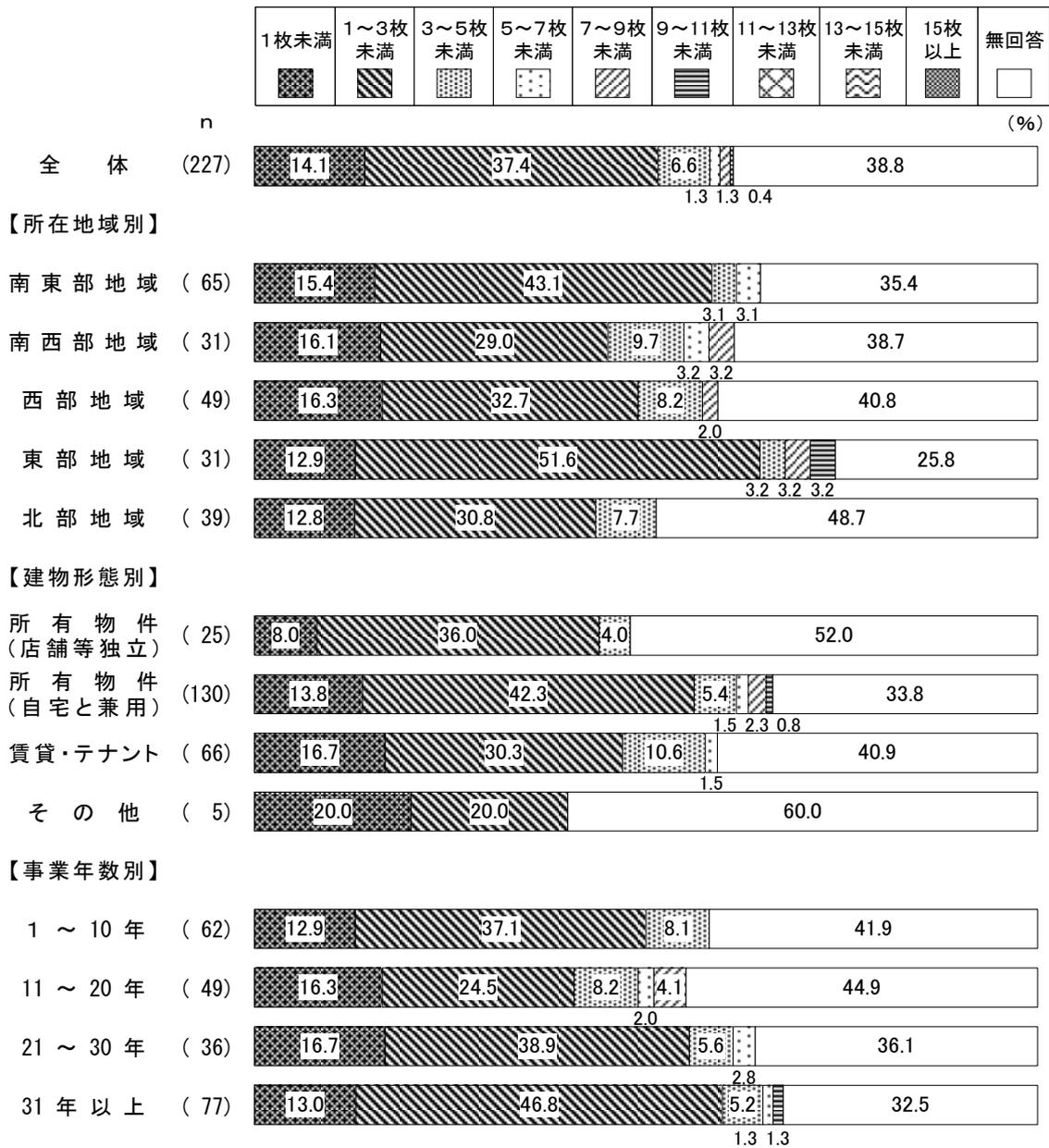
1ヶ月に使用する枚数を所在地域別でみると、「燃やせるごみ」では「7~9枚未満」は南西部地域で32.3%と高くなっている。

建物形態別でみると、「燃やせるごみ」では「7~9枚未満」は所有物件（自宅と兼用）で31.5%と高くなっている。

事業年数別でみると、「燃やせるごみ」では「7~9枚未満」は31年以上で26.0%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<燃やせないごみ（隔週水曜日）>



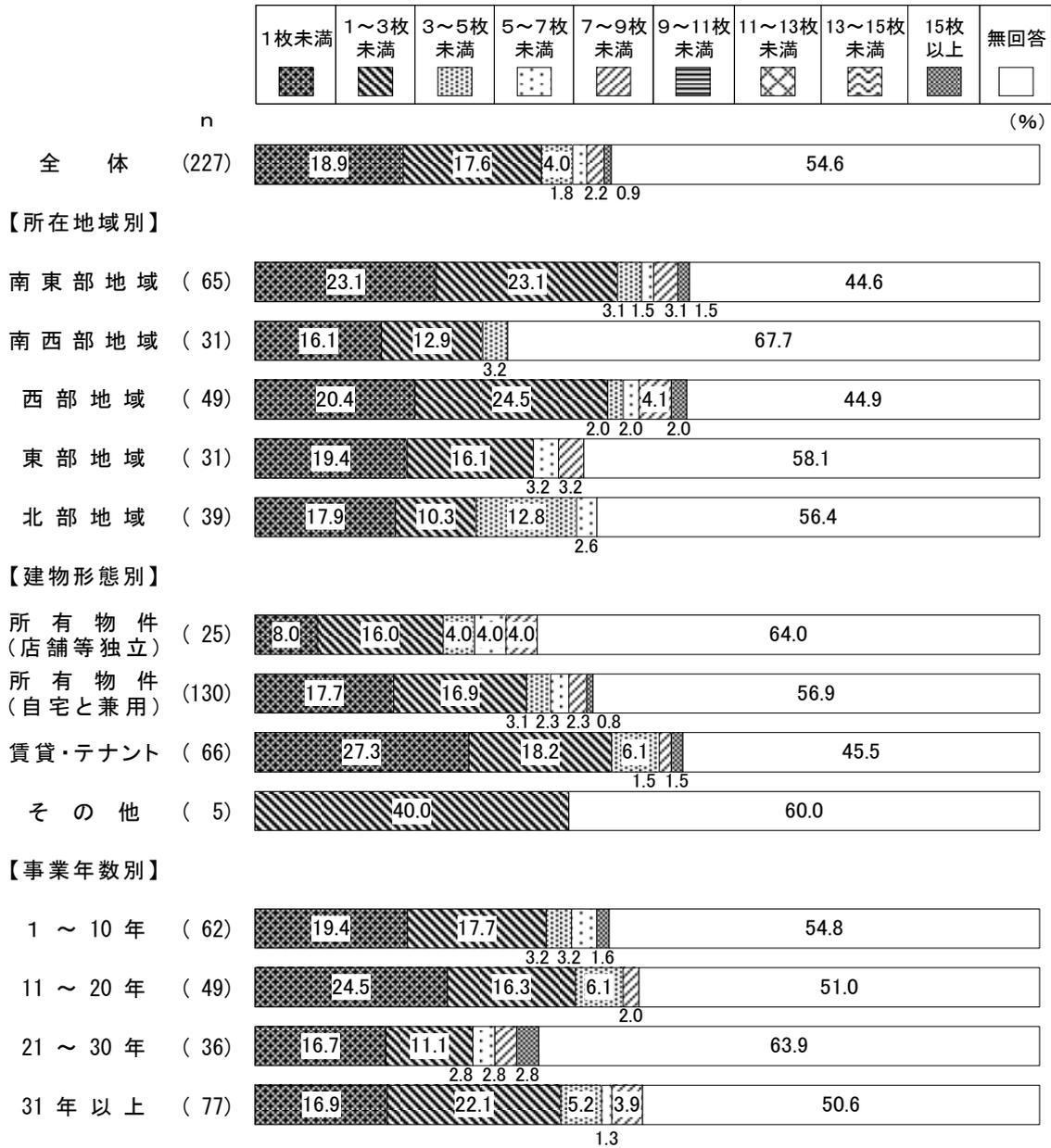
1ヶ月に使用する枚数を所在地域別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は東部地域で51.6%と高くなっている。

建物形態別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は所有物件（自宅と兼用）で42.3%と高くなっている。

事業年数別で見ると、「燃やせないごみ」では「1~3枚未満」は31年以上で46.8%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】 ③ 1ヶ月に使用する枚数

<事業系一般廃棄物（週2回）>



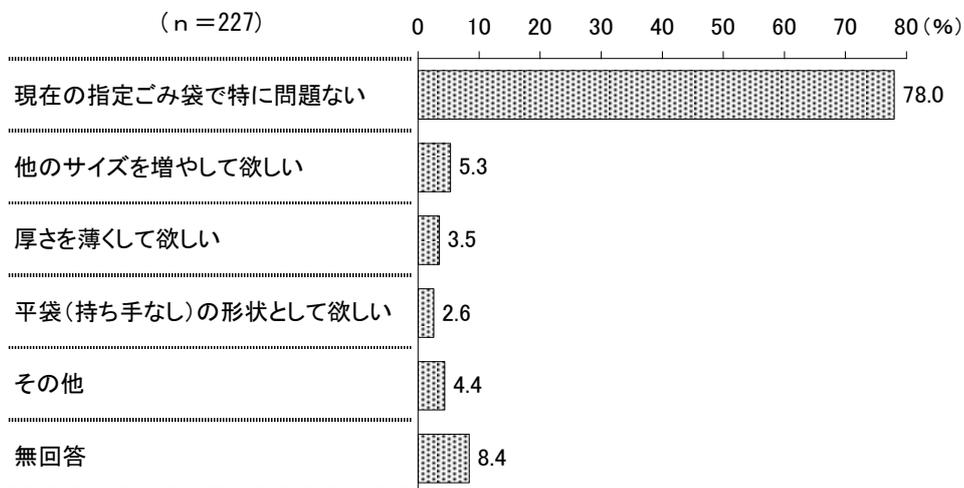
1ヶ月に使用する枚数を所在地域別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1枚未満」は南東部地域で23.1%と高くなっている。

建物形態別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1枚未満」は賃貸・テナントで27.3%と高くなっている。

事業年数別で見ると、“事業系一般廃棄物”では「1枚未満」は11~20年で24.5%と高くなっている。

(5) 指定ごみ袋についての考え

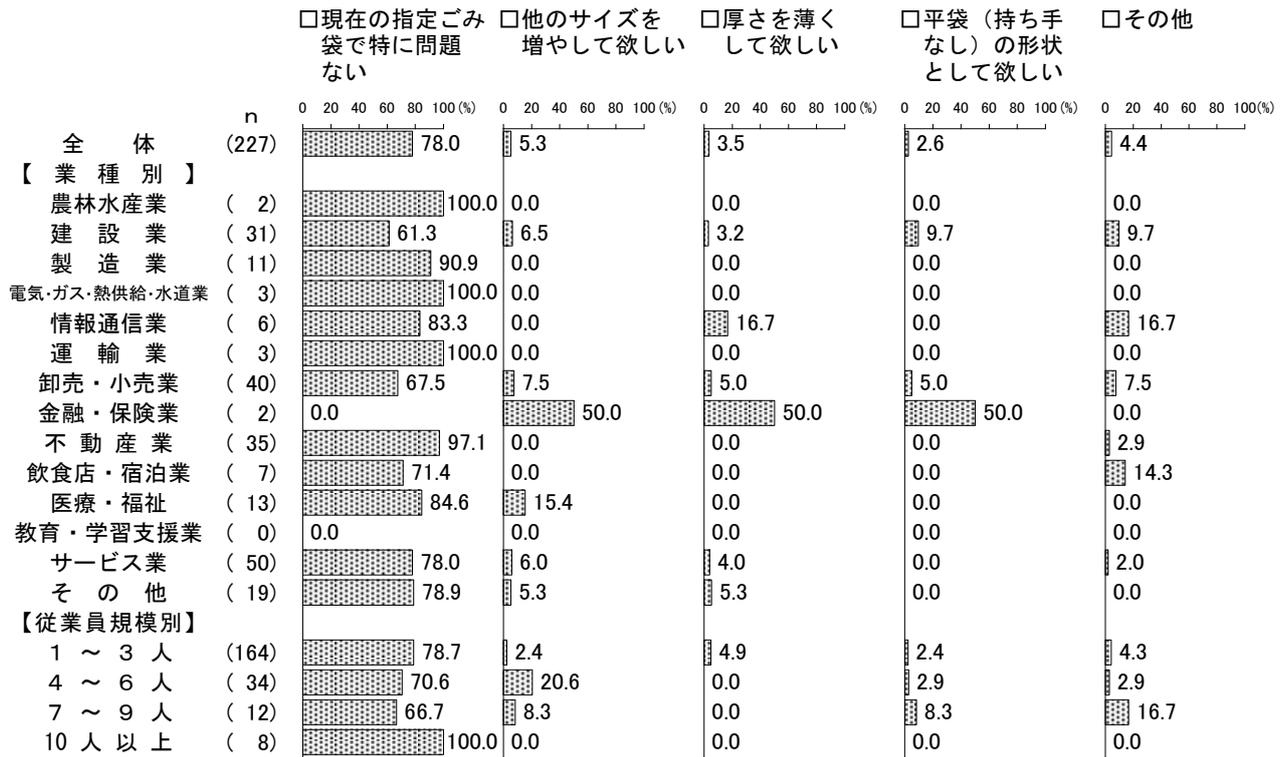
問9 指定ごみ袋についてのお考えをお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



指定ごみ袋についての考えを聞いたところ、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」が78.0%で最も高く、次いで「他のサイズを増やして欲しい」(5.3%)、「厚さを薄くして欲しい」(3.5%)、「平袋(持ち手なし)の形状として欲しい」(2.6%)となっている。

また、「その他」の意見として「指定ごみ袋の値段が高い」などがあつた。

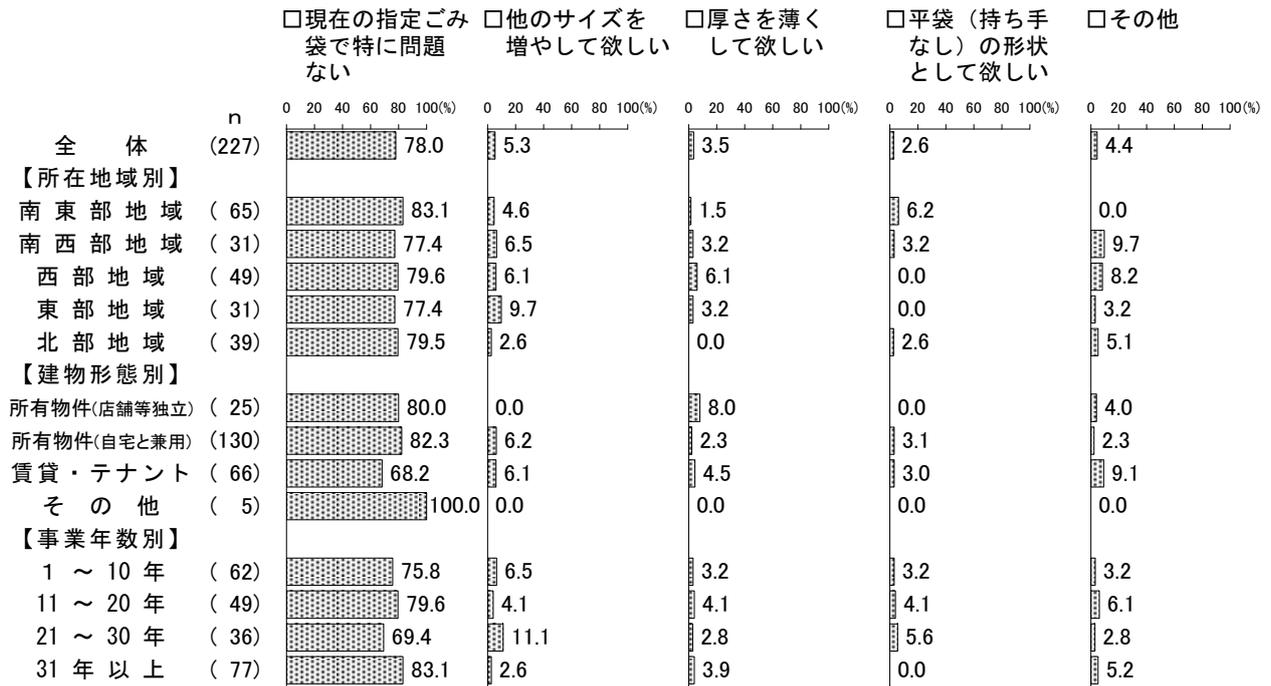
【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は不動産業で97.1%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は1～3人で78.7%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



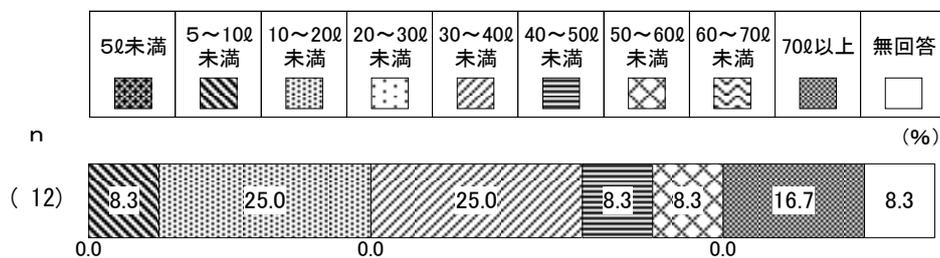
所在地域別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は南東部地域で83.1%と高くなっている。

建物形態別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は所有物件（自宅と兼用）で82.3%と高くなっている。

事業年数別で見ると、「現在の指定ごみ袋で特に問題ない」は31年以上で83.1%と高くなっている。

(6) 指定ごみ袋の希望のサイズ

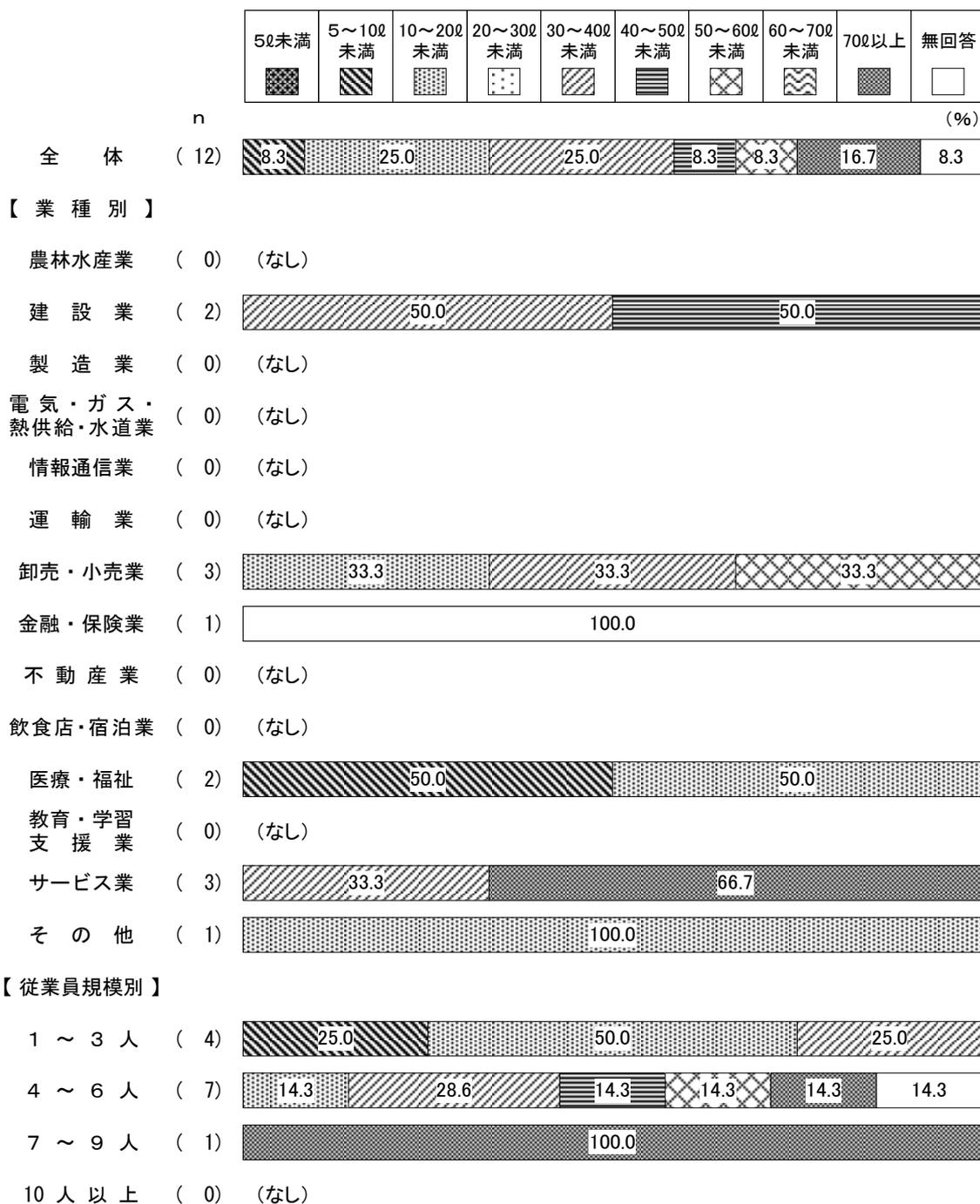
問10 問9で「他のサイズを増やして欲しい」を選んだ方のみ、ご希望の主なサイズと理由をご記入ください。



指定ごみ袋について、「他のサイズを増やして欲しい」と回答した方に、指定ごみ袋の希望のサイズを聞いたところ、「10~20L未満」と「30~40L未満」がともに25.0%で高く、次いで「70L以上」(16.7%)となっている。

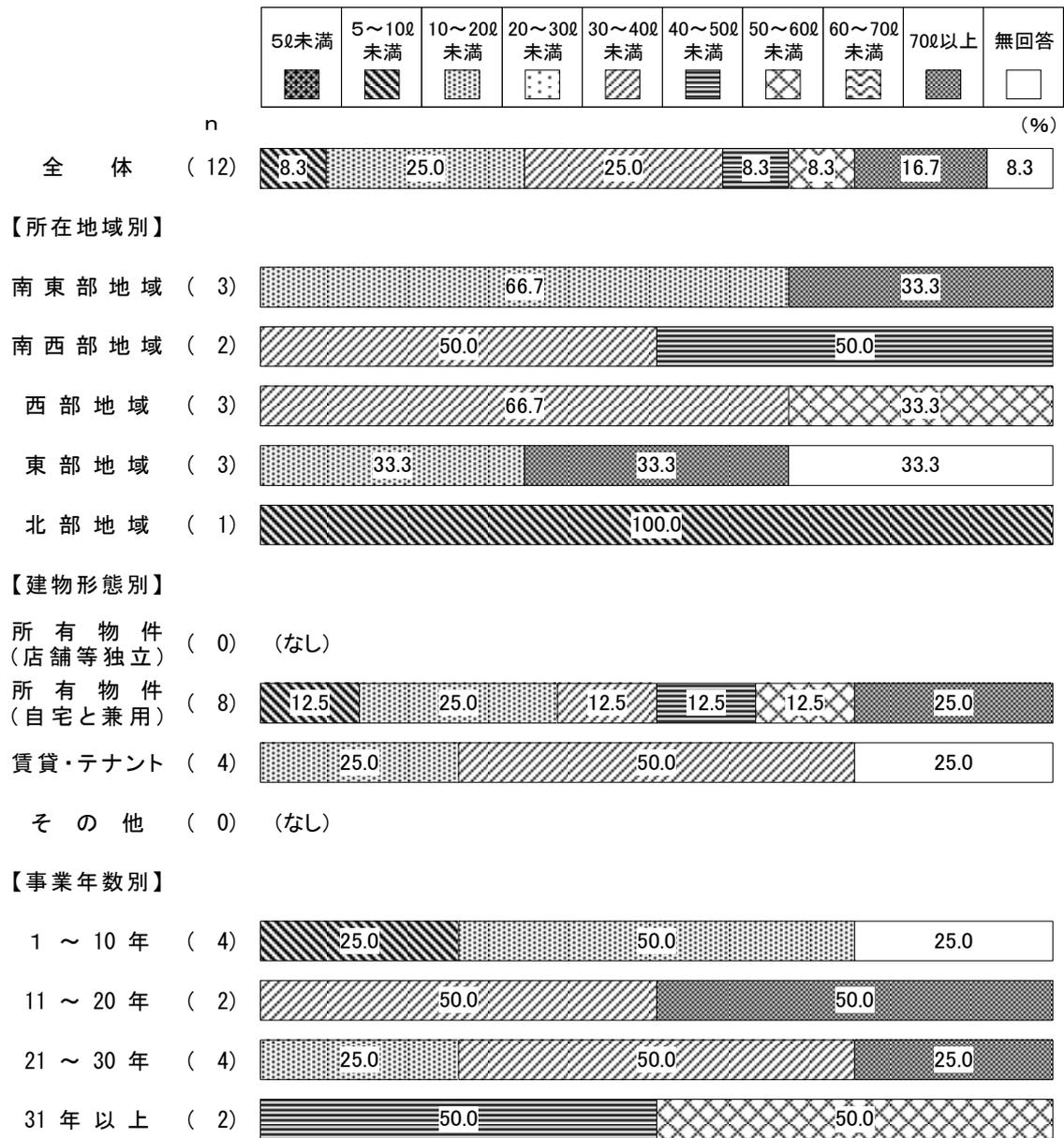
また、「10~20L未満」と回答した主な理由をみると、「10Lでは足りないが20Lでは大きい時があるから」などがあり、「30~40L未満」と回答した主な理由をみると、「20Lでは小さく40Lでは大きすぎる時があるから」などがあつた。

【業種別、従業員規模別】



業種別、従業員規模別は基数が少ないため、参考に図示する。

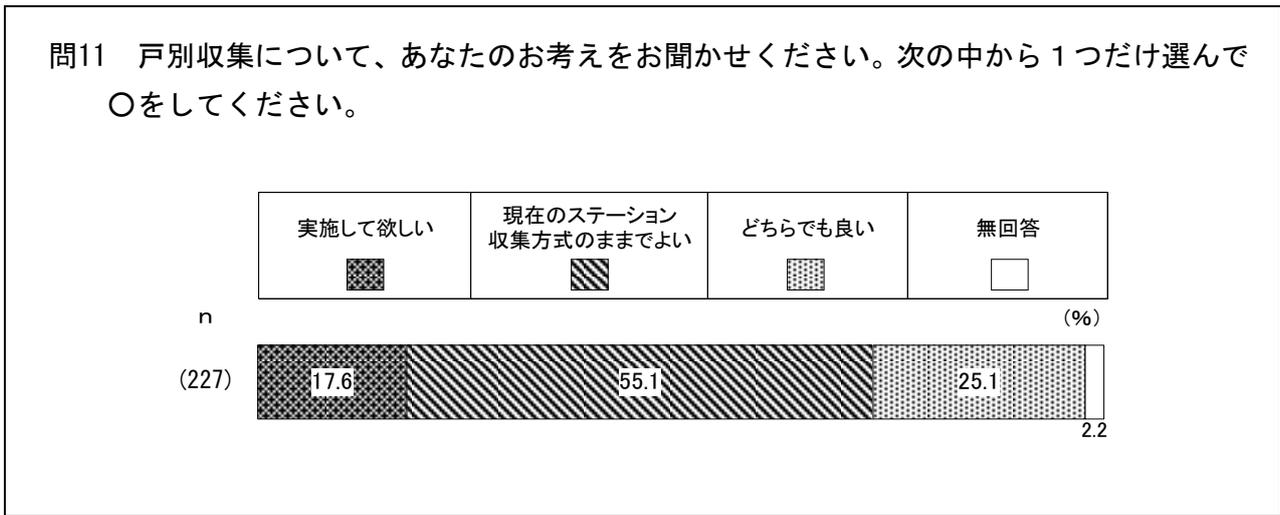
【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



所在地域別、建物形態別、事業年数別は基数が少ないため、参考に図示する。

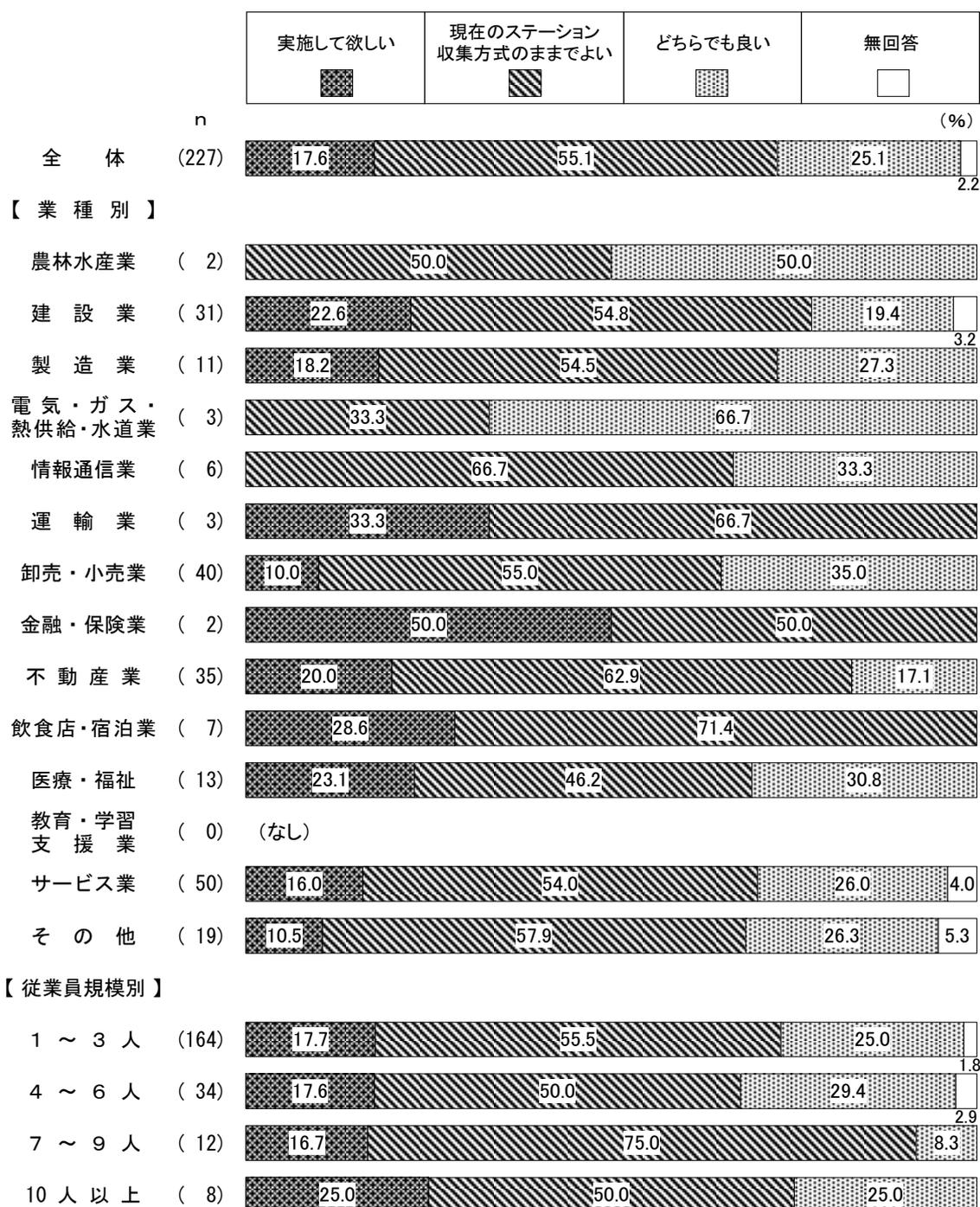
4. 「戸別収集」について

(1) 戸別収集についての考え



戸別収集についての考えを聞いたところ、「実施して欲しい」が17.6%、「現在のステーション収集方式のままでよい」は55.1%となっている。また、「どちらでも良い」は25.1%となっている。

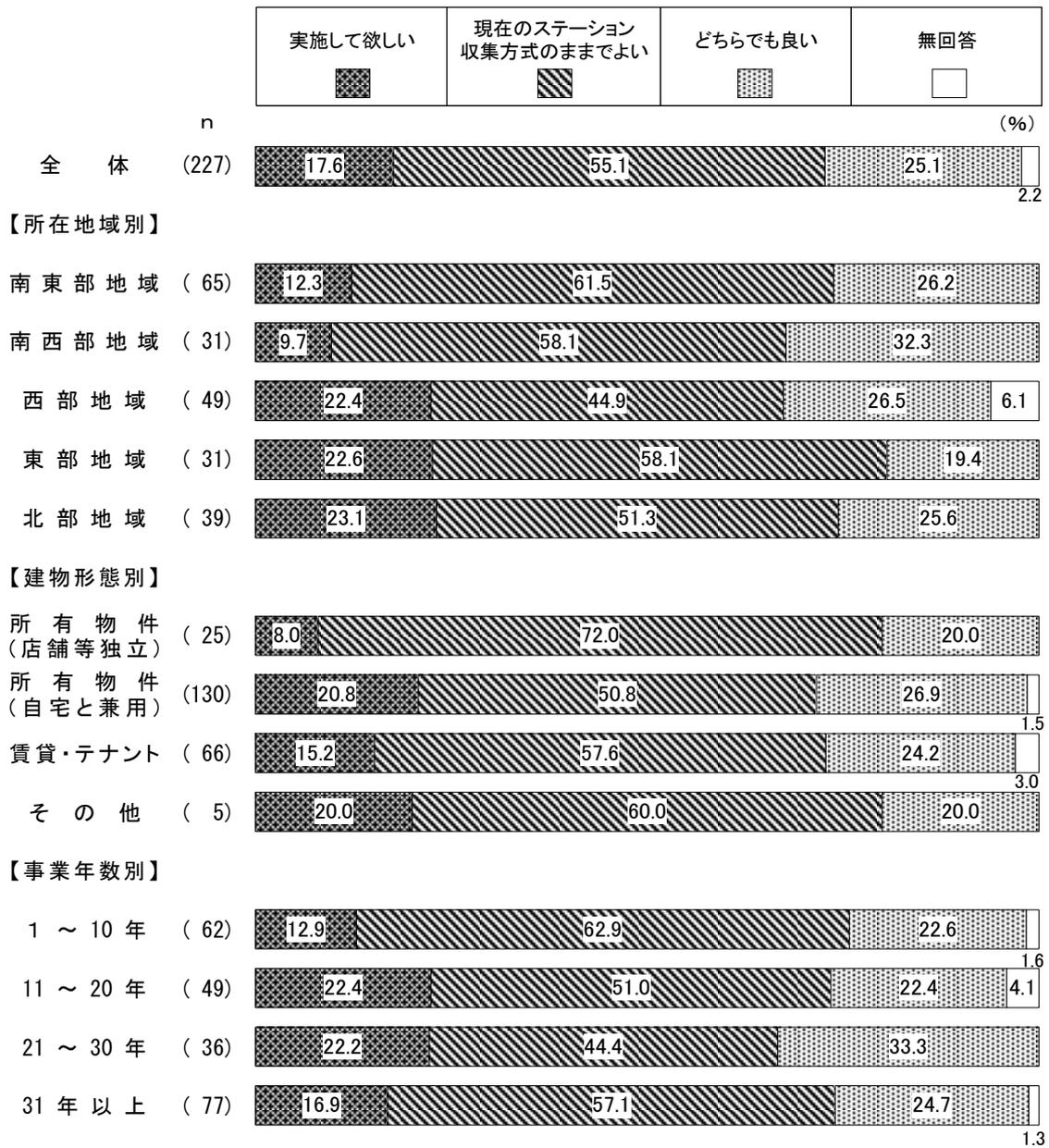
【業種別、従業員規模別】



業種別で見ると、「実施して欲しい」は建設業で22.6%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は不動産業で62.9%と高くなっている。

従業員規模別で見ると、「実施して欲しい」は4～6人で17.6%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は1～3人で55.5%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



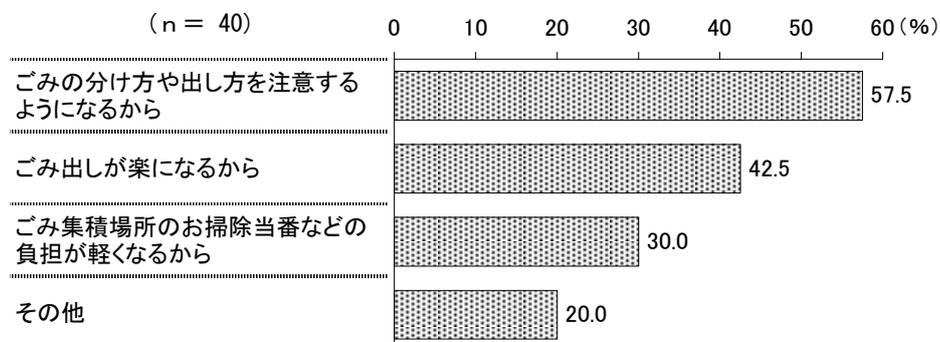
所在地域別でみると、「実施して欲しい」は北部地域で23.1%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は南東部地域で61.5%と高くなっている。

建物形態別でみると、「実施して欲しい」は所有物件（自宅と兼用）で20.8%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は所有物件（店舗等独立）で72.0%と高くなっている。

事業年数別でみると、「実施して欲しい」は11～20年で22.4%と高くなっている。「現在のステーション収集方式のままでよい」は1～10年で62.9%と高くなっている。

(2) 戸別収集を実施して欲しい理由

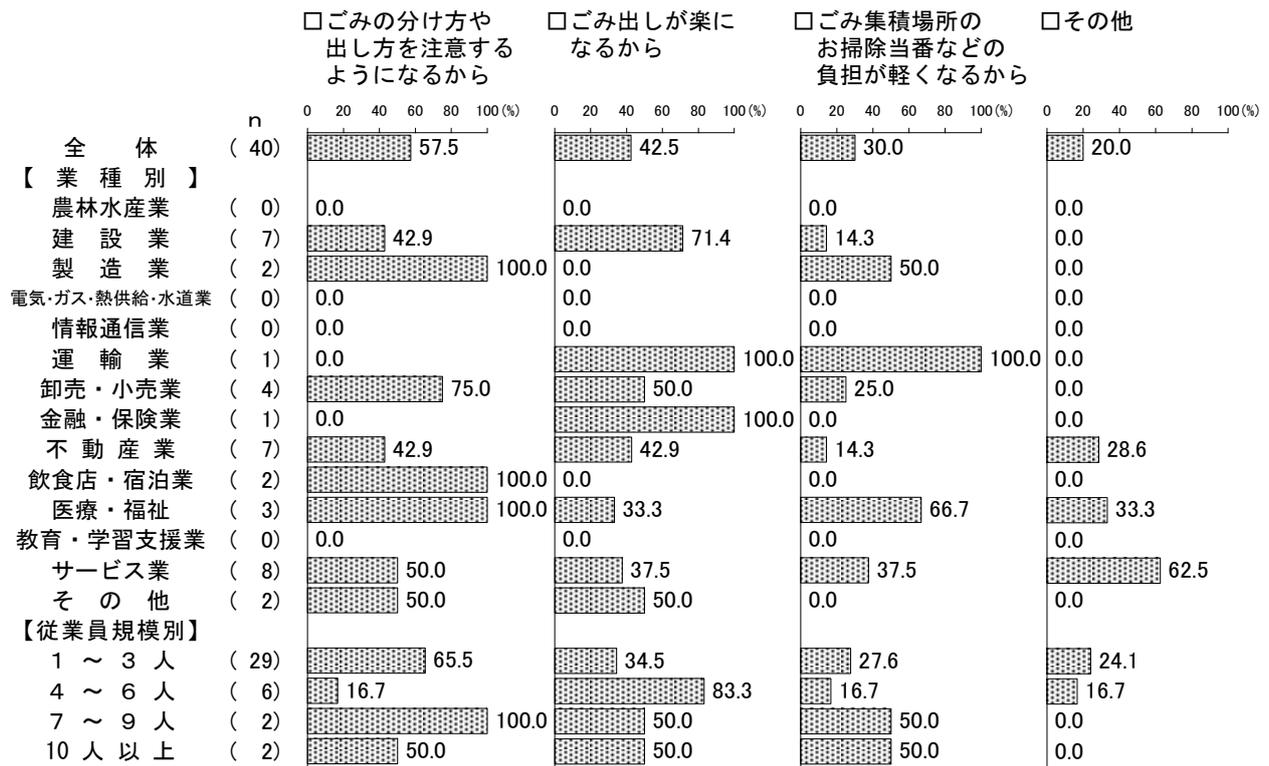
問12 問11で「実施して欲しい」を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



戸別収集を「実施して欲しい」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「ごみの分け方や出し方を注意するようになるから」が57.5%で最も高く、次いで「ごみ出しが楽になるから」(42.5%)、「ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから」(30.0%)となっている。

また、「その他」の意見として「不法投棄が減るから」などがあつた。

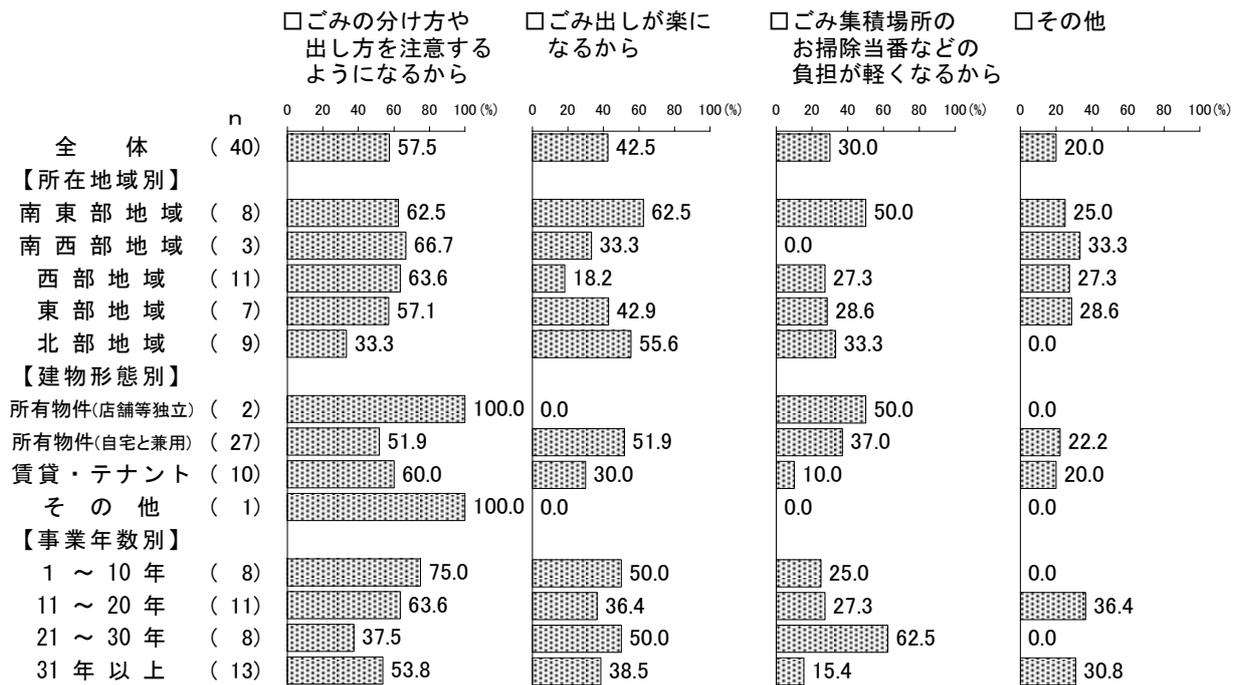
【業種別、従業員規模別】



業種別は基数が少ないため、参考に図示する。

従業員規模別でみると、「ごみの分け方や出し方を注意するようになるから」は1～3人で65.5%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



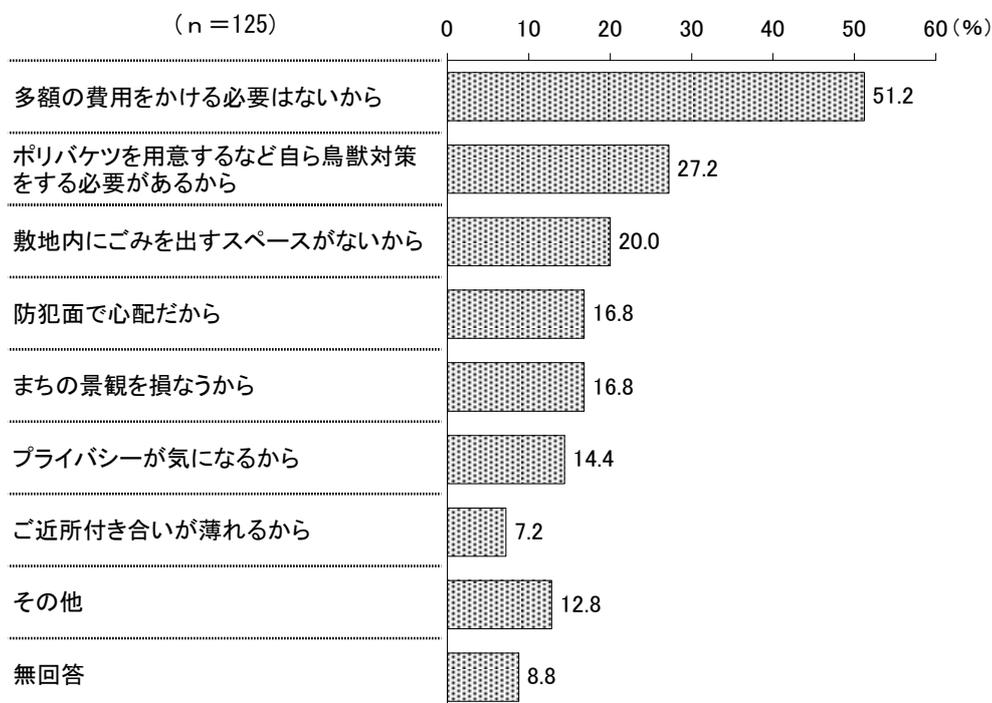
所在地域別は基数が少ないため、参考に図示する。

建物形態別で見ると、「ごみの分け方や出し方を注意するようになるから」は所有物件（自宅と兼用）で51.9%と高くなっている。

事業年数別は基数が少ないため、参考に図示する。

(3) 現在のステーション収集方式のままでよい理由

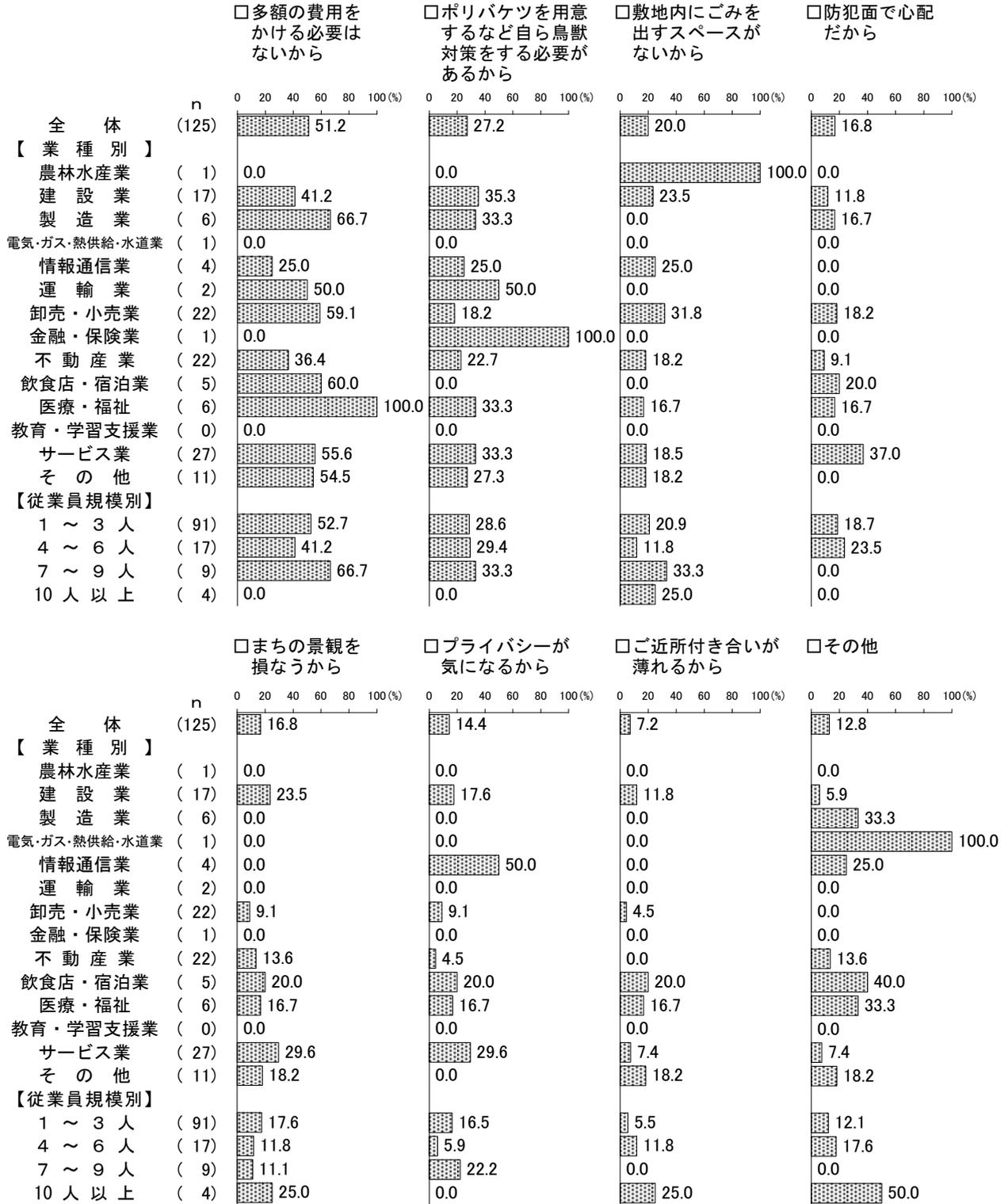
問13 問11で「現在のステーション収集方式のままでよい」を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。(複数回答可)



「現在のステーション収集方式のままでよい」と回答した方に、その理由を聞いたところ、「多額の費用をかける必要はないから」が51.2%で最も高く、次いで「ポリバケツを用意するなど自ら鳥獣対策をする必要があるから」(27.2%)、「敷地内にごみを出すスペースがないから」(20.0%)となっている。

また、「その他」の意見として「集積場所が近くにあるから」などがあつた。

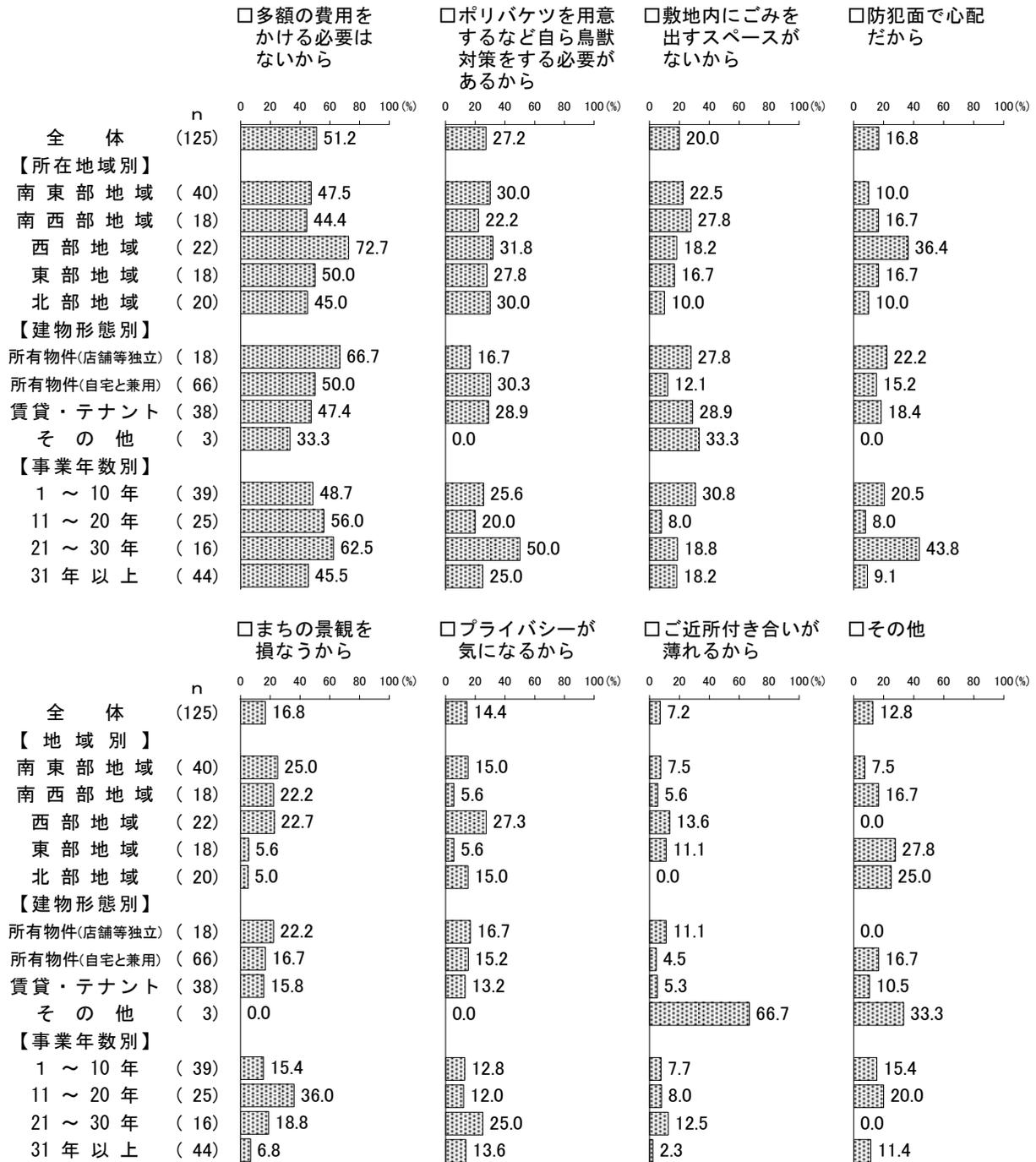
【業種別、従業員規模別】



業種別でみると、「多額の費用をかける必要はないから」は卸売・小売業で59.1%と高くなっている。

従業員規模別でみると、「多額の費用をかける必要はないから」は1～3人で52.7%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



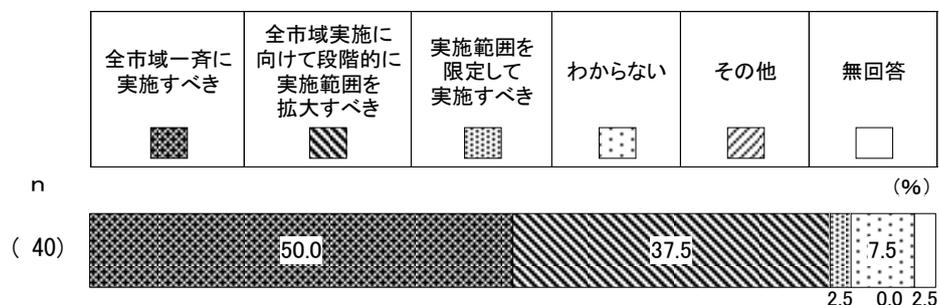
所在地域別でみると、「多額の費用をかける必要はないから」は西部地域で72.7%と高くなっている。

建物形態別でみると、「多額の費用をかける必要はないから」は所有物件（自宅と兼用）で50.0%と高くなっている。

事業年数別でみると、「多額の費用をかける必要はないから」は11～20年で56.0%と高くなっている。

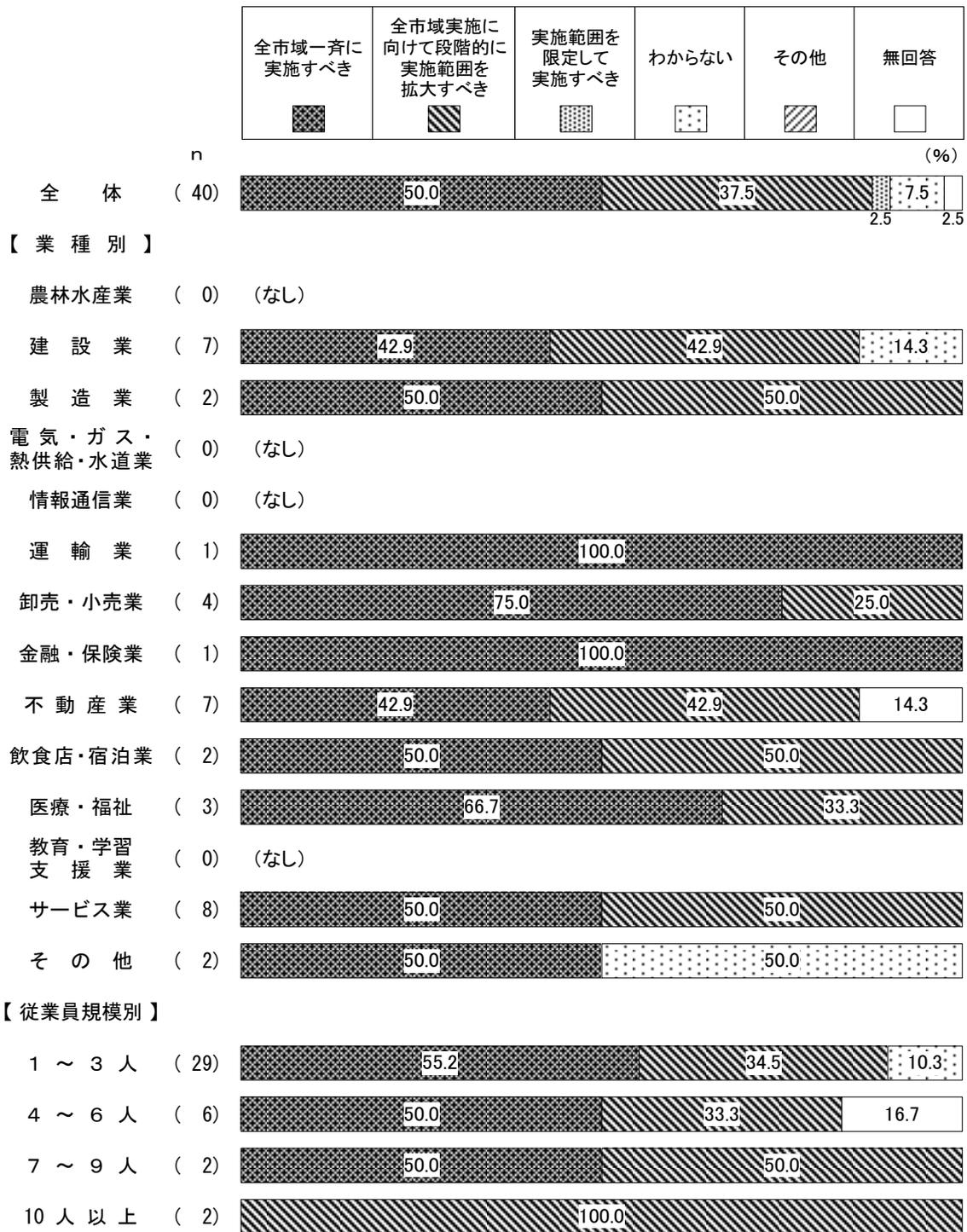
(4) 戸別収集の進め方

問14 問11で「実施して欲しい」を選んだ方のみ、進め方についてのあなたのお考えをお聞かせください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。



戸別収集を「実施して欲しい」と回答した方に、進め方を聞いたところ、「全市域一斉に実施すべき」が50.0%で最も高く、次いで「全市域実施に向けて段階的に実施範囲を拡大すべき」(37.5%)、「実施範囲を限定して実施すべき」(2.5%)となっている。

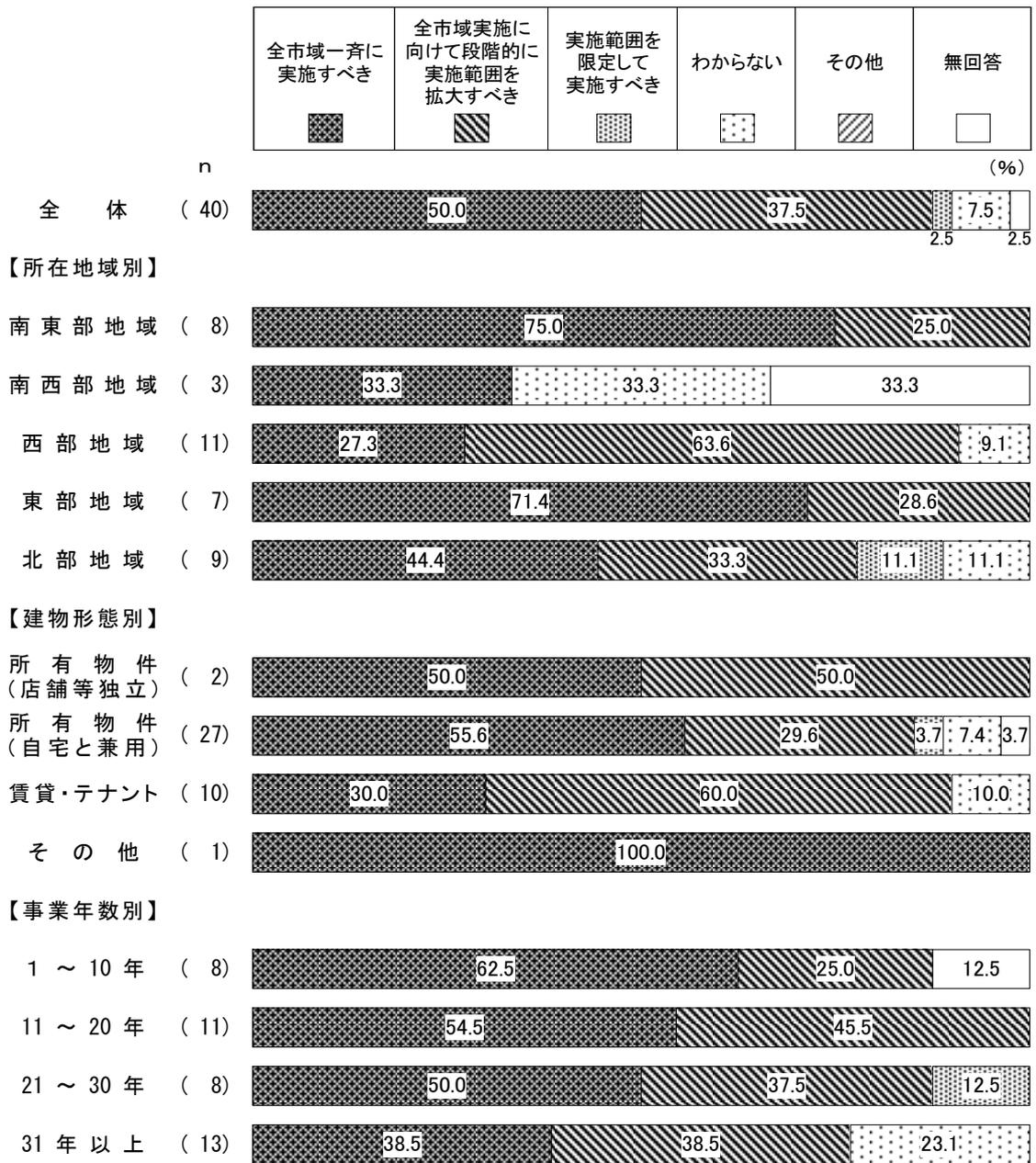
【業種別、従業員規模別】



業種別は基数が少ないため、参考に図示する。

従業員規模別で見ると、「全市域一斉に実施すべき」は1～3人で55.2%と高くなっている。

【所在地域別、建物形態別、事業年数別】



所在地域別は基数が少ないため、参考に図示する。

建物形態別でみると、「全市域一斉に実施すべき」は所有物件（自宅と兼用）で55.6%と高くなっている。

事業年数別は基数が少ないため、参考に図示する。

IV 調査票

ごみ有料化及び戸別収集に関するアンケート調査票

▶ アンケート調査について

日頃より市政全般にわたりご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本市では、更なるごみ減量化に向けて、令和4年4月から「ごみ有料化」を実施し、将来にわたる安定的なごみ処理の継続に努めています。また、令和5年度からの「茅ヶ崎市総合計画前期実施計画」の中では『戸別収集導入検討に関する事業』を実施計画事業として位置付け、改めての検討をスタートしたところです。

このたび、実施から約1年が経過した「ごみ有料化」の検証と今後の同事業の参考にするとともに、「戸別収集」に対するニーズなどを把握するため、それぞれの事業に関するアンケート調査を実施する運びとなりました。つきましては、ご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力くださるようお願い申し上げます。

令和5年5月16日 茅ヶ崎市長 佐藤 光

▶ 調査対象について

このアンケート調査は、18歳以上の市民を対象に住民基本台帳から3,000人を、また、法人市民税課税台帳に登録されている従業員10人以下の店舗等から1,000ヶ所を無作為に抽出して実施しています。回答は無記名で行い、結果は統計的に処理いたしますので、この調査により個人や事業者が特定されることはありません。また、目的以外には使用いたしません。

▶ 回答にあたってのお願い

▷ 【封筒の宛名が個人名】 = 市民向けのアンケート調査

→ 封筒の宛名の本人に限らず、ご家族ならどなたでもご回答いただけます。

▷ 【封筒の宛名が法人名】 = 事業者向けのアンケート調査

→ 送付された店舗等の責任者がご回答ください。

▷ いずれのアンケート調査も郵送及びインターネットで回答することができます。

郵送で回答する場合

→ この調査票に回答を直接ご記入ください。

→ 同封の返信用封筒に調査票（P3～8のみ）を入れ、5月31日(水)までにポストにご投函ください。

インターネットで回答する場合

→ 次のURL、または、QRコードから回答フォームにアクセスのうえご回答ください。

URL: https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142077-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=51047

（6月1日(木)以降はアクセスできません。）



▷ 回答に要する時間は15分程度です。不明な点がございましたら、次の「問い合わせ先」までご連絡ください。

▶ 問い合わせ先

茅ヶ崎市環境部資源循環課資源循環担当

電話 0467-82-1111 [代表] (内線 1221/1222/1223) 0467-81-7178 [直通]

FAX 0467-57-8388

E-mail shigen@city.chigasaki.kanagawa.jp

(表1)

あ	1	赤松町	せ	37	芹沢	は	69	萩園	ま	103	松浪1丁目	
	2	赤羽根		た	38		高田	70		浜之郷	104	松浪2丁目
	3	甘沼			39		高田1丁目	71		浜竹1丁目	105	松が丘1丁目
	4	旭が丘			40		高田2丁目	72		浜竹2丁目	106	松が丘2丁目
い	5	今宿		41	高田3丁目		73	浜竹3丁目		107	松風台	
	え	6	円蔵		42	高田4丁目		74	浜竹4丁目		108	松尾
7		円蔵1丁目		43	高田5丁目		75	浜須賀	み	109	みずき1丁目	
8		円蔵2丁目		44	代官町		76	浜見平		110	みずき2丁目	
か	9	香川	ち	45	茅ヶ崎	ひ	77	東海岸北1丁目		111	みずき3丁目	
	10	香川1丁目			46		茅ヶ崎1丁目	78	東海岸北2丁目		112	みずき4丁目
	11	香川2丁目			47		茅ヶ崎2丁目	79	東海岸北3丁目		113	美住町
	12	香川3丁目			48		茅ヶ崎3丁目	80	東海岸北4丁目		114	緑が浜
	13	香川4丁目	つ	49	鶴が台		81	東海岸北5丁目	む	115	室田	
	14	香川5丁目			50	堤	82	東海岸南1丁目		116	室田1丁目	
	15	香川6丁目	て	51	出口町		83	東海岸南2丁目		117	室田2丁目	
	16	香川7丁目		と	52	共恵1丁目	84	東海岸南3丁目		118	室田3丁目	
こ	17	小和田		53	共恵2丁目		85	東海岸南4丁目	も	119	元町	
	18	小和田1丁目		54	常盤町	86	東海岸南5丁目	や		120	柳島	
	19	小和田2丁目	な	55	南湖1丁目	87	東海岸南6丁目		121	柳島1丁目		
	20	小和田3丁目		56	南湖2丁目	88	菱沼		122	柳島2丁目		
	21	小桜町		57	南湖3丁目	89	菱沼1丁目	123	柳島海岸			
さ	22	幸町		58	南湖4丁目		90	菱沼2丁目		124	矢畑	
	し	23	新栄町		59	南湖5丁目		91	菱沼3丁目	わ	125	若松町
24		十間坂1丁目		60	南湖6丁目		92	菱沼海岸				
25		十間坂2丁目		61	南湖7丁目		93	ひばりが丘				
26		十間坂3丁目		62	中海岸1丁目	ふ	94	富士見町				
27		松林1丁目		63	中海岸2丁目		へ	95	平太夫新田			
28		松林2丁目		64	中海岸3丁目			96	平和町			
29		松林3丁目		65	中海岸4丁目	ほ	97	本宿町				
30		下町屋		66	中島		98	本村1丁目				
31		下町屋1丁目		67	行谷		99	本村2丁目				
32		下町屋2丁目	に	68	西久保		100	本村3丁目				
33		下町屋3丁目						101	本村4丁目			
34		白浜町					102	本村5丁目				
35		下寺尾										
36		汐見台										

ご回答者のことについてお伺いします（共通）

問1 ご回答者についてお答えください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。

市民の方へ

※問1が終わりましたら、問5以降（P5～）の質問にお答えください。

(1) 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上
(2) 同居人数	回答者ご本人含めて（ ）人
(3) 町丁・字名	（ ）※お住まいの町丁・字名は、P2の表1を参照のうえ、番号をご記入ください。
(4) 住居形態	1. 戸建住宅 2. 8戸未満の集合住宅（マンション・アパートなど） 3. 8戸以上の集合住宅（マンション・アパートなど） 4. 店舗等併用住宅 5. その他（ ）
(5) 居住年数	1. 1年未満 2. 1～10年 3. 11～20年 4. 21～30年 5. 31年以上

事業者の方へ

※問1が終わりましたら、問2以降（P4～）の質問にお答えください。

(1) 業種	1. 農林水産業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 飲食店・宿泊業 11. 医療・福祉 12. 教育・学習支援業 13. サービス業 14. その他（ ） ※兼業の場合、売上の割合が高いものを選んでください。
(2) 従業員規模	1. 1～3人 2. 4～6人 3. 7～9人 4. 10人以上
(3) 町丁・字名	（ ）※貴店舗等が位置する町丁・字名は、P2の表1を参照のうえ、番号をご記入ください。
(4) 建物形態	1. 所有物件（店舗等独立） 2. 所有物件（自宅と兼用） 3. 賃貸・テナント 4. その他（ ）
(5) 事業年数	1. 1年未満 2. 1～10年 3. 11～20年 4. 21～30年 5. 31年以上

「事業系ごみ」に関する説明

▶ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第3条

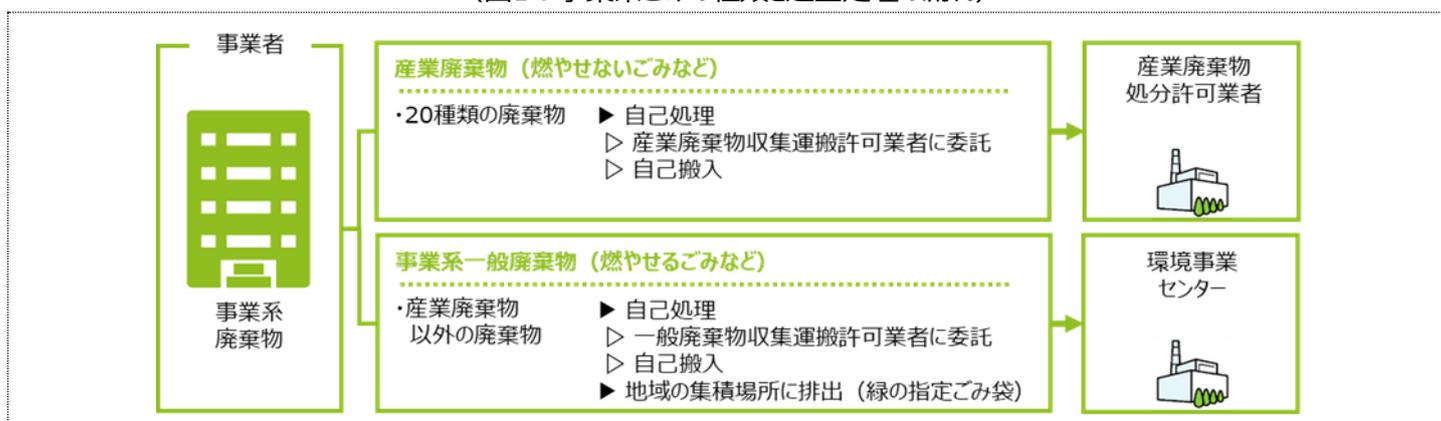
上記法律では、事業者*¹に対して、主に次のとおり規定されています。

- ① 事業活動に伴って生じた廃棄物は、自らの責任において適正に処理しなければならない。
- ② 事業活動に伴って生じた廃棄物は、再生利用等を行うことにより減量に努めなければならない。

* 1・・・規模の大小や営利目的を問わず、公共公益事業等も含めたあらゆる事業活動を営む者

▶ 事業系ごみの種類と適正処理の流れ

(図1：事業系ごみの種類と適正処理の流れ)



▶ 産業廃棄物とは

産業廃棄物とは、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、法令で定められているもの（20分類）であり、主に次の図2に示す廃棄物です。

(図2：産業廃棄物のイメージ)



「事業系ごみ」の処理方法についてお伺いします【事業者向け】

問2 貴店舗等では、事業系一般廃棄物（家庭ごみの分類でいう「燃やせるごみ」）をどのように処理していますか。次の中からあてはまるものに○をしてください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般廃棄物収集運搬許可業者へ委託している 2. 茅ヶ崎市のごみ処理施設へ直接搬入している 3. 地域の集積場所に出している | } | <p>1.もしくは2.と回答された事業者への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。</p> <p>→ 3.を選んだ事業者は問3以降へ</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------|

問 3 法律では事業者のごみ処理責任が謳われているため、茅ヶ崎市では、事業者が地域の集積場所を使用する場合には、ごみの排出量制限を設けています。また、そのような場合には、自治会などから利用承諾を得ることも必要となります。これらのことをご存じですか。次の中からあてはまるものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

問 4 図 1 のとおり産業廃棄物は市で処理することはできません。家庭ごみの分類でいう「燃やせないごみ」・「プラスチック製容器包装類」・「びん」・「かん」・「ペットボトル」・「廃食用油」・「金属類」は産業廃棄物となることをご存じですか。次の中からあてはまるものに○をしてください。

1. 知っている 2. 知らなかった

「ごみ有料化」についてお伺いします【市民向け・事業者向け】

問 5 更なるごみ減量化を進めるために、令和 4 年 4 月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、ごみ減量化に対する意識は変わりましたか。次の中から 1 つだけ選んで○をしてください。

1. ごみが有料化になって、以前より関心を持つようになった 2. ごみが有料化になる以前から関心を持っている
3. ある程度関心を持っている 4. あまり関心を持っていない 5. 全く関心を持っていない
6. その他 ()

問 6 令和 4 年 4 月からごみ有料化を実施していますが、実施前と比べて、出すごみの量はどのように変わりましたか。次の中から 1 つだけ選んで○をしてください。

1. 減った → 1.と回答された方は問7以降へ
2. 増えた 3. 変わらない 4. わからない → 2.~4.と回答された方は問8以降へ

※茅ヶ崎市のごみ排出量の推移は、次のURLをご参考にしてください。

URL: <https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kankyo/1042977/1048232.html>



問 7 問 6 で 1.を選んだ方のみ、ご家庭、または、貴店舗等での取り組みをお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。（複数回答可）

1. 分別を徹底するようになった 2. 生ごみ処理機を使うようになった
3. 買い物や料理などの時に食品ロスを気にするようになった
4. その他 ()
5. 特に何もしていない

問 8 あなたのご家庭、または、貴店舗等では、ごみをどのように出していますか。主に使っている指定ごみ袋のサイズに○をしてください。また、1 回に使用する枚数と 1 ヶ月に使用する枚数を () 内にご記入ください。

	指定ごみ袋のサイズ	1回に使用する枚数	1ヶ月に使用する枚数
燃やせるごみ (週2回)	5・10・20・40	約 () 枚	約 () 枚
燃やせないごみ (隔週水曜日)	5・10・20・40	約 () 枚	約 () 枚
事業系一般廃棄物 (週2回)	20・40	約 () 枚	約 () 枚

▶ 戸別収集のメリットとデメリット

(表2：戸別収集のメリットとデメリット)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ集積場所の管理等の負担の軽減、自宅（店舗等）の目の前に集積場所があることに対するストレスの軽減 ● 排出者責任の明確化 <ul style="list-style-type: none"> → 不適正排出の減少 → ごみの減量化 ● 高齢者等のごみ出し負担の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの収集効率の低下 ● <u>ごみの収集運搬費用の増大</u>^{*4} ● <u>プライバシー</u>^{*5}・<u>防犯面</u>^{*6}の問題 ● <u>鳥獣対策に伴う費用負担</u>^{*7} ● ご近所付き合いの希薄化

* 4…全市域で「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の両方を対象として戸別収集を実施した場合、年間約5億円の費用が必要です。なお、「燃やせるごみ」のみを対象とした場合は年間約3.9億円の費用が必要です。茅ヶ崎市のごみ処理経費については、次のURLをご参考にしてください。

URL:

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kankyo/gomigenryo/1052431.html>



* 5…敷地内にごみを出すことになるため、各家庭や店舗等で、どのようなごみを出しているかが第三者に知られてしまう可能性があること

* 6…各家庭や店舗等でごみ出しの状況（ポリバケツ等の残置など）からその方のライフスタイル（在宅の有無など）が第三者に知られてしまう可能性があること

* 7…各家庭や各店舗等でポリバケツ等を購入するなど鳥獣対策を講じる必要があること

▶ 戸別収集実施にあたり協力していただくこと

- 道路に面した敷地内の収集しやすい場所にごみを出すことになります。
- ポリバケツを用意することなど各自の責任のもとで鳥獣対策することになります。
- 集合住宅を除き、開発行為などで設置されたごみ集積場所が不要となる可能性があります。
- 店舗等が戸別収集の対象となった場合、一定の手続き^{*8}が必要となる可能性があります。
- 店舗等と自宅が同一敷地内にある場合、家庭ごみと事業系一般廃棄物を別々の指定袋に入れて出す必要があります。

* 8…排出量などの条件を満たしたうえで、収集を依頼する旨を申し出ていただくこと

「戸別収集」についてお伺いします【市民向け・事業者向け】

問 11 戸別収集について、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。

1. 実施して欲しい → 1.と回答された方は問12・14・15へ
2. 現在のステーション収集方式のままでよい → 2.と回答された方は問13へ
3. どちらでも良い → 3.と回答された方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問 12 問 11 で 1.を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。（複数回答可）

1. ごみ集積場所のお掃除当番などの負担が軽くなるから
2. ごみの分け方や出し方を注意するようになるから
3. ごみ出しが楽になるから
4. その他 ()

**問 13 問 11 で 2.を選んだ方のみ、理由をお聞かせください。次の中からあてはまるものに○をしてください。
(複数回答可)**

1. 敷地内にゴミを出すスペースがないから
2. ポリバケツを用意するなど自ら鳥獣対策をする必要があるから
3. プライバシーが気になるから
4. 防犯面で心配だから
5. ご近所付き合いが薄れるから
6. まちの景観を損なうから
7. 多額の費用をかける必要はないから
8. その他 ()

問 14 問 11 で 1.を選んだ方のみ、進め方についてのあなたのお考えをお聞かせください。次の中から1つだけ選んで○をしてください。

1. 全市域一斉に実施すべき
2. 全市域実施に向けて段階的に実施範囲を拡大すべき
3. 実施範囲を限定して実施すべき
4. わからない
5. その他 ()

市民の方へ

※次の問15・16は、「市民の方」のみお答えください。

問 15 問 11 で 1.を選んだ方のみ、次の品目のうちどの品目を実施すべきとお考えですか。実施した際に追加となる費用（P7の*4）を踏まえ、次の中から1つだけ選んで○をしてください。

1. 「燃やせるごみ」のみ
2. 「燃やせないごみ」のみ
3. 「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」
4. その他

問 16 問 15 で 4.を選んだ方のみ、品目についてのあなたのお考えをお聞かせください。（自由記述）

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。記入漏れなどないかお確かめのうえ、令和5年5月31日(水)までにご回答くださるようお願いいたします。



